HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	工業集積地域における児童・生徒の生活と親の意識：第2章 児童・生徒の生活と意識
Author(s)	小内, 透; 古久保, さくら; 小野寺, 理佳 他
Citation	『調査と社会理論』・研究報告書, 17, 11-63
Issue Date	1999-06
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/22632
Type	departmental bulletin paper
File Information	17_P11-63.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

第２章　児童・生徒の生活と意識

第１節　児童・生徒の生活時間

現代日本における小中学生は、朝起床し就寝するまでの間、基本的に学校と家庭、そして地域社会で生活している。しかし、彼らの日常生活の過ごし方は一様ではない。学年によって異なっているであろうし、男女による違いも存在するかもしれない。さらに、階層による差があることも考えられる。

まず、この点を日常の生活時間という観点から大まかに把握するために、彼らの日常生活の基本となる起床時間、家を出る時間、通学時間、帰宅時間、就寝時間の男女別、階層別の特徴を、学年ごとに見てみよう。

(1)小学３年生の生活時間

小学３年生では、6時半から7時までに起床する者が50.0%、7時～7時半までに起床するものが35.0%、6時から6時半までに起床するものが10.0%という構成になっている（表8）。この学年の場合、起床時間については、階層、性別による違いは見受けられない。

家を出る時間を見ると、7時半から8時までに自宅を出発するものが8割弱、7時から7時半までに出発する者が2割弱となっており、そこに男女差、階層差は存在しない。

表8　児童・生徒の起床時間・家を出る時間（小３）　　単位：%

		起床時間						家を出る時間				N
		6時前	6時～	6時30¯	7時～	7時30¯	8時～	7時前	7時～	7時30¯	8時～	
男	安定的経営・管理層	9.4	9.4	40.6	40.6	0.0	0.0	0.0	16.1	80.6	3.2	31
	不安定経営・管理層	2.6	5.1	46.2	46.2	0.0	0.0	0.0	13.5	86.5	0.0	37
	自営業層	2.3	11.4	52.3	34.1	0.0	0.0	0.0	22.7	72.7	4.5	88
	安定的労働者層	1.7	10.0	50.8	36.7	0.8	0.0	0.0	19.2	74.2	6.7	120
	不安定労働者層	2.6	13.9	50.4	30.4	2.6	0.0	0.0	15.9	79.6	4.4	113
	計	2.8	10.9	49.7	35.5	1.0	0.0	0.0	18.3	77.1	4.6	389
女	安定的経営・管理層	8.8	5.9	44.1	41.2	0.0	0.0	0.0	9.1	87.9	3.0	33
	不安定経営・管理層	7.3	14.6	51.2	26.8	0.0	0.0	0.0	22.5	77.5	0.0	40
	自営業層	0.0	9.8	45.1	43.9	1.2	0.0	1.2	11.0	85.4	2.4	82
	安定的労働者層	2.0	11.8	51.0	35.3	0.0	0.0	0.0	22.5	76.5	1.0	102
	不安定労働者層	1.7	8.7	55.7	33.9	0.0	0.0	0.9	19.1	78.3	1.7	115
	計	2.7	10.2	50.5	36.4	0.3	0.0	0.5	17.7	80.1	1.6	372

通学時間は、男子の82.6%が30分未満の通学時間を選択しているのに対し、女子では30分未満内は72.8%にとどまっている。その理由は定かではないが、女子の方が男子より通学にやや時間がかかっている様子がうかがえる（表9）。

学校からの帰宅時間は、男子の場合、午後3時から4時までが62.2%、4時から5時までが29.1%、5時以降が8.1%となっている（表10）。一方、女子は3時から4時までが57.5%、4時から5時までは34.4%、5時以降が7.8%となっており、女子の方が帰宅時間がわずかに遅い傾向にあることがわかる。これは、通学時間の若干の長時間傾向に対応している。もっとも帰宅時間が早い傾向にあるのは、安定的経営・管理層の男子で、4時までに帰宅する者が75%にも達している。

就寝時間を見ると、男子においては9時までに就寝する者が13.1%、9時以降9時半までが41.3%、9時半から10時まで28.3%、10時以降17.6%となっている（表11）。これに対し、女子の場合は、9時から10時

表9　児童・生徒の通学時間（小3）　　単位：%

		0.10M	0.10⁻	0.20⁻	0.30⁻	0.40⁻	0.50⁻	1.00⁻	N
男	安定的経営・管理層	9.7	32.3	32.3	19.4	3.2	3.2	0.0	31
	不安定経営・管理層	5.1	41.0	28.2	17.9	7.7	0.0	0.0	39
	自営業層	11.6	27.9	24.4	19.8	12.8	2.3	1.2	86
	安定的労働者層	12.4	34.5	23.9	21.2	5.3	0.9	1.8	113
	不安定労働者層	12.6	40.5	21.6	16.2	6.3	1.8	0.9	111
	計	11.3	35.3	24.5	18.9	7.4	1.6	1.1	380
女	安定的経営・管理層	15.2	36.4	27.3	15.2	6.1	0.0	0.0	33
	不安定経営・管理層	10.0	25.0	22.5	27.5	12.5	2.5	0.0	40
	自営業層	10.4	41.6	15.6	20.8	5.2	5.2	1.3	77
	安定的労働者層	8.0	29.0	20.0	25.0	15.0	3.0	0.0	100
	不安定労働者層	8.0	33.9	19.6	24.1	8.9	3.6	1.8	112
	計	9.4	33.4	19.9	23.2	9.9	3.3	0.8	362

表10　児童・生徒の帰宅時間（小3）　　単位：%

		3時前	3時～	4時～	5時～	6時～	N
男	安定的経営・管理層	3.1	71.9	15.6	9.4	0.0	32
	不安定経営・管理層	0.0	63.2	28.9	5.3	2.6	38
	自営業層	0.0	52.9	39.1	5.7	2.3	87
	安定的労働者層	0.8	61.7	30.0	5.0	2.5	120
	不安定労働者層	0.9	68.4	24.6	5.3	0.9	114
	計	0.8	62.7	29.2	5.6	1.8	391
女	安定的経営・管理層	0.0	52.9	32.4	8.8	5.9	34
	不安定経営・管理層	0.0	41.5	48.8	7.3	2.4	41
	自営業層	0.0	58.5	36.6	3.7	1.2	82
	安定的労働者層	0.0	63.4	26.7	4.0	5.9	101
	不安定労働者層	0.9	58.4	34.5	6.2	0.0	113
	計	0.3	57.4	34.2	5.4	2.7	371

表11　児童・生徒の就寝時間（小3）　　単位：%

		8時前	8時～	8時30⁻	9時～	9時30⁻	10時～	11時～	12時～	N
男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	12.5	46.9	28.1	12.5	0.0	0.0	32
	不安定経営・管理層	0.0	5.1	2.6	46.2	25.6	17.9	2.6	0.0	39
	自営業層	1.1	4.5	9.1	34.1	37.5	12.5	1.1	0.0	88
	安定的労働者層	0.0	2.5	10.2	44.9	21.2	18.6	2.5	0.0	118
	不安定労働者層	0.0	4.3	8.7	38.3	30.4	18.3	0.0	0.0	115
	計	0.3	3.6	8.9	40.8	28.6	16.6	1.3	0.0	392
女	安定的経営・管理層	0.0	2.9	5.9	29.4	32.4	29.4	0.0	0.0	34
	不安定経営・管理層	0.0	4.9	9.8	31.7	29.3	22.0	2.4	0.0	41
	自営業層	0.0	0.0	4.9	36.6	30.5	26.8	1.2	0.0	82
	安定的労働者層	0.0	0.0	4.0	50.5	28.7	16.8	0.0	0.0	101
	不安定労働者層	0.0	0.9	5.2	42.6	27.0	21.7	1.7	0.9	115
	計	0.0	1.1	5.4	41.0	29.0	22.3	1.1	0.3	373

までは男子と変わらないものの、9時までに就寝する者が6.2%、10時以降に就寝する者が23.0%となっており、女子の方がわずかに就寝時間が遅い傾向にあることがわかる。

平均的な小学３年生の生活時間を描いてみれば、6時50分に起床、7時40分に学校へ向けて出発、通学時間に男子で23分程度、女子で25分程度かけて登校し、4時頃帰宅、男子で9時30分、女子で9時40分に就寝という姿になる。

(2)小学５年生の生活時間

小学５年生には、男女によって起床時間に若干の差異が認められるようになる（表12）。男子の場合7時以降に起床するものが小学３年生には36.2%であったものが、小学５年生には43.0%にまでやや増加するが、女子の場合は、小学３年生（37.0%）→小学５年生（37.4%）とほとんど変わらないのである。

家を出る時間の場合、小学３年生と同様、7時半から8時までに自宅を出発する者が最高率となっており、約8割、7時から7時半までが15%程度であり、男女差、階層差は見受けられない。

表12　児童・生徒の起床時間・家を出る時間（小５）　　単位：%

		起床時間						家を出る時間				N
		6時前	6時～	6時30¯	7時～	7時30¯	8時～	7時前	7時～	7時30¯	8時～	
男	安定的経営・管理層	2.6	10.3	38.5	46.2	2.6	0.0	0.0	15.8	78.9	5.3	38
	不安定経営・管理層	3.6	10.7	39.3	46.4	0.0	0.0	1.8	8.9	83.9	5.4	56
	自営業層	3.0	10.1	40.4	40.4	5.1	1.0	0.0	14.1	79.8	6.1	99
	安定的労働者層	2.5	17.5	34.2	43.3	2.5	0.0	0.8	15.8	77.5	5.8	120
	不安定労働者層	1.4	9.1	52.4	35.0	2.1	0.0	0.0	15.5	81.0	3.5	142
	計	2.4	11.8	42.2	40.7	2.6	0.2	0.4	14.5	80.0	5.1	455
女	安定的経営・管理層	2.7	8.1	43.2	40.5	5.4	0.0	0.0	5.4	89.2	5.4	37
	不安定経営・管理層	0.0	13.8	58.6	27.6	0.0	0.0	3.3	6.7	90.0	0.0	30
	自営業層	2.9	9.5	48.6	36.2	2.9	0.0	0.0	14.3	78.1	7.6	105
	安定的労働者層	1.7	6.8	53.4	38.1	0.0	0.0	0.0	12.7	83.9	3.4	118
	不安定労働者層	4.1	10.7	51.2	32.2	0.8	0.8	0.8	14.2	79.2	5.8	120
	計	2.7	9.3	51.0	35.4	1.5	0.2	0.5	12.4	82.0	5.1	410

通学時間に関しては、30分未満に男子の85%、女子の80%が含まれており、ここでも小学３年生同様、若干女子の方が通学時間がかかっているようである（表13）。一番多いのは、10分から20分の通学時間の者で、全体の35%程度に上る。

学校からの帰宅時間は、男子の場合、4時から5時までが61.4%、3時から4時までが19.0%、5時以降が19.4%となっている（表14）。女子の場合、4時から5時までが55.9%、続いて高率なのは、5時以降の30.9%、3時から4時までは13.3%となっており、ここでも女子の方が帰宅時間が遅い傾向にある。これを階層別にみれば、不安定経営・管理層の女子の帰宅時間が5時以降の者が44.8%になっており、平均よりも14ポイント高い水準となっているのが目立つ。

就寝時間について見れば、小学３年生よりも9時から9時半に就寝する割合が低下し、その分10時以降に就寝する割合が増加している（表15）。男子においては、9時から10時までが49.8%、10時から11時までが36.3%、11時以降が9.9%となっている。女子については、9時から11時までの割合は、男子とほとんど変わらないものの、11時以降に就寝する者の割合が14.2%と若干多くなっている。しかし、階層差はほとんど見られない。

参考のために、平均的な小学５年生の生活を描いてみよう。男子では、6時54分起床、7時42分に家を出発、23分の通学時間をかけて登校し、4時35分に帰宅。10時3分に就寝する生活が描け、一方、女子では6

表13　児童・生徒の通学時間（小５）　　単位：％

		0.10M	0.10⁻	0.20⁻	0.30⁻	0.40⁻	0.50⁻	1.00⁻	N
男	安定的経営・管理層	10.5	26.3	31.6	23.7	2.6	5.3	0.0	38
	不安定経営・管理層	20.8	28.3	32.1	9.4	7.5	0.0	1.9	53
	自営業層	12.5	36.5	22.9	17.7	6.3	1.0	3.1	96
	安定的労働者層	15.3	35.6	23.7	16.1	7.6	1.7	0.0	118
	不安定労働者層	9.9	37.6	19.1	22.0	9.9	1.4	0.0	141
	計	13.2	34.8	23.8	18.2	7.6	1.6	0.9	446
女	安定的経営・管理層	2.8	52.8	22.2	16.7	2.8	2.8	0.0	36
	不安定経営・管理層	6.9	37.9	20.7	17.2	10.3	3.4	3.4	29
	自営業層	16.3	31.7	20.2	20.2	9.6	1.0	1.0	104
	安定的労働者層	7.9	40.4	24.6	21.1	5.3	0.9	0.0	114
	不安定労働者層	11.0	34.7	22.9	22.0	6.8	1.7	0.8	118
	計	10.5	37.4	22.4	20.4	7.0	1.5	0.7	401

表14　児童・生徒の帰宅時間（小５）　　単位：％

		3時前	3時～	4時～	5時～	6時～	N
男	安定的経営・管理層	0.0	20.5	59.0	10.3	10.3	39
	不安定経営・管理層	0.0	23.6	58.2	5.5	12.7	55
	自営業層	1.0	18.8	64.6	7.3	8.3	96
	安定的労働者層	0.0	25.6	53.0	10.3	11.1	117
	不安定労働者層	0.0	11.2	69.2	13.3	6.3	143
	計	0.2	18.9	61.8	10.0	9.1	450
女	安定的経営・管理層	0.0	18.9	54.1	16.2	10.8	37
	不安定経営・管理層	0.0	3.4	51.7	31.0	13.8	29
	自営業層	0.0	17.0	53.8	18.9	10.4	106
	安定的労働者層	0.0	10.3	59.0	18.8	12.0	117
	不安定労働者層	0.0	12.5	57.5	18.3	11.7	120
	計	0.0	13.0	56.2	19.3	11.5	409

表15　児童・生徒の就寝時間（小５）　　単位：％

		8時前	8時～	8時30⁻	9時～	9時30⁻	10時～	11時～	12時～	N
男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	2.6	20.5	41.0	30.8	5.1	0.0	39
	不安定経営・管理層	0.0	0.0	3.7	16.7	31.5	37.0	7.4	3.7	54
	自営業層	1.0	1.0	1.0	14.1	30.3	41.4	10.1	1.0	99
	安定的労働者層	0.0	0.0	5.0	31.7	20.0	33.3	9.2	0.8	120
	不安定労働者層	0.7	0.0	4.2	18.3	30.3	37.3	9.2	0.0	142
	計	0.4	0.2	3.5	20.9	28.6	36.6	8.8	0.9	454
女	安定的経営・管理層	0.0	2.8	2.8	8.3	33.3	36.1	16.7	0.0	36
	不安定経営・管理層	0.0	3.3	6.7	10.0	13.3	56.7	10.0	0.0	30
	自営業層	0.0	0.0	2.8	14.2	25.5	40.6	17.0	0.0	106
	安定的労働者層	0.0	0.0	3.4	22.2	24.8	37.6	10.3	1.7	117
	不安定労働者層	0.0	1.7	0.8	24.8	25.6	33.9	13.2	0.0	121
	計	0.0	1.0	2.7	18.8	25.1	38.5	13.4	0.5	410

時52分起床、7時42分に家を出発、25.3分の通学時間をかけ登校し、学校生活を送る。帰宅時間は4時47分で、就寝時間は10時9分という生活時間となる。

(3)中学２年生の生活時間

中学２年生の起床時間は、全体的に30分程度遅くなる傾向が見受けられる（表16）。しかし、男女で比べれば、男子の方がよりいっそう起床時間が遅い傾向にある。男子の場合、7時以降に起きる割合は65.1％、そのうち7時半以降に起床する率は15.7％に達している。一方、女子の場合、7時以降が55.2％、うち7時半以降は8.3％である。女子の方がやや早起きであるという性による生活時間の相違がある程度見られるようになる。ちなみに、これを階層別にみると、安定的経営・管理層の女子は、比較的起床時間が遅く、7時以降が63.4％、うち7時半以降も12.7％という水準で、むしろ男子と同様の起床パターンを示している。

家を出る時刻を見ると、全体的に小学校時代よりも遅くなっており、男子で7時半以降8時までに自宅を出発する者が52.7％と、小学校時代よりも減少し、代わりに8時以降に出発する者が35.7％と急増している。女子に関しても、7時半以降8時まで（58.7％）の減少と、8時以降出発（26.8％）の増加という点では同様の動きだが、男子に比較すれば、8時以降出発の層がやや薄くなっている。

表16　児童・生徒の起床時間・家を出る時間（中２）　　単位：％

		起床時間						家を出る時間				N
		6時前	6時～	6時30⁻	7時～	7時30⁻	8時～	7時前	7時～	7時30⁻	8時～	
男	安定的経営・管理層	2.6	3.9	23.4	58.4	11.7	0.0	0.0	11.7	50.6	37.7	77
	不安定経営・管理層	1.5	6.2	27.7	50.8	13.8	0.0	0.0	10.8	56.9	32.3	65
	自営業層	1.1	5.7	23.6	47.1	20.7	1.7	1.7	6.9	56.3	35.1	174
	安定的労働者層	0.0	7.0	29.0	48.4	14.5	1.1	1.6	12.5	47.3	38.6	184
	不安定労働者層	1.1	8.8	29.3	47.5	11.0	2.2	1.1	10.6	54.4	33.9	180
	計	1.0	6.7	26.9	49.2	14.8	1.3	1.2	10.3	52.8	35.7	680
女	安定的経営・管理層	2.8	5.6	28.2	50.7	12.7	0.0	0.0	7.0	66.2	26.8	71
	不安定経営・管理層	1.6	4.9	36.1	52.5	4.9	0.0	1.7	11.7	70.0	16.7	60
	自営業層	0.6	13.1	32.0	47.4	6.9	0.0	1.7	15.4	54.3	28.6	175
	安定的労働者層	1.7	12.0	30.3	48.0	8.0	0.0	1.1	10.9	62.1	25.9	174
	不安定労働者層	1.1	9.9	36.5	43.6	7.2	1.7	0.6	17.1	53.6	28.7	181
	計	1.4	10.4	32.7	47.4	7.7	0.5	1.1	13.5	58.9	26.6	661

通学時間については、10分から30分までに全体の75％程度が入っている（表17）。ただし、30分以上かかっている割合が、男子では12.3％であるのに、女子では17.0％となり、小学生時代に見られた女子の通学時間が長い傾向は小さくなっている。

学校からの帰宅時間であるが、全体的に小学校時代よりも2時間以上も遅くなっている（表18）。5時以降と答えた割合が男子で97.2％（うち6時以降が81.5％）、女子で98.3％（うち6時以降が84.7％）となっており、女子の方が帰宅時間が遅い傾向にあるという小学校時代からの傾向は解消されている。これを階層別に見ると、自営業の男子が、若干帰宅時間が早い傾向にあるが、ほとんど階層差は見受けられない。

就寝時間を見れば、小学校時代よりもかなり遅くなっている（表19）。男子においては10時から11時までに就寝する者が23.5％、11時以降は69.5％であり、うち12時以降は18.3％になっている。一方、女子は11時以降に就寝する者が83.2％もおり、うち12時以降が25.4％になる。

中２の生徒の平均的な一日の生活時間を描いてみると、男子では、7時7分に起床、7時52分に学校へ出発、20分をかけて登校し、学校生活を送り、6時17分に帰宅。11時19分に就寝という生活になる。学校に行っていない時間を家庭にいる時間と考えれば、起床してから出発するまでの45分と帰宅してから就寝す

表17　児童・生徒の通学時間（中２）　　単位：％

		0.10M	0.10⁻	0.20⁻	0.30⁻	0.40⁻	0.50⁻	1.00⁻	N
男	安定的経営・管理層	8.0	45.3	29.3	17.3	0.0	0.0	0.0	75
	不安定経営・管理層	6.2	50.8	33.8	9.2	0.0	0.0	0.0	65
	自営業層	9.4	51.2	27.1	11.2	1.2	0.0	0.0	170
	安定的労働者層	14.1	48.9	26.6	9.2	0.5	0.5	0.0	184
	不安定労働者層	8.4	46.6	32.0	10.1	2.2	0.6	0.0	178
	計	10.0	48.7	29.2	10.9	1.0	0.3	0.0	672
女	安定的経営・管理層	8.5	46.5	29.6	14.1	1.4	0.0	0.0	71
	不安定経営・管理層	3.3	42.6	34.4	18.0	1.6	0.0	0.0	61
	自営業層	7.4	44.6	30.9	14.3	2.3	0.6	0.0	175
	安定的労働者層	9.4	35.1	37.4	13.5	4.7	0.0	0.0	171
	不安定労働者層	8.6	44.0	32.0	10.9	4.6	0.0	0.0	175
	計	8.0	42.0	33.1	13.5	3.4	0.2	0.0	653

表18　児童・生徒の帰宅時間（中２）　　単位：％

		3時前	3時～	4時～	5時～	6時～	N
男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	1.3	15.6	83.1	77
	不安定経営・管理層	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5	64
	自営業層	0.0	0.6	4.6	17.9	76.9	173
	安定的労働者層	0.0	0.0	1.6	15.1	83.3	186
	不安定労働者層	0.0	0.6	2.8	14.9	81.8	181
	計	0.0	0.3	2.5	15.6	81.6	681
女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	4.3	8.6	87.1	70
	不安定経営・管理層	0.0	0.0	0.0	16.4	83.6	61
	自営業層	0.0	0.0	1.1	11.5	87.4	174
	安定的労働者層	0.0	0.0	1.7	14.9	83.3	174
	不安定労働者層	0.0	0.0	1.7	14.9	83.4	181
	計	0.0	0.0	1.7	13.5	84.8	660

表19　児童・生徒の就寝時間（中２）　　単位：％

		8時前	8時～	8時30⁻	9時～	9時30⁻	10時～	11時～	12時～	N
男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	19.5	61.0	16.9	77
	不安定経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	23.1	44.6	29.2	65
	自営業層	0.0	0.6	0.0	1.7	6.9	20.1	50.6	20.1	174
	安定的労働者層	0.0	0.0	0.0	2.2	4.3	27.4	48.9	17.2	186
	不安定労働者層	0.6	0.0	0.0	4.4	2.8	24.3	52.5	15.5	181
	計	0.1	0.1	0.0	2.2	4.2	23.4	51.2	18.6	683
女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	8.5	59.2	28.2	71
	不安定経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	6.6	75.4	16.4	61
	自営業層	0.0	0.0	0.0	0.6	1.1	14.4	52.9	31.0	174
	安定的労働者層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	19.4	55.4	24.6	175
	不安定労働者層	0.0	0.0	0.0	0.6	1.7	17.1	58.6	22.1	181
	計	0.0	0.0	0.0	0.3	1.5	15.1	57.9	25.2	662

るまでの5時間2分の合わせて5時間47分が家庭で起きている時間と考えられる。ただし、この5時間47分の中で塾や習い事に通っている者もいるので、彼らの場合、平日の家庭で活動している時間はもっと短くなる。女子については、7時に起床、7時48分に学校へ向けて出発、21分の通学時間をかけて登校し、学校生活を送り、6時20分に帰宅。就寝時間は11時34分となる。男子と同様に考えれば、6時間2分が家庭での起きている時間となる。

こうして、第1に、学年の上昇に伴って、起床時間、学校へ出る時間、帰宅時間、就寝時間のすべてが遅くなる傾向があること、第2に、それと同時に男女差も次第に大きくなり、中学2年生になると、女子の方が男子より遅く寝て早く起き（睡眠時間の相対的短さ）、学校へ早く行きほぼ同様な時間に帰宅する傾向（学校拘束時間の相対的長さ）がやや強くなること、第3に、階層別に見ると、安定的経営・管理層の小3男子の帰宅時間の早さ、不安定経営・管理層の小5女子の帰宅時間の遅さ、安定的経営・管理層の中2女子の起床時間の遅さという点で、一定の階層差が見られること、ただし、第4に、こうした階層的特徴は部分的なもので、全体としてみると生活時間の一貫した階層差は存在しないことなどが明らかになる。したがって、児童・生徒の生活時間は、すべての階層に共通した学年の上昇に伴う睡眠時間や学校拘束時間の男女差の拡大という点にもっとも大きな特徴があるといえる。

第2節　児童・生徒の学校生活

いうまでもなく、児童・生徒の日常生活の特徴は、生活時間という観点だけでとらえられるものではない。少なくとも、学校や家庭でどのように過ごし、放課後の時間をどのように利用しているのかという具体的な生活の過ごし方を把握しなければ、児童・生徒の生活を十分に理解することはできない。いいかえれば、児童・生徒の学校生活・家庭生活・放課後の生活という、3つの場面に即した実態を明らかにすることが重要である。そこで、まず学校生活の特徴から見てみよう。

(1)学業成績・スポーツ能力の自己評価と得意科目

表20は、学校生活をもっとも大きく規定すると思われる学業成績を、自己評価の方法によって明らかにしたものである。ここから、全体を通して指摘できることは、学年が上がるにつれて肯定的な回答（勉強が「よくできる」＋「まあまあできる」）をする者の割合が減少するという点である。小5から中2にかけ、その傾向は顕著になる。

表20　学業成績に対する肯定的評価率　　単位：%

		小3 (A)	小5 (B)	中2 (C)	低下度 B−A	C−B	C−A
男	安定的経営・管理層	93.7	89.8	54.0	-3.9	-35.8	-39.7
	不安定経営・管理層	87.1	83.9	56.9	-3.2	-27.0	-30.2
	自営業層	88.6	72.2	49.4	-16.4	-22.8	-39.2
	安定的労働者層	80.0	74.7	46.3	-5.3	-28.4	-33.7
	不安定労働者層	77.8	73.0	46.4	-4.8	-26.6	-31.4
	計	83.2	76.1	49.0	-7.1	-27.1	-34.2
女	安定的経営・管理層	88.2	86.5	74.8	-1.7	-11.7	-13.4
	不安定経営・管理層	90.0	90.0	41.7	0.0	-48.3	-48.3
	自営業層	92.7	71.7	39.6	-21.0	-32.1	-53.1
	安定的労働者層	95.1	82.8	45.1	-12.3	-37.7	-50.0
	不安定労働者層	89.5	75.8	37.0	-13.7	-38.8	-52.5
	計	91.7	78.7	43.2	-13.0	-35.5	-48.5

注）肯定的評価率＝勉強が「よくできる」＋「まあまあできる」

ただし、ここで注意する必要があるのは、成績に対する肯定的回答が何を意味するものなのかという点である。成績に対する肯定的回答は、一方で成績そのものの水準を一定程度反映しており、その点に注目すれば、学業成績の水準を示すことになる。しかし、他方で、成績に対する肯定的回答は学業成績の客観的な水準とは必ずしも一致しない場合もあり、むしろ客観的な現実とは切り離された自己肯定的な意識（自己肯定感や自尊心）を意味することもある。

したがって、成績に対する肯定的な回答が客観的な学業成績の水準とすれば、学年の上昇に伴う肯定的回答率の低下は、そのまま学業成績の全般的な低下を示すものとなる。一般に、学年の上昇につれ学業成績の分化が進み、とくに中学校になると小学校とは異なり相対評価が導入されることを考えるならば、こうした結果が生じても不思議ではない。逆に、成績に対する肯定的回答を自己肯定感ないし自尊心の指標ととらえると、ここで見られた結果は、学年や年齢の上昇、とりわけ思春期への移行に伴う自己肯定感・自尊心の低下を示すものとみなすことができる。

しかしながら、いずれの形で理解するにしても、学年の上昇に伴う肯定的回答率の減少のあり方には階層ならびにジェンダーによって相違がみられることも事実である。

男子についてみると、成績に対して肯定的な自己評価を与えた者の率（「よくできる」「まあまあできる」と回答した率）は、全体で小学３年生83.3%、小学５年生76.1%、中学２年生49.0%と低下している。これを階層別に見ると、安定的経営・管理層の子どもの93.7%が「よくできる・まあまあできる」と答え、自らの学業成績を肯定的に評価している。この数値は他階層の子どもと比較すると10～15ポイントも高いもので突出している。この安定的経営・管理層の男子の肯定的回答率は、小学５年生において89.8%、中学２年生においても54.0%と高い数値を示し続けている。こうした傾向は、不安定経営・管理層にもほぼ共通して見いだせる。一方、不安定労働者層と安定的労働者層の子どもの場合、小学３年生で肯定的回答率が安定的経営・管理層、不安定経営・管理層と比べ低い水準になっている（77.8%、80.0%）。この2つの階層の子どもは、小学５年生、中学２年生においても肯定的回答率が全階層中ほぼ最低の水準になっている。これに対し、自営業層では、小学３年生の肯定的回答率が88.6%で、不安定経営・管理層と同様に安定的経営・管理層に次ぐ高い水準を示しているが、小学５年生には肯定的回答率が72.2%と全階層中最低水準に落ち込み、中２で再び安定的経営・管理層や不安定経営・管理層に次ぐ水準まで上昇させている。肯定的回答率の水準が学年によって、他の階層とは異なる動きを示している。その意味で、全体的に学年の上昇に伴う肯定的回答の減少の中で、①相対的に高い水準を維持している安定的経営・管理層、不安定経営・管理層、②その逆に相対的に低い水準にとどまっている安定的労働者層、不安定労働者層、③肯定的回答率の相対的位置が学年によって変化する自営業層という階層間の違いが見いだせる。

一方、女子は男子とは若干異なった様相を呈する。女子全体についていえば、成績について肯定的な回答をした割合は、小学３年生91.7%、小学５年生78.7%、中学２年生43.2%であり、この数値は小学３、５年生においては男子より高いものの、中学２年生では男子より若干低い。思春期を迎えたとき、女子の成績あるいはそれに対する自己評価は低下しているのである。これを階層別にみると、小学３年生における肯定的回答率のうち、もっとも高率を示すのが安定的労働者層であり（95.1%）、もっとも低いのが安定的経営・管理層である（88.2%）。もっとも、最高値と最低値との間には7ポイント程度の差しかなく、男子における安定的経営・管理層の突出に比較すると、小学３年生における階層差は少ないといえる。ところが、この階層差は学年を重ねるにつれて拡大していく。特に顕著な変化を示すのは安定的経営・管理層である。小学３年生での肯定的回答率が88.2%と最低の水準であったのが、小学５年生では86.5%と平均を超え、中学２年生では74.8%で、当該時期の全階層平均43.2%より30ポイントも高く、突出した数値となっている。一方、安定的経営・管理層以外の層では、中学２年生の女子は男子よりも肯定的回答率が低いが、特に、不安定経営・管理層において成績に対する肯定的回答率の男女差が大きい（女子41.7%、男子56.9%）。

以上、調査結果の分析から、学業における肯定的回答率が経営・管理層において相対的に高く、労働者層において低いことが指摘できる。安定的経営・管理層および不安定経営・管理層の肯定的回答率の高さ

は突出している。これはとくに男子に目につき、ほぼ各学年を通じてつねに高水準を誇っていた。

女子の場合、安定的経営・管理層以外の階層で中学校段階への移行時期に男子以上に肯定的回答率が低下する傾向がみられた。中学校への移行に伴う肯定的回答率の男子以上の急激な低下は、女子に特有の学業成績の動向を示すものとして理解できる。だが同時に、思春期への移行に伴う女子の自己肯定感の低下傾向とみなすこともできる。そこには、ジェンダーの構造が成長過程に大きな影響（特にマイナスの）を及ぼしているであろうことが推測できる。しかし、女子の中でも安定的経営・管理層のように肯定的回答率がそれほど低下しない階層も存在したことに注目すると、こうした見方だけでは必ずしも十分ではないことも明らかになる。それは、自己肯定感＝自尊の意識の変化はジェンダーの問題と階層の問題の絡み合いのなかで、理解されるべきであることを示唆しているからである。

こうして、第１に、学業成績における自己評価のあり方には、明白な男女格差ならびに階層格差があること、第２に、ジェンダー構造と階層構造双方の影響を受け、安定的経営・管理層の女子は男女差をこえるような階層的特徴を示していたことが明らかになる。

こうした学業成績のあり方は、児童・生徒の学校生活のあり方を大きく規定する。しかし、同時に、スポーツが得意かどうかという点が、学校生活の過ごし方に少なからぬ影響を与えることも事実である。そのため、スポーツが得意かどうかという点に階層差、性差がみられるかどうかも問題になる。

そこで、学業成績に対する自己評価と同様に、スポーツ能力に対する自己評価の方法で、表21にもとづきながら、この点を検討してみよう。

表21　スポーツに対する肯定的評価率　　単位：%

		小３(A)	小５(B)	中２(C)	低下度 B−A	C−B	C−A
男	安定的経営・管理層	78.2	68.4	74.1	-9.8	5.7	-4.1
	不安定経営・管理層	82.1	83.3	70.3	1.2	-13.0	-11.8
	自営業層	84.1	80.0	72.5	-4.1	-7.5	-11.6
	安定的労働者層	85.7	78.8	69.0	-6.9	-9.8	-16.7
	不安定労働者層	77.0	72.0	74.2	-5.0	2.2	-2.8
	計	81.8	76.6	72.0	-5.2	-4.6	-9.8
女	安定的経営・管理層	79.5	67.6	63.7	-11.9	-3.9	-15.8
	不安定経営・管理層	68.3	73.3	60.0	5.0	-13.3	-8.3
	自営業層	73.1	70.3	67.4	-2.8	-2.9	-5.7
	安定的労働者層	76.3	66.9	52.6	-9.4	-14.3	-23.7
	不安定労働者層	70.2	62.0	61.4	-8.2	-0.6	-8.8
	計	73.2	66.8	60.8	-6.4	-6.0	-12.4

注）肯定的評価率＝スポーツが「得意」＋「まあまあ得意」

まず、男子の場合、「得意」「まあまあ得意」と肯定的に回答した割合を平均すると、小学３年生81.8%→小学５年生76.6%→中学２年生72.0%となり、学年が上がるに従って自己評価が低下している。この点では学業成績と同じである。しかし、中学２年生においても肯定的回答率が7割以上となっており、学業成績に対する評価ほど肯定的回答率の低下は大きくない。これを階層別にみると、小学３年生において、肯定的な回答をした割合がもっとも高かった階層は、安定的労働者層（85.7%）である。しかし、同時期において最低水準の不安定労働者層においても肯定的回答率は77.0%となっており、その差は9ポイント弱にとどまっている。小５になると、最高の肯定的回答率を示すのが83.3%の不安定経営・管理層、最低が68.4%の安定的経営・管理層にかわり、その差がひろがる。しかし、中２で再び最高と最低の差は5%程度に縮まる。しかも、最高の肯定的回答率を示す階層は不安定労働者層、最低の階層が安定的労働者層へと変化している。それゆえ、スポーツに対する自己評価に関して、階層による格差の幅は勉強に対する

自己評価率の格差の幅に比して小さく、一貫した階層的特徴は見られないといえる。

次に、女子について全階層を平均すると、スポーツが「得意」または「まあまあ得意」と回答した者は、小学３年生73.2%→小学５年生66.8%→中学２年生60.8%となっており、全体的に男子よりも10ポイント程度低い水準で推移している。この点で、スポーツに対する自己評価のあり方には男女に一定の差があるといえる。これを階層別にみると、男子と同様、一貫した階層的特徴はみられず、各学年ごとに肯定的回答率から見た階層の相対的位置は一定していない。ただし、各学年の階層別肯定的回答率の最高と最低の差は、ほぼ11%～15%弱あり、男子よりも大きい。

したがって、スポーツにおける自己評価のあり方に関しては、一方で、男子の方が優位にたつ形でのジェンダーによる一定の格差があること、しかし、他方で、階層格差は明白には見られなかったことが明らかになる。その意味で、スポーツにおける自己評価の場合、明白な男女格差と階層格差が見られた学業成績に対する自己評価のあり方とは、異なる特徴を示していると考えられる。

これに対し、得意科目の内容に注目すると、成績の自己評価と同様、男女差と階層差が見いだせる（表22）。ほぼ小５・中２のいずれの学年においても得意科目は、男子が算数・数学、理科で、女子は国語、音楽、英語、家庭（小５のみ）で明確な男女差が存在する。ちなみに、中２に限定して、それぞれの科目を得意とする割合を男女別に示すと、算数・数学が男・34.8%、女・19.3%、理科が男・31.1%、女・19.7%、国語が男・11.4%、女・24.7%、音楽が男・2.9%、女・37.1%、英語が男・19.2%、女・28.3%である。なお、家庭に関しては小５で男・7.1%、女・36.7%で、得意とする者が圧倒的に女子に偏っている。ここから、男女の違いと理系・文系の科目の違いが明確に対応していることがわかる。

表22　得意科目（小5・中2）　　単位：%

			国語	算数数学	理科	社会	英語	音楽	体育	技術	家庭	図工美術	N
男	小5	安定的経営・管理層	18.4	36.8	39.5	18.4	-	2.6	23.7	-	7.9	44.7	38
		不安定経営・管理層	25.5	52.9	43.1	15.7	-	5.9	54.9	-	13.7	43.1	51
		自営業層	15.2	41.3	28.3	16.3	-	2.2	53.3	-	9.8	20.7	92
		安定的労働者層	18.6	32.7	26.5	18.6	-	4.4	50.4	-	5.3	31.0	113
		不安定労働者層	20.8	35.4	32.3	18.5	-	2.3	40.0	-	3.8	32.3	130
		計	19.3	38.2	31.8	17.7	-	3.3	46.0	-	7.1	31.8	424
	中2	安定的経営・管理層	12.2	41.9	32.4	28.4	24.3	0.0	23.0	6.8	1.4	9.5	74
		不安定経営・管理層	15.6	37.5	26.6	35.9	31.3	3.1	32.8	4.7	6.3	6.3	64
		自営業層	13.0	35.1	26.0	27.9	20.1	4.5	25.3	9.1	2.6	7.8	154
		安定的労働者層	8.2	34.7	31.2	28.8	18.2	2.9	25.3	10.6	2.4	5.9	170
		不安定労働者層	11.3	30.4	36.9	25.6	12.5	2.4	25.6	8.9	4.2	10.7	168
		計	11.4	34.8	31.1	28.4	19.2	2.9	25.9	8.7	3.2	8.1	630
女	小5	安定的経営・管理層	30.6	30.6	13.9	11.1	-	41.7	27.8	-	38.9	16.7	36
		不安定経営・管理層	50.0	30.0	30.0	10.0	-	53.3	43.3	-	33.3	40.0	30
		自営業層	30.4	22.5	29.4	7.8	-	36.3	43.1	-	37.3	33.3	102
		安定的労働者層	30.7	22.8	22.8	14.9	-	43.0	36.0	-	33.3	35.1	114
		不安定労働者層	25.5	28.2	22.7	12.7	-	48.2	37.3	-	40.0	32.7	110
		計	30.6	25.5	24.2	11.7	-	43.4	38.0	-	36.7	32.7	392
	中2	安定的経営・管理層	22.5	25.4	15.5	21.1	43.7	32.4	28.2	4.2	7.0	21.1	71
		不安定経営・管理層	20.7	17.2	25.9	10.3	32.8	46.6	22.4	5.2	19.0	10.3	58
		自営業層	21.6	18.0	19.2	14.4	23.4	34.7	32.9	4.8	13.8	17.4	167
		安定的労働者層	28.6	22.0	23.2	18.5	26.8	35.1	24.4	4.2	13.7	21.4	168
		不安定労働者層	26.2	16.3	16.3	13.4	26.7	40.1	29.1	4.7	12.8	22.7	172
		計	24.7	19.3	19.7	15.6	28.3	37.1	28.1	4.6	13.2	19.7	636

しかし、男女とも社会を除くすべての科目で得意とされる割合が小５から中２になるにしたがって低下している点にも注目する必要がある。とくに体育（男女）、家庭（女子）、図工・美術（男女）といった非主要教科でその傾向が著しい。体育の場合、男子が46.0%（小５）→25.9%、女子が38.0%→28.1%、家庭の場合、女子が36.7%→13.2%、図工・美術の場合、男子が31.8%→8.1%、女子が32.7%→19.7%で、これらの教科を得意とする者の割合が大きく減少している。それは、中学校の相対評価によってそれまで子どもたちにとって（楽しく）得意だった教科が、不得意なものに変化してしまうことを物語っている。その中で、理由は定かでないが、男子の社会だけは小５から中２にかけて17.7%から28.4%へと約10%も得意とする者が増加しており、この点で興味深い傾向を示している。

階層別に見ると、不安定経営・管理層の男女が各学年とも全般的に多くの科目で得意とする者の割合が高くなっている。この階層の男子は、小５で主要4科目中、国語、算数、理科の3科目と体育、家庭が各階層の男子の中で得意とする者の割合がもっとも高く、中２で主要5科目中、国語、社会、英語の3科目と体育が同様な傾向を示している。不安定経営・管理層の女子も、小５で主要4科目中、国語、理科の2科目と音楽、体育、図工が各階層の女子の中で得意とされる割合が高い。中２ではややその傾向が弱まるものの、理科、音楽、技術、家庭の5科目で得意とする者がもっとも多く、他階層と比べると格段に得意科目が多くなっている。この結果は、この階層に見られた成績の自己評価の高さにほぼ対応したものとなっている。これに対し、成績の自己評価がもっとも高かった安定的経営・管理層では、男子の場合、各階層中もっとも高い割合を示しているのが、小５で図工、中２で数学のみに限定されている。その意味では、不安定経営・管理層と異なり、すでに見た成績の自己評価と得意科目のあり方とはストレートには結びついていないといえる。いいかえれば、得意科目といえるものがそれほど多くなくても、自らの成績はよいと評価しているのである。そこには、成績は良いのにまだ勉強が得意とはいえないといういわば自己肯定しにくい態度がかいま見られる。ただし、この階層の女子の場合、たしかに小５では各階層の中で得意とする者がもっとも多いのは男子同様算数だけだが、中２では数学、社会、英語がそうした科目になり、その点で男子とはやや異なる傾向を示している。一方、成績の自己評価が悪かった不安定労働者層の場合、中２の男子で理科を得意とする者が他の階層と比べ多く、各階層の中でその割合がもっとも高い点、また中２の女子の国語がわずかに平均を上回る点を除けば、男女ともすべての教科で平均を下回っている。その意味で、得意科目と成績の自己評価のあり方は、この階層の場合、基本的に結びついていると考えてよい。なお、それ以外の階層の場合、これらの階層のような特筆すべき大きな特徴は見られない。

こうして、得意科目に関しては、たしかに成績の自己評価と同様、大きな性差と階層差が存在しており、得意科目と成績の自己評価が不可分の関係にあることを示唆していた。しかし、安定的経営・管理層の場合には、必ずしも両者の関係はストレートな形では現れておらず、むしろねじれをともなったものとして把握された。その意味で、得意科目のあり方を検討することによって、成績の自己評価には、すでに述べたような客観的な成績と自己肯定感という両義的な側面が存在する可能性が浮き彫りになる。

(2)学校における集団的活動

児童・生徒の学校生活のあり方は、学校における集団的活動への参加のあり方によっても左右される。なぜなら、学校は勉学の場であるだけでなく、クラブ活動や、児童会・生徒会活動のような集団的活動を通して、子どもが社会化していく場でもあるからである。そこで、児童・生徒が授業以外の学校での集団的活動にいかに参加しているかについて、表23にもとづいて、必修クラブ、部活動、児童会・生徒会の活動の3側面から検討してみよう。

まず、必修クラブのある小５、中２について、必修クラブへの参加状況を見てみると、男子の場合、「熱心にやる」は小学５年生では46.6%、中学２年生では48.5%となっている。「熱心に」参加している率がもっとも高いのは、小５、中２とも自営業層である。ただし、小５、中２とも「熱心に」参加している者の割合には、大きな階層差は見られない。

女子の場合、「熱心にやる」と答えた率は、小学５年生で52.6%、中学２年生で41.8%となっており、

男子とは反対に、中学２年生に「熱心」派が少なくなっている。階層別に見れば、小学５年生において不安定経営・管理層の「熱心に」率が67.9％と平均の52.6％より高率であるが、中学２年生にはその差はほとんどなくなっている。他には、階層的特徴は見受けられない。

次に、中学校の部活動について見てみると、男女とも、部活動を「やらない」と答えた者は1割未満とほとんどおらず、階層差も見られない。しかし、「熱心にやる」と答えた者を見ると、男女ともほぼ6割

表23　学校における集団的活動への参加状況　　単位：％

			必修クラブ			部活動			児童会・生徒会			N
			熱心にやる	まあまあ	やらない	熱心にやる	まあまあ	やらない	熱心にやる	まあまあ	やらない	
男	小3	安定的経営・管理層	-	-	-	-	-	-	15.4	34.6	50.0	26
		不安定経営・管理層	-	-	-	-	-	-	6.1	33.3	60.6	33
		自営業層	-	-	-	-	-	-	9.2	41.5	49.2	65
		安定的労働者層	-	-	-	-	-	-	5.1	30.3	64.6	99
		不安定労働者層	-	-	-	-	-	-	10.0	28.9	61.1	90
		計	-	-	-	-	-	-	8.3	32.9	58.8	313
	小5	安定的経営・管理層	40.5	59.5	0.0	-	-	-	8.1	51.4	40.5	37
		不安定経営・管理層	48.1	51.9	0.0	-	-	-	27.3	49.1	23.6	55
		自営業層	49.0	44.9	6.1	-	-	-	15.8	57.9	26.3	95
		安定的労働者層	43.5	53.9	2.6	-	-	-	14.0	57.9	28.1	114
		不安定労働者層	47.1	51.4	1.4	-	-	-	11.8	58.8	29.4	136
		計	46.2	51.4	2.5	-	-	-	14.9	56.5	28.6	437
	中2	安定的経営・管理層	49.4	46.8	3.9	63.6	31.2	5.2	13.2	59.2	27.6	76
		不安定経営・管理層	50.8	46.2	3.1	61.5	36.9	1.5	12.3	61.5	26.2	65
		自営業層	54.4	43.8	1.8	55.1	40.1	4.8	8.3	61.3	30.4	168
		安定的労働者層	47.8	48.4	3.8	60.3	37.5	2.2	8.6	55.7	35.7	185
		不安定労働者層	43.3	51.1	5.6	54.2	39.5	6.2	8.0	58.0	34.1	176
		計	48.7	47.6	3.7	57.9	37.9	4.2	9.3	58.7	32.1	670
女	小3	安定的経営・管理層	-	-	-	-	-	-	10.3	10.3	79.3	29
		不安定経営・管理層	-	-	-	-	-	-	11.1	19.4	69.4	36
		自営業層	-	-	-	-	-	-	15.3	22.0	62.7	59
		安定的労働者層	-	-	-	-	-	-	6.8	24.7	68.5	73
		不安定労働者層	-	-	-	-	-	-	4.7	29.1	66.3	86
		計	-	-	-	-	-	-	8.8	23.3	67.8	283
	小5	安定的経営・管理層	54.1	43.2	2.7	-	-	-	25.0	37.5	37.5	32
		不安定経営・管理層	67.9	32.1	0.0	-	-	-	37.0	44.4	18.5	27
		自営業層	53.4	44.7	1.9	-	-	-	23.7	54.6	21.6	97
		安定的労働者層	48.7	51.3	0.0	-	-	-	14.4	55.8	29.8	104
		不安定労働者層	51.7	46.6	1.7	-	-	-	24.3	45.0	30.6	111
		計	52.6	46.2	1.2	-	-	-	22.4	49.9	27.8	371
	中2	安定的経営・管理層	40.8	53.5	5.6	60.0	34.3	5.7	12.7	54.9	32.4	71
		不安定経営・管理層	40.0	60.0	0.0	46.7	51.7	1.7	15.5	55.2	29.3	58
		自営業層	40.0	54.9	5.1	60.6	35.3	4.1	16.2	51.4	32.4	173
		安定的労働者層	42.7	55.6	1.8	57.1	35.3	7.6	10.1	58.3	31.5	168
		不安定労働者層	42.0	56.3	1.7	59.0	34.1	6.9	9.1	56.0	34.9	175
		計	41.3	55.7	2.9	57.9	36.4	5.8	12.2	55.2	32.6	645

弱にとどまり、一定の階層差も見られる。男子では安定的経営・管理層が最高（63.6%）、不安定労働者層が最低（54.2%）、女子では自営業（60.6%）が最高、不安定経営・管理層（46.7%）が最低となっている。

さらに、児童会・生徒会活動を見ると、男子の場合、「熱心に」やると答えた率は小学３年生（8.2%）→小学５年生（15.1%）→中学２年生（9.0%）となっており、いずれの学年においても児童会・生徒会活動への参加は低調である。その中で、相対的に小学５年生が児童会・生徒会活動に熱心な時期であると考えられる。

続いて、各階層ごとの特徴を見ていけば、安定的経営・管理層は学年によって熱心さに振幅がある。小学３年生では「熱心に」やると答えた率が15.4%と平均（8.2%）の2倍近くあり、「やらない」と答えた率も低い。ところが、小学５年生では「熱心にやる」と答えたものは8.1%にまで激減し、「やらない」と答えた率が40.5%と際だった高率を示す。しかし、中２になると、再び「熱心に」活動する率（13.2%）が増加し、各階層中もっとも高くなる。ただし、中２の段階では、他の階層との差が小さくなり、「熱心に」活動する者の割合がもっとも低い不安定労働者層（8.0%）との間でも、5.2%の差しかなくなっている。

同様に、不安定経営・管理層も、学年によって児童会・生徒会に対する熱心さに振幅がある。「熱心に」やっていると答えた率が小３で6.1%と平均より低率である。しかし、小５では27.3%となり他階層と比べとくに高い比率を示す。中２でも12.3%で比較的高率になっており、相対的に高位安定の数値を示している。したがって、この層の場合、安定的経営・管理層とは異なり、「熱心に」取り組む者のピークは小５にあるが、中２の段階では、安定的経営・管理層と同様、生徒会に「熱心に」取り組む者が相対的に多いという特徴が見いだされる。

他の3階層、自営業層、安定的労働者階層、不安定労働者層の場合、児童会・生徒会に「熱心に」取り組む者の割合はきわめて似通った数値を示す。しかし、小学３年生において、3階層の中では、自営業層の「やらない」と答えた率が10ポイント以上低く、自営業層がもっとも低学年時から児童会・生徒会に参加していたといえる。

次に、女子について見てみれば、児童会・生徒会に「熱心に」関わるものの割合は、小学３年生（9.0%）→小学５年生（22.0%）→中学２年生（12.1%）となっており、男子とほとんど変わらない。階層別に見れば、もっとも「熱心に」生徒会・児童会に関わっている層は、不安定経営・管理層と自営業層である。小学３年生から「熱心に」参加している率が高いのは自営業層であり、小３と中２でもっとも高い割合（小３＝15.3%、中２＝16.2%）になっている。一方、不安定経営・管理層は、小学５年生に「熱心に」やる率が37.0%と突出した高率を示し、中学２年生でも「熱心に」が15.5%で自営業につぐ水準を示している。逆に、いずれの学年でも「熱心に」参加する割合が低いのが、不安定労働者層と安定的労働者層である。小３と中２で不安定労働者層がその割合で最低水準を示し、それにつぐのが安定的労働者層で、小５の最低水準が安定的労働者層になっている。

こうして、学校における集団活動についてみると、必修クラブの場合、男女ともいずれの階層でも4～5割程度の者が積極的に取り組んでおり、そこに階層差は存在しなかった。これに対し、部活動と児童会・生徒会では、階層によっていくつかの異なる特徴が見いだされた。

その中で、とくに特徴的な動きを示していたのが、男子の安定的経営・管理層である。この層の場合、部活動、生徒会とも、「熱心に」参加し活動する者の割合が、中２の段階で全階層中もっとも高くなっていた。しかも、中２男子の安定的経営・管理層の場合、部活動の部長、児童会・生徒会の役員経験者の割合を見ると、他の階層と比べ、確実に高くなっているという点も明らかになる。(補注) この階層が、すでに見たように、学業成績の点で各学年とも一貫して高い肯定的回答率を示していたことを考えると、彼らの場合、学業成績がよい（と自己評価する）だけでなく、学業以外の集団的活動にも積極的に参加し、役員を経験する者が多いことを示している。

（補注）表24は、学級委員長、部活の部長、児童会・生徒会の役員経験をまとめたものである。ここから、全体的な傾向を見ると、男女とも小３と小５を比べると確実に役員経験者の割合が高くなっている。しかも、その割合に男女の違いはあまり見られない。ここから、男女とも同じように、学年の上昇にともなってより多くの者が役員につくようになっていることがわかる。しかし、中２になると、男女の間に役員経験者率の違いはないままであるが、小３から小５にかけての変化とは異なり、男女とも学年の上昇にもかかわらず役員経験者率は上昇しなくなっている。とくに男子の場合、小５と比べ、10%弱の減少さえ生じている。いわば、小学生段階における学年の上昇にともなった役員経験者の広がりと中学校段階における頭打ち傾向が明らかになる。

これを、階層別に見ると、男子の場合、不安定経営・管理層、自営業層、安定的労働者層のように、こうした全体的な傾向と同じ特徴を示す階層と、安定的経営・管理層、不安定労働者層のように、中学校段階も含めて、学年の上昇に伴う一貫した役員経験者率の上昇が見られる階層に二分される。後者のうち、とくに、安定的経営・管理層は、小３：22.6%→小５：28.9%→中２：41.6%と、小５から中２にかけて役員経験者率を大きく伸ばしている。その結果、中２段階で全階層のうち、もっとも役員経験者率が高くなっている。しかも、彼らの場合、中２の段階では、学級委員長、部活の部長、生徒会の役員のいずれにおいても、もっとも経験者の割合が高くなっている。

一方、女子では、安定的経営・管理層と自営業層が一貫して役員経験者率を上昇させている。そのうち、とくに安定的経営・管理層の場合、その傾向が著しく男子と同様、中２段階で47.1%と他の階層と比べ格段に高い役員経験者率に達している。ただし、男子と異なり、各階層のうちもっとも役員経験者が多いのは学級委員長のみであり、他の階層に比べて学級委員長の経験者比率が格段に高い（30.0%）ことが、こうした結果をもたらしている。

表24　性別学年別階層別役員経験　　単位：%

		男					女				
		学級委員長	部活の部長	生徒会の役員	役員経験者	ﾃﾞｰﾀ数	学級委員長	部活の部長	生徒会の役員	役員経験者	ﾃﾞｰﾀ数
小3	安定的経営・管理層	19.4	-	-	22.6	31	23.5	-	-	23.5	34
	不安定経営・管理層	13.2	-	-	15.8	38	19.5	-	-	19.5	41
	自営業層	22.1	-	-	23.3	86	18.5	-	-	19.8	81
	安定的労働者層	16.5	-	-	17.4	115	16.8	-	-	16.8	101
	不安定労働者層	15.3	-	-	15.3	111	13.3	-	-	14.2	113
	計	17.3	-	-	18.4	381	17.0	-	-	17.6	370
小5	安定的経営・管理層	18.4	-	13.2	28.9	38	27.8	-	8.3	33.3	36
	不安定経営・管理層	39.3	-	10.7	48.2	56	36.7	-	30.0	56.6	30
	自営業層	30.3	-	14.1	44.4	99	27.4	-	17.0	38.7	106
	安定的労働者層	25.8	-	9.2	35.0	120	23.3	-	7.8	29.3	116
	不安定労働者層	21.2	-	10.2	29.9	137	29.4	-	9.2	37.0	119
	計	26.4	-	11.1	41.3	400	27.5	-	12.3	36.4	407
中2	安定的経営・管理層	27.3	14.3	15.6	41.6	77	30.0	12.9	14.3	47.1	70
	不安定経営・管理層	23.1	13.8	4.6	33.8	65	16.4	9.8	11.5	31.1	61
	自営業層	13.9	10.4	9.8	29.5	173	19.7	16.8	19.7	42.2	173
	安定的労働者層	15.3	13.1	7.1	29.5	183	18.5	12.7	8.1	29.5	173
	不安定労働者層	17.8	12.8	11.1	35.0	180	15.3	17.5	6.8	32.2	177
	計	17.7	12.5	9.6	32.7	678	19.0	14.8	11.8	35.6	654

注）役員経験者＝学級委員長、部活の部長、児童会の役員のいずれかを経験した者の割合

こうして、中学校段階における役員経験者比率の頭打ち傾向、一部の階層における一貫した役員経験者率の上昇、とりわけ男女に共通した安定的経営・管理層における中学校段階での役員経験者率の急激な高まり、中２男子の安定的経営・管理層の役員経験者率の高さは、学級委員長、部活の部長、生徒会の役員のすべてにおける高い経験者率にもとづいていること、これに対し、中２女子の安定的経営・管理層の場合、学級委員長の経験者率の突出した高さが全体としての役員経験者率の高さを生み出していることが明らかになる。

(3)学校の楽しさと悩み

それでは、以上のような学校生活を送っている児童・生徒たちは、学校生活のどんな点に楽しみを見いだし、どんな悩みを抱えているのであろうか。次に、この点について見てみよう。

表25は、この点を検討するため、学校での楽しみについてそれぞれ複数回答の形で尋ねた結果をまとめたものである。

まず、「楽しみ」について見ると、学年、男女、階層を問わず、共通して多くの者があげているのは「友達」であることがわかる。立場が違っていても、ほぼ70～80％の者が「友達」を学校での「楽しみ」だと答えている。子どもたちにとって、学校が「友達」と交流できる場として、大きな意味をもっていることが理解できる。

これに対し、男女、階層の別なく、学年が上がるに従って「楽しみ」ではなくなるものとして、「給食」、「運動会」があげられる。「運動会」を「楽しみ」としてあげる者は、小３→小５→中２にかけて、ほぼ50％台から40％台、そして10～20％台へと減少する。「給食」の場合も、小３段階で、男子のうちほぼ60％台、女子で50％前後の者が「楽しみ」としてあげているものの、学年の上昇に伴って減少し、中２では、男子がほぼ40％前後、女子がほぼ30％前後の水準になる。

それにかわって、小５では必修クラブ、中２では部活動が、「楽しみ」としてあげられることが多くなる。小５の必修クラブは、男で47.0％、女で53.2％、中２の部活動は男で58.5％、女で48.4％となり、男女とも半数前後の者が「楽しみ」としてあげている。

こうして、すべての学年に共通した「友達」と学年ごとに異なる「楽しみ」が、男女や階層の違いに関わりなく存在することが明らかになる。

しかし、その中にあって、「先生とのふれあい」や「好きな授業をきくこと」といった学校のもっとも基本的な機能に関わる側面に関して、男女や階層による一定の違いが存在する点に注意すべきである。「先生とのふれあい」に注目すると、男女とも小３段階で、「先生とのふれあい」と楽しみとしてあげる者の割合がもっとも高く、小５、中２ではその割合は格段に低下する。しかし、これを男女別に見ると、小３女子が55.9％と過半数に達しているのに対し、小３男子では39.6％にとどまっている。そこには、一定の男女差が見いだせる。しかも、階層で見ると、小３の男女とも、安定的経営・管理層に「先生とのふれあい」を「楽しみ」としてあげる者がもっとも多く、この点にも1つの特徴が見られる。また、「好きな授業をきくこと」の場合、どの学年でもこれを「楽しみ」とする者は少ないが、その中で、小３に限ると「先生とのふれあい」と同様、男女とも安定的経営・管理層（男＝30.0％、女＝40.5％）がもっとも高い割合になっている。

このように、学校は児童・生徒にとって、いろいろな形で「楽しみ」を見いだせる場である。しかし、同時、悩みが生み出される場として存在していることも事実である。

表26から、この点について見てみると、なによりもまず、中２の段階で学校での悩みを持つ者が急増することがわかる。

男子の場合、小学校段階で2割台であった悩みを持つ者の割合は、中２になると、約半数の子どもたち（48.7％）が悩みを抱えるようになる。その内容を見ると、すでに小３段階で成績に関する悩みが中心になっている。悩みをもつ者の約半数が成績に関して悩みを持っていると答えている。それが、中２の段階では、よりいっそう多くの者の悩みになり、悩みを持つ者の約4分の3（76.7％）が成績に関する悩みをあげている。この段階になると、それに加えて、進路に関する悩みを持つ者も増加し、悩みを持つ者のうち、

表25　性別学年別階層別学校の楽しみ（主なもの）　　単位：%

			授業	必修クラブ	部活動	児童会活動	友達づきあい	先生との触れあい	運動会	文化祭	給食	N
男	小3	安定的経営・管理層	30.0	-	-	0.0	83.3	50.0	50.0	6.7	66.7	30
		不安定経営・管理層	10.3	-	-	2.6	71.8	38.5	74.4	0.0	66.7	39
		自営業層	22.7	-	-	1.1	78.4	37.5	40.9	6.8	53.4	88
		安定的労働者層	22.7	-	-	2.5	71.4	34.5	60.5	4.2	61.3	119
		不安定労働者層	22.1	-	-	2.7	69.9	44.2	53.1	1.8	64.6	113
		計	21.9	-	-	2.1	73.5	39.6	54.5	3.9	61.4	389
	小5	安定的経営・管理層	31.6	31.6	-	5.3	73.7	15.8	26.3	2.6	42.1	38
		不安定経営・管理層	42.9	51.8	-	1.8	80.4	19.6	50.0	8.9	48.2	56
		自営業層	23.5	52.0	-	5.1	77.6	9.2	42.9	8.2	53.1	98
		安定的労働者層	23.5	48.7	-	4.2	68.1	14.3	41.2	10.9	52.1	119
		不安定労働者層	26.8	44.4	-	2.8	75.4	14.8	40.8	6.3	52.8	142
		計	27.6	47.0	-	3.8	74.4	14.1	41.3	7.9	51.2	453
	中2	安定的経営・管理層	18.2	19.5	58.4	2.6	79.2	2.6	13.0	20.8	40.3	77
		不安定経営・管理層	21.5	29.2	55.4	3.1	80.0	7.7	13.8	20.0	44.6	65
		自営業層	21.1	33.9	52.6	2.3	75.4	5.3	20.5	18.7	36.8	171
		安定的労働者層	18.8	32.8	59.7	2.7	74.7	4.8	16.1	14.5	36.0	186
		不安定労働者層	28.2	31.5	64.1	1.7	72.9	6.1	16.0	14.9	43.6	181
		計	22.1	30.9	58.5	2.4	75.4	5.3	16.6	16.9	39.6	680
女	小3	安定的経営・管理層	41.2	-	-	2.9	88.2	67.6	64.7	11.8	50.0	34
		不安定経営・管理層	31.7	-	-	2.4	85.4	53.7	51.2	4.9	41.5	41
		自営業層	28.0	-	-	3.7	76.8	63.4	54.9	12.2	61.0	82
		安定的労働者層	35.3	-	-	4.9	75.5	52.9	52.9	6.9	52.0	102
		不安定労働者層	33.9	-	-	1.7	79.1	50.4	55.7	4.3	46.1	115
		計	33.4	-	-	3.2	79.1	55.9	55.1	7.5	50.8	374
	小5	安定的経営・管理層	40.5	64.9	-	8.1	73.0	21.6	37.8	5.4	37.8	37
		不安定経営・管理層	30.0	63.3	-	6.7	90.0	36.7	36.7	20.0	50.0	30
		自営業層	23.6	47.2	-	14.2	86.8	17.0	37.7	12.3	42.5	106
		安定的労働者層	37.3	59.3	-	4.2	83.9	24.6	39.8	9.3	33.9	118
		不安定労働者層	38.0	46.3	-	11.6	81.8	29.8	44.6	13.2	43.8	121
		計	33.7	53.2	-	9.5	83.5	24.8	40.3	11.7	40.5	412
	中2	安定的経営・管理層	21.4	31.4	52.9	2.9	85.7	5.7	20.0	42.9	22.9	70
		不安定経営・管理層	16.7	33.3	46.7	0.0	86.7	5.0	28.3	35.0	31.7	60
		自営業層	20.6	20.6	49.7	2.3	83.4	8.0	32.6	41.1	32.6	175
		安定的労働者層	25.7	29.7	46.3	1.1	81.1	8.0	24.6	42.3	25.1	175
		不安定労働者層	16.6	29.3	48.1	1.1	87.3	6.1	24.9	34.8	28.2	181
		計	20.6	27.7	48.4	1.5	84.4	7.0	26.6	39.3	28.3	661

表26　学校での悩みの有無と内容　　単位：%

			悩みがある者		悩みの内容										
			実数	構成比	成績	クラスのこと	授業のこと	必修クラブ	部活動	児童会活動	友達づきあい	上級生のこと	先生のこと	進路	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	10	32.3	80.0	0.0	10.0	-	-	10.0	30.0	0.0	10.0	20.0	160.0
		不安定経営・管理層	13	34.2	38.5	15.4	0.0	-	-	0.0	46.2	7.7	0.0	0.0	123.1
		自営業層	30	34.9	46.7	16.7	20.0	-	-	3.3	36.7	0.0	0.0	0.0	136.7
		安定的労働者層	25	21.2	52.0	16.0	16.0	-	-	0.0	40.0	8.0	0.0	0.0	136.0
		不安定労働者層	35	32.1	57.1	20.0	20.0	-	-	0.0	37.1	5.7	14.3	2.9	174.3
		計	113	29.6	53.1	15.9	15.9	-	-	1.8	38.1	4.4	5.3	2.7	148.7
	小5	安定的経営・管理層	7	18.4	28.6	14.3	14.3	14.3	-	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	128.6
		不安定経営・管理層	11	19.6	36.4	18.2	18.2	9.1	-	0.0	54.5	9.1	0.0	9.1	163.6
		自営業層	26	27.3	69.2	15.4	19.2	0.0	-	0.0	19.2	7.7	7.7	3.8	150.0
		安定的労働者層	18	15.1	50.0	16.7	27.8	5.6	-	0.0	27.8	0.0	16.7	5.6	161.1
		不安定労働者層	39	28.3	56.4	5.1	25.6	2.6	-	0.0	17.9	2.6	10.3	12.8	148.7
		計	101	22.4	54.5	11.9	22.8	4.0	-	0.0	24.8	4.0	8.9	8.9	151.5
	中2	安定的経営・管理層	38	50.0	76.3	10.5	13.2	2.6	39.5	0.0	18.4	7.9	5.3	52.6	226.3
		不安定経営・管理層	27	41.5	74.1	14.8	11.1	7.4	14.8	0.0	14.8	0.0	7.4	63.0	207.4
		自営業層	102	59.0	79.4	8.8	13.7	8.8	26.5	0.0	13.7	3.9	11.8	52.0	219.6
		安定的労働者層	85	45.2	71.8	10.6	17.6	5.9	27.1	4.7	15.3	8.2	8.2	56.5	230.6
		不安定労働者層	79	43.9	79.7	10.1	16.5	8.9	22.8	1.3	17.7	8.9	10.1	57.0	236.7
		計	331	48.7	76.7	10.3	15.1	7.3	26.3	1.5	15.7	6.3	9.4	55.3	226.3
女	小3	安定的経営・管理層	4	12.1	75.0	0.0	25.0	-	-	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	150.0
		不安定経営・管理層	10	25.0	40.0	10.0	30.0	-	-	0.0	70.0	10.0	10.0	10.0	180.0
		自営業層	24	29.3	50.0	8.3	16.7	-	-	0.0	54.2	12.5	0.0	0.0	145.8
		安定的労働者層	22	21.8	59.1	27.3	13.6	-	-	0.0	45.5	4.5	9.1	4.5	190.9
		不安定労働者層	26	23.0	57.7	7.7	26.9	-	-	0.0	50.0	7.7	7.7	7.7	169.2
		計	86	23.3	54.7	12.8	20.9	-	-	0.0	52.3	8.1	5.8	4.7	168.6
	小5	安定的経営・管理層	11	29.7	45.5	18.2	18.2	0.0	-	0.0	54.5	18.2	18.2	9.1	181.8
		不安定経営・管理層	9	31.0	11.1	22.2	22.2	0.0	-	0.0	88.9	33.3	11.1	0.0	200.0
		自営業層	35	33.3	42.9	5.7	22.9	2.9	-	8.6	45.7	14.3	11.4	2.9	171.4
		安定的労働者層	34	29.3	38.2	17.6	14.7	2.9	-	2.9	47.1	5.9	14.7	2.9	158.8
		不安定労働者層	41	33.3	48.8	14.6	24.4	4.9	-	4.9	48.8	17.1	9.8	2.4	178.0
		計	130	31.9	41.5	13.8	20.8	3.1	-	4.6	50.8	14.6	12.3	3.1	173.1
	中2	安定的経営・管理層	44	62.9	79.5	6.8	6.8	0.0	22.7	2.3	20.5	4.5	4.5	63.6	213.6
		不安定経営・管理層	37	60.7	78.4	13.5	16.2	5.4	18.9	0.0	35.1	5.4	8.1	62.2	245.9
		自営業層	132	75.4	77.3	15.2	9.1	9.1	37.1	0.8	31.8	6.8	9.8	61.4	261.4
		安定的労働者層	120	68.6	75.0	16.7	13.3	5.8	33.3	1.7	26.7	3.3	10.0	55.8	242.5
		不安定労働者層	120	66.7	77.5	11.7	19.2	5.0	27.5	0.8	26.7	5.0	10.0	65.0	250.8
		計	453	68.5	77.0	13.7	13.2	6.0	30.7	1.1	28.3	5.1	9.3	61.1	247.7

注）「悩みの内容」は、悩みがある者のうち、該当する者の割合。

半数を超える者（55.3%）が悩みの内容としてこれをあげている。

こうした傾向は、女子の場合、さらにいっそう強くなる。小３・小５で男子とほぼ同じく2～3割台であった悩みを持つ者の割合が、中２段階で、一気に7割近く（68.5%）にはねあがる。これは、男子と同じく成績と進路の悩みを持つ者が増加することによるものである。しかし、中２で悩みを持つ者の割合は男子より20%ほど高い水準であり、中学校段階で悩みをもつ女子生徒が男子以上に急増することが明らかになる。

それだけ、中学校の学校生活が子どもたちにとって、成績や進路という点で、大きなストレスを与える場になっていることがうかがえる。

さらに、女子の場合、男子と比べ、「友達」に関する悩みを持つ者が多く、それはとくに小学生段階で顕著である。悩みを持つ者のうち「友達」に関する悩みをあげた者は、小３女子・小５女子ともほぼ半数にのぼる。同学年の男子が2～3割台であるのと対照的である。ここから、女子、とりわけ小学校段階の女子の場合、すでに見たように「友達」関係は学校での「楽しみ」であると同時に、あるいはそれゆえに、「悩み」の種にもなりやすいことを物語っているといえる。

また、階層別に見た場合、特徴的なこととして、2つの点が指摘できる。1つは、男女とも小３段階で安定的経営・管理層に成績を悩みとしてあげる者の割合が他階層と比べ、格段に高いことである。安定的経営・管理層の中で成績を悩みとしてあげる者は、小３の男子で80.0%、小３の女子で75.0%に達する。他の階層が4～5割台であるのと対照的である。この階層が小３段階で学業成績の自己評価が高かったことを考えると、彼らの場合、小学校低学年であっても学業成績にとくにこだわりをもつ傾向があることが浮かび上がる。2つ目に、小学校段階において、男女とも他の階層に比べ、不安定経営・管理層に「友達」を悩みの内容としてあげる者が多いことである。とくに女子の場合、その傾向が著しく、他の諸階層が小３・小５で50%前後であるのに対し不安定経営・管理層は、小３で70.0%、小５で88.9%に達している。これが何に由来するのか、定かではないが、1つの現実的な特徴として押さえておく必要があろう。

それでは、子どもたちは悩みを抱えた場合、それを誰に相談するのであろうか。学校生活の最後として、この点について見てみよう。

表27は、現在悩みを持っていない者も含めて、悩みが生じた場合、相談したり参考にしたりする人やものについて尋ねた結果である。

これを見ると、小３段階では、男女とも階層の別なく、父母、とりわけ母に相談する者が圧倒的である。男子で父に相談する者が52.4%、母が80.7%、女子で父が45.5%、母が84.8%に達している。しかし、学年が上がるに従って、しだいにその割合が低下し、中２ではそれぞれほぼ半減する。とくに女子の場合、父親に相談する者は12.0%にまで落ち込んでしまう。

これと対照的に、学年が上がるに従って、男女とも階層の別なく、同じクラスの友達が増加する。とくに、その傾向は女子に強く、男子が37.8%→45.0%→53.1%、女子が59.5%→68.9%→70.8%となっている。同じクラスの友達に相談する者の割合は、男子の場合、小５で父親、中２で母親を上回り、女子では小３で父親を超え、小５で母親よりも多くなる。その結果、男女とも、中２段階では、同じクラスの友達が学校の悩みの相談相手としてもっとも重要な位置を占めるようになっている。それは、子どもたちの父母からの自立の過程を物語っている。

こうした全体的な傾向の中で、階層的な特徴として指摘できるのは、安定的経営・管理層の男子が、他の階層と比べ、父母に相談する者の割合が一貫して高いことである。事実、父や母に相談する者の割合で見た場合、小５の父親を除いて、各階層の男子の中で、この階層の子どもが、つねにもっとも高い数値を示している。その意味で、安定的経営・管理層の男子にとって、学校生活の問題を考える場合、他の階層よりも父母が大きな位置を占めていると考えられる。

以上のように、学校生活の特徴は、学年によって、大きく異なっている。しかし、男女の性によって異なる傾向も確実に存在していた。また、階層別に見た場合、安定的経営・管理層の子弟、とりわけ男子に他の階層とは異なる独特の傾向が存在することが明らかになった。それは、一言でいえば、学校生活と学

業成績を重視する傾向といえるであろう。しかも、この階層の場合、学校の悩みの相談相手として父母をあげる者が多く、その意味で、子どもたちの学校生活と学業成績の重視傾向の背後に、父母の存在が少なからぬ影響を与えていることが浮かび上がった。

表27 学校の悩みの相談相手　　単位：%

			父	母	兄弟	祖父	祖母	親戚	同クラスの友	他学年の友人	他校の友人	近所の友人	先生	テレビラジオ	雑誌漫画	本	その他	いない	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	65.6	90.6	25.0	9.4	9.4	3.1	25.0	3.1	0.0	3.1	21.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32	258.3
		不安定経営・管理層	55.3	68.4	10.5	7.9	10.5	2.6	21.1	0.0	5.3	5.3	15.8	2.6	2.6	2.6	0.0	7.9	38	218.4
		自営業層	48.2	78.8	17.6	7.1	7.1	0.0	43.5	7.1	4.7	4.7	17.6	0.0	2.4	0.0	2.4	1.2	85	242.4
		安定的労働者層	59.3	79.6	17.7	12.4	16.8	6.2	44.2	10.6	4.4	7.1	24.8	8.2	8.0	8.0	0.0	0.0	113	305.3
		不安定労働者層	43.6	84.5	18.2	6.4	14.5	3.8	36.4	6.4	1.8	7.3	16.4	2.7	4.5	0.9	2.7	0.9	110	250.9
		計	52.4	80.7	17.7	8.7	12.7	3.4	37.6	6.9	3.4	6.1	19.6	2.9	4.5	2.9	1.3	1.3	378	282.4
	小5	安定的経営・管理層	35.9	76.9	12.8	7.7	10.3	0.0	48.2	2.6	0.0	12.8	23.1	5.1	2.6	7.7	2.6	5.1	39	251.3
		不安定経営・管理層	41.1	66.1	19.6	3.6	8.9	1.8	48.2	8.9	3.6	5.4	10.7	0.0	8.9	1.8	7.1	3.6	56	239.3
		自営業層	43.6	63.8	26.2	8.5	11.7	3.2	38.3	4.3	2.1	4.3	17.0	2.1	4.3	2.1	3.2	10.6	94	239.4
		安定的労働者層	50.0	70.2	11.4	5.3	10.5	0.9	43.9	10.5	3.5	8.8	14.9	4.4	7.9	4.4	1.8	7.9	114	256.1
		不安定労働者層	38.1	66.2	16.5	5.0	10.1	4.3	48.9	8.6	4.3	8.6	13.7	6.5	7.2	3.6	2.9	4.3	139	248.9
		計	42.5	67.8	18.1	5.9	10.4	2.5	45.0	7.7	3.2	7.7	15.2	4.1	6.6	3.6	3.2	6.6	442	247.7
	中2	安定的経営・管理層	42.1	53.9	11.8	5.3	5.3	2.6	55.3	10.5	3.9	3.9	13.2	11.8	10.5	11.8	7.9	7.9	76	257.9
		不安定経営・管理層	23.4	45.3	18.8	6.3	7.8	7.8	60.9	12.5	9.4	9.4	1.6	12.5	9.4	10.9	3.1	7.8	64	246.9
		自営業層	24.3	42.0	14.2	4.7	5.9	3.6	51.5	11.8	5.3	5.3	9.5	12.4	13.0	8.9	3.0	9.5	169	224.9
		安定的労働者層	27.2	39.7	9.8	1.1	1.6	1.1	54.3	7.6	7.6	6.0	7.6	7.6	8.7	10.9	2.2	12.5	184	205.4
		不安定労働者層	24.7	42.7	14.0	4.5	6.7	4.5	49.4	6.7	8.4	7.3	9.0	14.0	15.2	10.7	3.9	12.9	178	234.8
		計	27.1	43.2	13.1	3.9	5.1	3.4	53.1	9.2	7.0	6.3	8.5	11.5	11.8	10.4	3.6	10.9	671	228.0
女	小3	安定的経営・管理層	50.0	88.2	29.4	2.9	14.7	2.9	58.8	14.7	0.0	5.9	23.5	8.8	5.9	8.8	0.0	0.0	34	314.7
		不安定経営・管理層	53.7	85.4	9.8	9.8	17.1	2.4	78.0	0.0	4.9	9.8	19.5	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	41	295.1
		自営業層	45.0	86.3	25.0	6.3	12.5	5.0	62.5	3.8	1.3	11.3	23.8	0.0	0.0	0.0	2.5	1.3	80	288.3
		安定的労働者層	47.9	80.2	24.0	4.2	13.5	2.1	58.3	9.4	6.3	15.6	18.8	1.0	4.2	7.3	6.3	2.1	96	299.0
		不安定労働者層	39.3	86.6	17.9	2.7	10.7	2.7	53.6	5.4	2.7	10.7	13.4	0.9	1.8	7.1	1.8	0.0	112	257.1
		計	45.5	84.8	21.2	4.7	12.9	3.0	59.5	6.3	3.3	11.6	16.7	1.4	2.5	5.0	3.0	0.8	363	284.3
	小5	安定的経営・管理層	50.0	75.0	25.0	5.6	8.3	0.0	66.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	11.1	5.6	0.0	36	297.2
		不安定経営・管理層	17.9	75.0	17.9	7.1	7.1	0.0	67.9	3.6	7.1	14.3	14.3	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	28	239.3
		自営業層	35.9	66.0	25.2	3.9	10.7	2.9	69.9	9.7	7.8	13.6	14.6	1.0	7.8	3.9	1.9	2.9	103	277.7
		安定的労働者層	34.2	63.2	22.2	4.3	10.3	5.1	70.1	12.8	6.8	18.8	18.8	5.1	12.8	7.7	0.9	0.9	117	293.2
		不安定労働者層	28.1	68.6	19.0	3.3	9.9	6.6	67.8	11.6	1.7	11.6	16.2	7.4	6.6	4.1	3.3	2.5	121	270.2
		計	33.1	67.4	22.0	4.2	9.9	4.2	68.9	10.6	5.7	14.1	16.3	4.9	8.1	5.4	2.5	1.7	405	278.0
	中2	安定的経営・管理層	18.3	43.7	15.5	1.4	2.8	5.6	73.2	9.9	12.7	5.6	9.9	4.2	7.0	9.9	8.5	2.8	71	231.0
		不安定経営・管理層	11.5	50.8	19.7	0.0	0.0	6.6	67.2	11.5	14.8	8.2	4.9	4.9	6.6	6.6	18.0	1.6	61	232.8
		自営業層	11.4	44.0	18.3	0.0	0.6	2.3	71.4	11.4	10.9	6.9	9.1	9.1	13.7	5.7	8.6	8.3	175	223.7
		安定的労働者層	10.4	49.1	13.9	2.3	4.6	2.3	68.2	8.1	9.2	6.9	9.8	9.2	17.3	12.7	8.7	7.5	173	240.5
		不安定労働者層	11.6	43.6	16.0	1.1	3.9	3.9	72.9	14.9	15.5	4.4	7.2	6.6	12.7	8.3	11.6	3.3	181	237.6
		計	12.0	45.8	16.3	1.1	2.7	3.5	70.8	11.3	12.3	6.2	8.5	7.8	13.0	8.8	10.3	5.0	661	235.1

第3節　放課後の生活

子どもたちは、学校の中だけで生活しているわけではない。したがって、学校以外の場でどのような生活を送っているのかを含めて考えなければ、子どもたちの生活の全体像は正確には理解できない。そこで、次に放課後の生活の特徴について、学習にかかわる活動、習い事やスポーツに関する活動、子ども会やボーイスカウト・ガールスカウトなどの集団的な活動、遊びの4つの側面から見ていこう。

(1)学習に関わる活動

表28は、塾・家庭教師・勉強時間・教材といった放課後の学習活動についてまとめたものである。ここから、学習塾に通う者について見ると、男女とも学年の上昇に伴って、その割合が高まっていることがわ

かる。男女とも小３では2割を切っていたものが、小５で3割台、中２で6割を超えている。週平均の通塾回数はほぼ2回前後となっている。これを階層別に見ると、通塾率が一貫して高い階層は存在しないが、不安定労働者層の子弟が男女ともどの学年においてもほぼ最低の割合になっており、この点に階層的な特徴が見いだせる。不安定労働者層に学業成績に肯定的な回答をする者が少なかったことを考えると、この層の場合、学業成績の悪さ、ないし自信のなさをカバーするために塾に通うという行動をとる者が相対的に少ないことになる。逆に、通塾率が一貫して高い階層が存在しないという事実は、学業成績に関して肯定的な回答をする者が多かった安定的経営・管理層の子どもに、塾に通う者が多いわけではないことを意味している。したがって、一方で、学習塾は学業成績の良い、あるいは自信のある者が多い階層にとって学校の成績を維持しより向上させるためのものとして利用されておらず、他方で学業成績の悪い、あるいは自信のない者が多い階層にとって、必ずしも補習のための場として位置づけられていないことが明らかになる。その背後に、前者の場合、学習塾へ行かなくとも十分であり、後者の場合、学習塾へ行ってもそれほど効果がないという認識があると考えられる。しかも、自分の意志で塾へ通う者の割合が小３の女子を除くとほぼどの階層でも50％台となり、塾が楽しいと答えた者や塾の勉強がわかると答えた者が男女とも階層の別なく学年の上昇に伴って減少していることをふまえると、こうした認識は、子ども自身だけではなく、親にも共通していることが予想できる。

もちろん、放課後の学習に関わる活動は塾だけに依存しているわけではない。家庭教師や通信教材に依存する形も考えられる。しかし、家庭教師がついている者や通信教材を使用している者の割合をみても、それらが塾を代替している様子は見られない。家庭教師がついている者は階層、学年、男女の別なくほとんど存在しないし、通信教材を使用している者もほぼ3割台で階層、学年、男女の差はない。

さらに、塾に通っている時間を含めた普段の勉強時間、休日の勉強時間を見ても、学年の上昇によって、勉強時間が長くなる傾向はあるものの、男女差や階層差はほとんど見られない。普段の勉強時間は男子の場合、平均で40分（小３）→53分（小５）→1時間28分（中２）、女子で46分→1時間4分→1時間44分、休日の勉強時間は、男子が38分（小５）→1時間10分（中２）、女子が47分→1時間26分である。しかも、この水準は、いずれの場合にも、父母がその学年の子にふさわしいと思う勉強時間よりもやや少な目である点も共通している。

したがって、放課後の学習に関わる活動を全体的に見てみると、男女とも学年の上昇によって勉強時間や塾に通う者が増加するが、塾に通っている者であってもそうでない者であっても勉強時間にはそれほど違いはみられないことが明らかになる。それだけ、この地域の子どもの場合、通塾の有無を別にすれば、放課後の学習活動は比較的似通ったものになっていると考えられる。ただし、不安定労働者層の子弟の場合、通塾率が男女問わず各学年とも低く、この点に大きな階層的特徴が現れていた。

(2)習い事やスポーツに関する活動

これに対し、習い事やスポーツに関する活動の場合、学年による違いと同時に、男女による差や階層による一定の違いが見られる（表29）。

まず、何らかの習い事をしている者の割合を見ると、男女とも中２の段階で激減していることがわかる。しかし、その水準は男女間で大きな差がある。男子の場合、小学校段階で40％台であったものが中２では14.8％に低下している。これに対し、女子では小３・小５でほぼ8割の児童が習い事に通っており、中２で半減するものの36.5％の水準をたもっている。そこには、大きな男女差がある。習い事の内容に注目すると、男女とも共通してそろばん、習字、英会話、ピアノを習っている者が多い。しかし、同じ学年で見れば、いずれも女子の方が多く、とくに、ピアノを習う者の違いが多くなっている。しかも、習い事が楽しい者の割合も学年の違いなく、女子の方が高くなっている。したがって、習い事は全体として女子向きの活動として存在しており、ピアノの場合、その傾向がとくに強いことが明らかになる。

同時に、習い事の場合、階層差も見られる。安定的経営・管理層に、何らかの習い事をしている者が多く、不安定労働者層に少なくなっている。小５の男女を除けば、安定的経営・管理層の割合が各学年・男

表28　放課後の学習活動（塾・家庭教師・勉強時間・教材）　　単位：%、回、?時間?分

			学習塾					家庭教師がついている者	通信教材を使用している者	普段の勉強時間	休日の勉強時間	父がその子に対してふさわしいと思う勉強時間	母がその子に対してふさわしいと思う勉強時間
			塾に通っている者	通塾者に限定したデータ									
				週平均通塾回数	自分の意志で通う者	塾が楽しい者	塾の勉強がわかる者						
男	小3	安定的経営・管理層	21.9	1.86	50.0	50.0	60.0	3.1	41.9	0.45	-	0.51	0.47
		不安定経営・管理層	31.6	2.27	45.5	54.5	63.7	2.7	47.4	0.47	-	0.53	0.51
		自営業層	20.7	2.03	58.8	47.0	66.7	3.4	29.4	0.35	-	0.52	0.54
		安定的労働者層	16.8	1.83	63.2	52.7	77.8	0.0	25.4	0.39	-	0.57	0.54
		不安定労働者層	17.0	1.71	57.1	71.4	61.5	1.8	26.1	0.40	-	0.58	1.01
		計	19.6	1.92	56.7	55.2	67.7	1.8	30.0	0.40	-	0.55	0.55
	小5	安定的経営・管理層	33.3	1.77	30.8	46.2	30.8	0.0	25.6	0.52	0.34	1.02	1.01
		不安定経営・管理層	35.7	2.00	35.0	31.6	73.7	5.5	50.9	0.53	0.40	1.01	1.02
		自営業層	37.8	1.97	43.2	54.0	62.1	3.1	30.9	0.54	0.38	1.07	1.10
		安定的労働者層	30.3	2.15	39.4	45.2	65.4	0.9	24.8	0.49	0.33	1.03	1.04
		不安定労働者層	27.0	2.12	44.7	58.3	72.2	1.4	27.5	0.55	0.43	1.04	1.07
		計	31.8	2.04	40.4	49.3	64.1	2.0	30.2	0.53	0.38	1.04	1.05
	中2	安定的経営・管理層	68.8	2.30	44.2	33.9	53.9	2.6	39.5	1.30	1.27	2.06	2.02
		不安定経営・管理層	84.6	2.64	52.7	35.2	55.8	4.6	24.6	1.43	1.00	1.47	1.58
		自営業層	69.2	2.47	53.0	46.5	68.1	4.1	28.9	1.28	1.06	1.41	1.51
		安定的労働者層	74.1	2.28	44.8	42.4	61.0	1.6	26.9	1.31	1.16	1.48	1.59
		不安定労働者層	50.8	2.09	50.5	47.8	65.9	3.3	26.8	1.17	1.03	1.38	1.50
		計	67.1	2.34	49.0	42.7	62.3	3.1	28.6	1.28	1.10	1.46	1.55
女	小3	安定的経営・管理層	11.8	2.25	100.0	50.0	50.0	0.0	14.7	0.45	-	1.00	0.56
		不安定経営・管理層	36.6	2.67	40.0	46.6	66.7	2.4	37.5	0.51	-	0.58	0.55
		自営業層	23.8	2.00	61.1	55.6	76.5	1.2	40.3	0.52	-	0.53	0.56
		安定的労働者層	14.0	1.85	85.7	76.9	61.6	1.0	34.3	0.43	-	0.55	0.56
		不安定労働者層	11.4	3.00	84.6	76.9	58.4	0.0	23.2	0.42	-	1.04	1.01
		計	17.6	2.33	68.8	61.9	65.6	0.8	30.7	0.46	-	0.58	0.57
	小5	安定的経営・管理層	35.1	2.08	54.5	54.5	54.6	0.0	35.1	1.02	0.49	1.05	1.03
		不安定経営・管理層	33.3	2.20	70.0	80.0	60.0	0.0	23.3	1.12	0.44	1.06	0.54
		自営業層	37.7	1.97	57.1	50.0	55.9	1.9	33.0	1.08	0.50	1.14	1.17
		安定的労働者層	29.1	2.00	66.7	66.7	63.6	1.7	41.7	1.00	0.47	1.11	1.13
		不安定労働者層	32.2	2.05	51.4	59.4	65.8	1.7	28.3	1.03	0.45	1.05	1.09
		計	33.1	2.03	58.7	60.0	61.1	1.5	33.6	1.04	0.47	1.09	1.11
	中2	安定的経営・管理層	71.8	2.20	51.0	43.2	61.2	0.0	32.4	1.50	1.40	1.54	2.01
		不安定経営・管理層	60.7	2.32	56.8	35.1	55.6	3.3	44.3	1.44	1.23	1.43	1.54
		自営業層	61.7	2.21	44.9	41.6	62.8	4.6	40.2	1.49	1.26	1.50	2.01
		安定的労働者層	69.7	2.25	52.9	35.0	58.5	2.3	35.6	1.49	1.28	1.55	2.00
		不安定労働者層	55.2	2.11	52.5	40.0	51.5	4.4	33.7	1.30	1.18	1.37	1.48
		計	63.0	2.21	50.8	38.9	57.9	3.3	36.8	1.44	1.26	1.48	1.57

注）1.「塾が楽しい」＝「塾の方が学校より楽しい」＋「塾も学校も楽しい」
2.「塾勉強わかる」＝「塾の方が学校よりわかる」＋「塾も学校もわかる」

表29　習い事・スポーツ少年団・スポーツ教室への参加状況　　単位：%

			習い事						スポーツ少年団・スポーツ教室				
			何らかの習い事をしてる者	ピアノを習っている者	習字を習っている者	そろばんを習っている者	英会話を習っている者	習い事が楽しい者	少年団等に入っている者	水泳教室に通っている者	野球少年団をやっている者	サッカー少年団をやる者	少年団等が楽しい者
男	小3	安定的経営・管理層	53.1	21.9	15.6	25.0	15.6	52.9	65.6	34.4	15.6	6.3	64.7
		不安定経営・管理層	41.0	17.9	15.4	17.9	2.6	28.6	55.3	30.8	10.3	17.9	82.4
		自営業層	50.0	10.6	20.0	21.2	5.9	40.5	64.4	23.9	17.0	15.9	61.4
		安定的労働者層	46.7	12.5	18.3	18.3	6.7	49.1	60.5	42.5	8.3	20.0	66.1
		不安定労働者層	36.6	12.5	19.6	10.7	3.6	71.8	57.1	22.6	11.3	9.6	70.0
		計	44.4	13.4	18.6	17.3	5.9	51.2	60.3	30.7	11.9	14.7	67.0
	小5	安定的経営・管理層	53.8	2.6	17.9	28.2	15.4	38.1	74.4	28.2	17.9	12.8	52.0
		不安定経営・管理層	32.1	5.4	8.9	14.3	12.5	35.3	74.5	14.3	28.6	26.8	68.8
		自営業層	41.2	7.2	15.5	21.6	8.2	35.3	61.2	12.1	19.2	21.2	73.0
		安定的労働者層	57.1	12.6	21.0	26.1	12.6	36.5	56.7	21.7	14.2	14.2	77.1
		不安定労働者層	42.9	7.1	17.1	22.1	9.3	37.0	64.3	14.0	23.1	18.9	60.3
		計	45.9	8.0	16.9	22.6	10.9	36.5	63.7	16.8	20.1	18.6	66.7
	中2	安定的経営・管理層	26.3	4.0	8.0	2.7	12.0	38.9	6.6	0.0	0.0	0.0	66.7
		不安定経営・管理層	14.1	1.6	6.3	0.0	4.7	11.1	23.1	1.5	6.2	0.0	53.8
		自営業層	14.9	1.8	5.4	1.8	8.3	27.3	14.7	0.6	0.6	0.6	80.0
		安定的労働者層	12.7	1.6	6.6	0.0	4.9	47.8	15.9	1.6	2.7	0.5	78.3
		不安定労働者層	12.4	2.2	3.4	0.6	5.1	50.0	12.2	0.6	0.6	1.7	81.0
		計	14.8	2.1	5.5	0.9	6.6	38.0	14.2	0.9	1.6	0.7	75.0
女	小3	安定的経営・管理層	91.2	61.8	44.1	29.4	8.8	58.1	47.1	26.5	0.0	2.9	80.0
		不安定経営・管理層	82.9	51.2	43.9	34.1	12.2	50.0	51.2	43.9	0.0	0.0	56.3
		自営業層	82.7	60.5	23.5	21.0	13.6	68.7	34.6	26.8	2.4	0.0	73.9
		安定的労働者層	83.0	59.0	29.0	23.0	18.0	70.7	47.0	36.3	2.0	1.0	68.3
		不安定労働者層	73.7	50.0	19.3	29.8	7.0	60.8	39.5	27.0	0.9	0.0	61.5
		計	80.8	55.9	27.8	26.5	12.2	63.8	42.4	31.3	1.3	0.5	67.2
	小5	安定的経営・管理層	83.8	56.8	13.5	18.9	35.1	61.3	32.4	21.6	0.0	0.0	87.5
		不安定経営・管理層	73.3	46.7	33.3	26.7	16.7	55.0	20.0	6.7	3.3	0.0	100.0
		自営業層	71.7	48.1	35.8	22.6	19.8	64.2	29.4	13.2	2.8	0.0	60.9
		安定的労働者層	84.5	53.9	28.7	29.6	22.6	55.4	41.7	25.4	0.8	0.0	71.4
		不安定労働者層	75.0	48.3	28.3	28.3	13.3	53.6	34.2	14.0	2.5	0.0	66.7
		計	77.5	50.5	29.4	26.2	19.9	57.3	33.9	17.2	1.9	0.0	70.5
	中2	安定的経営・管理層	56.3	41.4	11.4	1.4	10.0	56.4	9.9	0.0	0.0	2.8	100.0
		不安定経営・管理層	36.1	21.3	11.5	0.0	6.6	65.0	6.7	0.0	0.0	0.0	66.7
		自営業層	32.9	17.3	6.9	2.9	5.8	62.5	10.3	1.1	0.0	0.0	52.9
		安定的労働者層	40.9	25.1	13.5	4.1	6.4	51.5	12.1	1.1	0.0	1.1	57.1
		不安定労働者層	27.9	14.5	7.8	1.7	3.9	55.1	5.6	2.2	0.0	1.1	50.0
		計	36.5	21.6	9.8	2.4	6.0	57.0	9.1	1.2	0.0	0.9	61.5

注）「習い事（少年団等）が楽しい者」は何らかの習い事（スポーツ少年団・教室）をしている者のうち「習い事（少年団等）に通うのが楽しい」と答えた者の割合。

女ともっとも高く、逆に不安定労働者層がもっとも低くなっている。しかも、その傾向は、とくに女子のピアノの場合に明確に示されている。その意味で、ピアノを中心にした習い事への志向性には、一定の階層差が存在するといえる。その背後には、両階層の経済的条件の違いや文化的条件・文化的志向性の違いがあると考えられる。

一方、スポーツ少年団・スポーツ教室などへの参加状況を見ると、習い事と対照的に、全体として男子が女子よりも多くなっている。もちろん、習い事と同様、中２の段階で激減し、1割前後になっている点は、男女とも変わらない。しかし、小学校段階で男子は6割台、女子は3～4割と大きく異なっている。それは、主として、小学校段階において野球やサッカーに参加する男子が多いことにもとづいている。ただし、水泳に関しては、男子と同様の割合で女子も参加しており、小３で約30%、小５で17%前後に達している。その結果、女子の場合、男子と異なり水泳に特化する傾向が強くなっている。逆にいえば、このことは、全体としてスポーツ少年団やスポーツ教室には男子向きのものが多いことを物語っている。なお、スポーツに関しては習い事と異なり、一貫した階層差は見いだせない。

(3)子ども会やボーイスカウト・ガールスカウト

次に、子ども会やボーイスカウト・ガールスカウトなどの集団的な活動への参加状況についてみてみると、学習に関わる活動と同様、男女差、階層差とも見られない（表30）。

子ども会の場合、小学校段階では、男女、階層の別なく、ほぼ80%以上の者が子ども会に加入している。この地域の場合、小学生は全員加盟制であるのが一般的なので、正確にいえば、この数値は子ども会への帰属意識をもっている者の割合ということになる。それだけ、彼らにとって、子ども会は身近な存在であると考えられる。子ども会の行事への参加者も、帰属意識を持っている者よりも1割程度低くなるだけで、7、8割の水準を維持している。ただし、子ども会が楽しいとする者の割合は、小３で6～7割台、小５で4割台にとどまっている。しかし、中学生になると、加入者（帰属意識をもつ者）は、男で24.4%、女で32.5%に低下し、行事への参加者、子ども会を楽しいと思う者の割合も激減する。中学生の場合、部活動や勉強が忙しくなり、子ども会への加盟が強制的なものでなくなることもあって、どの地域にも一般的に見られる傾向である。

これに対し、ボーイスカウト・ガールスカウトに参加している者は、学年、男女、階層の違いなく、ほとんど存在していない。

(4)外遊び・内遊び

子どもたちにとって、放課後の時間は遊びの時間にもなる。

実際、表31を見ると、外遊びをする者の割合は、小３段階で男女とも9割を超えている。その割合は学年の上昇によって多少減少するが、もっとも少ない中２女子でも7割弱に達している。そこには、大きな男女差や階層差は見られない。男女、学年、階層を問わず、多くの子どもたちが放課後に外遊びをしていることが理解できる。内遊びの場合、さらにその割合は高くなり、男女、学年、階層の差なく、90%を超えている。したがって、中学生を含め、放課後はほとんどの子どもたちにとって遊びの時間としても、重要な意味を持っているといえる。

ただし、外遊びの場所や内容、遊び相手に関しては、階層的な違いは見られないが、学年や男女によって異なる傾向が見いだせる。

外遊びの場所を見ると、男女とも小学校段階では「家の近く」（6～8割台）、「公園」（5～6割台）が中心であることがわかる。しかし、中２になると、「家の近く」、「公園」が急減し、「ゲームセンター」が急増する。その結果、男子が53.5%、女子が35.7%で、男女とも「ゲームセンター」が遊び場のトップになる。

外遊びの内容も学年によって、当然異なっている。表32のように、男女とも小学校段階トップであった「自転車遊び」（小３男女・7割弱、小５男女・5割台）が中２になると激減し、男子で26.6%、女子で17.

表30　子ども会・ボーイスカウトへの参加状況　　単位：%

			子ども会			ボーイ・ガールスカウト
			加入者	行事の参加者	楽しい	
男	小3	安定的経営・管理層	87.5	79.2	60.9	0.0
		不安定経営・管理層	86.8	77.4	71.4	10.5
		自営業層	95.4	78.4	49.2	3.4
		安定的労働者層	87.4	81.9	60.8	9.2
		不安定労働者層	90.2	71.8	60.9	1.8
		計	89.9	77.6	59.1	5.2
	小5	安定的経営・管理層	84.6	74.2	38.5	0.0
		不安定経営・管理層	73.2	69.4	44.4	5.4
		自営業層	80.8	72.0	38.5	3.1
		安定的労働者層	84.6	72.2	42.7	1.7
		不安定労働者層	90.1	64.7	38.1	1.4
		計	84.1	69.5	40.1	2.2
	中2	安定的経営・管理層	22.4	12.5	13.3	1.3
		不安定経営・管理層	21.5	15.4	0.0	1.5
		自営業層	28.1	24.4	16.3	2.9
		安定的労働者層	23.0	18.4	6.1	4.4
		不安定労働者層	24.4	21.4	16.2	2.8
		計	24.4	20.1	12.1	3.0
女	小3	安定的経営・管理層	84.8	88.9	68.0	2.9
		不安定経営・管理層	80.5	80.0	60.7	2.4
		自営業層	84.1	86.9	63.5	7.4
		安定的労働者層	91.0	80.0	77.8	9.0
		不安定労働者層	87.6	74.4	62.5	5.3
		計	86.7	80.6	67.5	6.2
	小5	安定的経営・管理層	81.1	76.7	51.9	2.7
		不安定経営・管理層	86.7	95.0	36.8	13.8
		自営業層	83.8	67.9	50.0	6.7
		安定的労働者層	90.6	79.4	50.0	6.0
		不安定労働者層	80.2	75.6	46.8	5.8
		計	84.6	76.1	48.4	6.4
	中2	安定的経営・管理層	41.4	25.0	16.7	0.0
		不安定経営・管理層	36.7	14.3	5.0	0.0
		自営業層	31.8	12.0	13.0	2.9
		安定的労働者層	31.2	26.0	8.7	1.7
		不安定労働者層	29.4	17.3	4.3	2.2
		計	32.5	18.9	9.3	1.8

注）子ども会の「楽しい」は子ども会に加入している者のうち「子ども会が楽しい」と答えた者の割合。

表31　外遊び・内遊び・テレビ視聴時間　　単位：%、?時間?分

			外遊びをする者	外遊びの場所（外遊びをする者に限定）					内遊びをする者	テレビ視聴時間	父適当なテレビ時間	母適当なテレビ時間
				家の近く	公園	校庭	空き地	ｹﾞｰﾑｾﾝﾀｰ				
男	小3	安定的経営・管理層	90.6	75.9	62.1	31.0	37.9	13.8	100.0	2.10	1.56	1.39
		不安定経営・管理層	94.9	83.8	54.1	37.8	29.7	8.1	100.0	2.33	1.44	1.50
		自営業層	92.0	75.0	56.3	27.5	28.8	6.3	97.7	2.36	1.58	2.02
		安定的労働者層	95.0	75.4	67.5	35.1	31.6	18.4	100.0	2.25	1.53	1.48
		不安定労働者層	96.4	75.9	56.5	33.3	25.0	7.4	100.0	2.30	1.51	1.45
		計	94.4	76.4	60.1	32.9	29.3	11.1	99.5	2.28	1.53	1.50
	小5	安定的経営・管理層	92.3	57.1	54.3	22.9	28.6	20.0	100.0	2.34	1.48	1.38
		不安定経営・管理層	91.1	58.8	52.9	21.6	21.6	29.4	96.4	2.52	1.49	1.41
		自営業層	93.9	65.2	57.6	27.2	29.3	25.0	98.0	2.57	2.09	2.02
		安定的労働者層	89.2	60.0	49.5	27.6	29.5	12.4	95.0	2.51	1.50	1.43
		不安定労働者層	90.2	60.2	56.3	26.6	32.0	22.7	97.9	2.58	1.51	2.01
		計	91.0	60.8	54.3	26.0	29.2	21.2	97.1	2.53	1.54	1.52
	中2	安定的経営・管理層	79.2	39.0	33.9	20.3	27.1	40.7	94.8	2.41	1.36	1.37
		不安定経営・管理層	84.6	40.0	45.5	10.9	21.8	56.4	100.0	2.31	1.42	1.39
		自営業層	84.3	31.2	29.8	13.5	23.4	53.2	94.8	2.45	1.40	1.37
		安定的労働者層	76.9	28.7	30.8	14.0	23.1	54.5	91.9	2.34	1.39	1.37
		不安定労働者層	80.6	34.0	33.3	13.2	22.9	56.9	93.4	2.51	1.51	1.54
		計	80.7	33.0	33.0	14.0	23.4	53.5	94.1	2.42	1.42	1.42
女	小3	安定的経営・管理層	97.1	84.8	51.5	30.3	12.1	0.0	97.1	2.17	1.37	1.48
		不安定経営・管理層	90.2	83.8	64.9	32.4	29.7	2.7	97.6	2.46	1.45	1.41
		自営業層	96.3	81.8	62.3	18.2	27.3	2.6	100.0	2.18	1.48	1.42
		安定的労働者層	89.1	87.8	57.8	26.7	22.2	3.3	97.0	2.29	1.50	1.47
		不安定労働者層	94.7	84.1	66.4	26.2	16.8	0.9	100.0	2.29	1.48	1.57
		計	93.3	84.6	61.6	25.6	21.5	2.0	98.7	2.27	1.47	1.48
	小5	安定的経営・管理層	73.0	84.6	53.8	15.4	19.2	15.4	100.0	2.55	1.34	1.37
		不安定経営・管理層	86.7	80.8	65.4	15.4	19.2	11.5	96.7	2.54	1.46	1.57
		自営業層	82.1	76.2	47.6	28.6	19.0	8.3	98.1	2.56	1.50	1.50
		安定的労働者層	79.5	82.4	57.1	23.1	18.7	12.1	99.2	2.46	1.53	1.50
		不安定労働者層	82.6	78.6	44.9	25.5	19.4	10.2	99.2	3.02	1.58	1.58
		計	81.0	79.7	51.4	24.0	19.1	10.8	98.8	2.55	1.51	1.52
	中2	安定的経営・管理層	64.3	38.6	36.4	6.8	9.1	31.8	97.1	2.23	1.26	1.29
		不安定経営・管理層	70.5	20.9	20.9	2.3	14.0	39.5	91.8	2.33	1.39	1.36
		自営業層	73.7	21.4	16.7	6.3	9.5	42.1	90.9	2.54	1.47	1.45
		安定的労働者層	58.9	27.7	19.8	11.9	9.9	28.7	94.3	2.45	1.43	1.34
		不安定労働者層	72.9	26.6	22.7	7.0	8.6	35.2	95.0	2.54	1.48	1.51
		計	68.3	26.0	21.5	7.5	9.7	35.7	93.7	2.46	1.43	1.41

表32　外遊びの内容（複数回答・主なもの）　　単位：%

			自転車	野球	テニス	砂場遊び	鬼ごっこ	サッカー	石けり	ゲーム	ぶらぶらする	N
男	小3	安定的経営・管理層	68.0	44.0	12.0	16.0	24.0	64.0	20.0	28.0	4.0	25
		不安定経営・管理層	79.4	29.4	35.3	20.6	14.7	61.8	17.6	8.8	5.9	34
		自営業層	61.3	34.7	30.7	21.3	32.0	45.3	16.0	6.7	6.7	75
		安定的労働者層	69.8	31.1	29.2	25.5	34.0	54.7	17.0	17.0	11.3	106
		不安定労働者層	71.0	27.0	26.0	25.0	28.0	54.0	17.0	8.0	10.0	100
		計	69.1	31.5	27.9	23.2	29.1	53.8	17.1	12.1	8.8	340
	小5	安定的経営・管理層	51.4	31.4	22.9	0.0	25.7	34.3	5.7	11.4	11.4	35
		不安定経営・管理層	38.8	42.9	4.1	4.1	26.5	46.9	0.0	20.4	22.4	49
		自営業層	56.8	42.0	21.6	3.4	20.5	46.6	4.5	28.4	20.5	88
		安定的労働者層	53.4	36.9	21.4	10.7	25.2	36.9	3.9	20.4	16.5	103
		不安定労働者層	59.7	39.5	21.0	11.8	31.1	43.7	6.7	28.6	20.2	119
		計	54.1	39.1	19.3	7.6	26.1	42.1	4.6	23.9	18.8	394
	中2	安定的経営・管理層	27.6	10.3	25.9	0.0	8.6	34.5	1.7	43.1	44.8	58
		不安定経営・管理層	22.2	27.8	13.0	1.9	1.9	22.2	3.7	53.7	40.7	54
		自営業層	29.0	10.9	21.0	2.2	5.8	25.4	1.4	44.2	46.4	138
		安定的労働者層	25.2	17.3	19.4	0.0	6.5	21.6	0.7	52.5	44.6	139
		不安定労働者層	26.8	17.4	16.7	2.2	5.8	24.6	1.4	53.6	45.7	138
		計	26.6	15.9	19.2	1.3	5.9	24.9	1.5	49.7	45.0	527
女	小3	安定的経営・管理層	64.3	7.1	28.6	42.9	42.9	3.6	60.7	0.0	3.6	28
		不安定経営・管理層	78.8	3.0	36.4	45.5	54.5	0.0	36.4	0.0	9.1	33
		自営業層	71.8	5.6	26.8	40.8	45.1	4.2	46.5	4.2	12.7	71
		安定的労働者層	67.4	2.3	34.9	51.2	54.7	4.7	46.5	4.7	14.0	86
		不安定労働者層	68.6	2.0	27.5	52.9	45.1	1.0	38.2	2.9	14.7	102
		計	69.7	3.4	30.3	48.1	48.4	2.8	44.1	3.1	12.5	320
	小5	安定的経営・管理層	57.7	0.0	50.0	26.9	26.9	3.8	23.1	19.2	34.6	26
		不安定経営・管理層	46.2	7.7	53.8	19.2	26.9	3.8	26.9	15.4	34.6	26
		自営業層	48.8	2.5	36.3	18.8	43.8	0.0	21.3	8.8	27.5	80
		安定的労働者層	50.0	1.2	43.0	31.4	33.7	3.5	32.6	12.8	27.9	86
		不安定労働者層	52.6	2.1	34.0	24.7	38.1	4.1	17.5	12.4	26.8	97
		計	50.8	2.2	40.0	24.8	36.5	2.9	23.8	12.4	28.6	315
	中2	安定的経営・管理層	22.7	0.0	29.5	6.8	9.1	6.8	2.3	29.5	54.5	44
		不安定経営・管理層	19.5	0.0	22.0	0.0	2.4	0.0	0.0	43.9	56.1	41
		自営業層	16.9	2.4	20.2	0.8	6.5	1.6	3.2	33.1	58.9	124
		安定的労働者層	10.1	1.0	29.3	7.1	4.0	5.1	3.0	23.2	59.6	99
		不安定労働者層	20.3	0.8	23.4	3.1	4.7	3.9	3.1	31.3	56.3	128
		計	17.2	1.1	24.3	3.4	5.3	3.4	2.8	31.0	57.6	436

2%になる。逆に、男女ともに、中学校段階で急増するのが「ぶらぶらする」と「ゲーム」である。男子の場合、「ゲーム」が49.7%、「ぶらぶらする」が45.0%、女子で「ぶらぶらする」が57.6%、「ゲーム」が31.0%でともに1、2位となっている。また、小学生段階の男子に多く見られる「野球」、「サッカー」や、女子に多く見られる「石けり」、「砂場遊び」、「鬼ごっこ」も中2で激減する。その意味で、男女の違いなく、小学生段階と中学生段階では外遊びの内容は大きく変化し、その結果、小学生段階に男女の間で大きく異なっていた外遊びの内容が中学生段階では似たもの(「ゲーム」や「ぶらぶらする」)になる傾向が見いだせる。

内遊びの場合にも、学年や男女で異なる傾向が強い(表33)。たしかに、「テレビを見る」、「漫画を読む」は、男女ともいずれの学年でもほぼ6〜8割台になっており、そこには学年や男女の違いはない。また、テレビ視聴時間もおよそ2時間半から3時間未満で共通している(前掲表32——彼らのテレビ視聴時間は父母が適当と見なす時間より、小3で約30分、小5・中2で約1時間長めになっている)。しかし、男女とも中2になるとそれまで1〜3割台であった「ラジオを聞く」が急増し、男子で55.4%、女子では71.4%に達している。そこには、外遊びの内容と同様、小学生段階と中学生段階の違いが存在する。また、「おしゃべりをする」や「テレビゲーム」のように、男女の違いが明確になっているものもある。いずれの学年においても、「おしゃべりをする」は女子(ほぼ4割)の方が男子(1〜2割)よりも多く、「テレビゲーム」は男子(8割台)の方が女子(3〜5割台)よりも多くなっている。したがって、ここから、全体としてみれば、内遊びも外遊びと同様、男女で異なる傾向が見られるが、外遊びとは異なり、中学生段階で男女が共通の傾向を示すようにはならないことが明らかになる。

最後に、子どもたちの遊び相手を見ると、外遊びの場合、表34のように、「同じクラスの友」が男女、学年の違いなくつねに70%を超え、トップの位置を占めている。しかし、男女とも「兄弟」、「年上の友」、「近所の友」が学年の上昇にともなって、減少する傾向を見せている。このうち、とくに「兄弟」は小3の54.1%(男)、60.6%(女)から中2の16.3%、16.8%へと激減している。しかし、それはけっして「一人で遊ぶ」者が増加することを意味していない。「一人で遊ぶ」者は男女とも一貫して1〜2割台にとどまっている。そのかわり、小学生段階ですでにほぼ50%台に達していた「他クラスの友」が中2の段階でさらに増加し、男女とも70%を超えるようになっている。その結果、小学生段階では、比較的多様な関係の友人と外で遊んでいたものが、中学生段階になると「同じクラスの友」と「他クラスの友」に集中・特化する傾向が強く見られる。それだけ、外遊びの相手が限られた関係のものだけになってきているといえる。

これに対し、内遊びの遊び相手の場合、外遊びと同様に、男女とも「兄弟」、「年上の友」、「近所の友」が学年の上昇にともなって、減少している(表35)。しかも、小3の段階で66.8%(男)、66.4%(女)ともっとも重要な位置を占めていた「兄弟」が中2の段階で30%台へと大きく減少している点も共通している。しかし、それを除くと、いくつかの点で外遊びとは異なる傾向が存在する。第1に、外遊びの場合、一貫してもっとも多かった「同じクラスの友」が、内遊びでは男女とも学年の上昇にともなって減少している。小3で約6割で「兄弟」とともに重要な位置を占めていたものが、中2では3〜4割台に低下している。第2に、外遊びのように学年の上昇に伴う「他クラスの友」の増加傾向が見られず、男女とも各学年で3〜4割台を維持したままになっている。第3に、それにかわって、男女とも外遊びでは見られなかった「一人で遊ぶ」者が学年の上昇にともなって増加し、中2の段階で5〜6割に達している。その結果、中2では男女とも「一人で遊ぶ」者の割合が「他クラスの友」を抜いてもっとも高くなっている。

したがって、外遊び、内遊びのいずれにおいても、男女とも学年の上昇にともなって遊び相手が変化するが、その内容は外遊びか内遊びかによって大きく異なっていることがわかる。

(5)放課後の生活の学年・男女・階層による違い

以上、子どもたちの放課後の生活の諸特徴を、4つの側面に注目しながら、検討してきた。その結果、①学年・男女・階層の違いが見られない領域、②主として学年の違いが大きい領域、③主として男女の違

表33　性別学年別階層別内遊びの内容（複数回答・主なもの）　　単位：%

			テレビを見る	ラジオを聞く	マンガを読む	本を読む	おしゃべり	絵を描く	楽器を演奏	トランプ遊び	テレビゲーム	人形で遊ぶ	N
男	小3	安定的経営・管理層	87.5	15.6	65.6	37.5	31.3	50.0	15.6	28.1	84.4	25.0	32
		不安定経営・管理層	84.6	7.7	64.1	23.1	25.6	43.6	5.1	28.2	89.7	12.8	39
		自営業層	81.2	7.1	64.7	22.4	17.6	49.4	3.5	12.9	96.5	12.9	85
		安定的労働者層	84.0	12.6	67.2	31.9	24.4	47.9	8.4	32.8	90.8	32.8	119
		不安定労働者層	83.0	6.3	63.4	30.4	24.1	42.9	8.9	28.6	85.7	23.2	112
		計	83.5	9.3	65.1	28.9	23.5	46.5	7.8	26.4	89.9	23.0	387
	小5	安定的経営・管理層	73.7	18.4	63.2	28.9	18.4	39.5	7.9	23.7	81.6	5.3	38
		不安定経営・管理層	68.5	16.7	61.1	24.1	11.1	44.4	3.7	31.5	92.6	3.7	54
		自営業層	81.4	15.5	75.3	29.9	20.6	49.5	5.2	28.9	86.6	7.2	97
		安定的労働者層	75.4	17.5	74.6	24.6	18.4	50.0	2.6	26.3	86.8	11.4	114
		不安定労働者層	75.7	10.0	70.7	35.0	18.6	40.0	2.9	20.7	87.9	7.1	140
		計	75.8	14.7	70.9	29.3	18.1	45.1	3.8	25.5	87.4	7.7	443
	中2	安定的経営・管理層	88.9	70.8	83.3	43.1	18.1	22.2	18.1	22.2	81.9	2.8	72
		不安定経営・管理層	75.4	52.3	84.6	47.7	12.3	16.9	13.8	15.4	75.4	1.5	65
		自営業層	81.8	55.8	69.7	32.1	15.2	27.3	13.9	15.2	75.8	2.4	165
		安定的労働者層	83.5	48.8	66.5	42.9	12.9	19.4	9.4	13.5	82.4	1.2	170
		不安定労働者層	85.8	56.2	72.8	36.7	14.2	23.7	11.2	13.0	85.8	1.8	169
		計	83.5	55.4	72.7	39.0	14.4	22.6	12.5	15.0	80.8	1.9	641
女	小3	安定的経営・管理層	90.9	12.1	69.7	51.5	48.5	30.3	36.4	42.4	63.6	54.5	33
		不安定経営・管理層	72.5	12.5	45.0	37.5	47.5	40.0	32.5	35.0	47.5	60.0	40
		自営業層	81.7	11.0	57.3	46.3	46.3	30.5	37.8	34.1	50.0	50.0	82
		安定的労働者層	86.7	13.3	44.9	59.2	43.9	28.6	34.7	31.6	40.8	49.0	98
		不安定労働者層	83.0	12.5	48.2	44.6	42.0	24.1	30.4	30.4	43.8	42.9	112
		計	83.3	12.3	51.0	48.8	44.7	29.0	34.0	33.2	46.6	49.0	365
	小5	安定的経営・管理層	70.3	27.0	67.6	43.2	54.1	16.2	37.8	51.4	67.6	18.9	37
		不安定経営・管理層	75.9	31.0	69.0	37.9	51.7	24.1	27.6	34.5	55.2	17.2	29
		自営業層	74.8	29.1	68.0	36.9	43.7	33.0	21.4	25.2	58.3	17.5	103
		安定的労働者層	80.3	31.6	73.5	38.5	43.6	32.5	31.6	32.5	54.7	23.9	117
		不安定労働者層	75.4	31.4	64.4	33.9	32.2	35.6	33.1	19.5	56.8	23.7	118
		計	76.2	30.4	68.6	37.1	41.8	31.4	29.7	28.7	57.4	21.3	404
	中2	安定的経営・管理層	83.8	75.0	66.2	52.9	39.7	13.2	44.1	10.3	30.9	1.5	68
		不安定経営・管理層	92.9	76.8	69.6	44.6	39.3	10.7	33.9	7.1	33.9	1.8	56
		自営業層	88.1	67.3	66.0	42.1	33.3	12.6	32.7	11.3	41.5	1.9	159
		安定的労働者層	87.8	69.5	68.9	54.9	35.4	18.9	37.8	7.3	39.0	3.0	164
		不安定労働者層	86.6	73.8	64.0	47.1	41.9	11.6	35.5	10.5	30.8	1.2	172
		計	87.6	71.4	66.6	48.3	37.5	13.9	36.2	9.5	36.0	1.9	619

表34　性別学年別階層別家外遊び相手（複数回答・主なもの）　　単位：%

			兄弟	同クラスの友	他クラスの友	近所の友	年上の友	年下の友	ひとりで遊ぶ	N
男	小3	安定的経営・管理層	57.7	73.1	50.0	50.0	15.4	19.2	19.2	26
		不安定経営・管理層	44.1	67.6	52.9	41.2	23.5	23.5	23.5	34
		自営業層	54.2	79.2	59.7	41.7	20.8	13.9	15.3	72
		安定的労働者層	53.7	73.1	52.8	44.4	25.0	21.3	22.2	108
		不安定労働者層	57.1	77.6	52.0	42.9	23.5	19.4	28.6	98
		計	54.1	75.1	53.8	43.5	22.8	19.2	22.5	338
	小5	安定的経営・管理層	17.1	68.6	45.7	25.7	11.4	8.6	11.4	35
		不安定経営・管理層	33.3	83.3	70.8	33.3	22.9	14.6	16.7	48
		自営業層	34.1	84.1	60.2	34.1	18.2	18.2	14.8	88
		安定的労働者層	29.7	72.3	59.4	38.6	23.8	17.8	17.8	101
		不安定労働者層	30.3	73.1	59.7	37.8	21.8	17.6	18.5	119
		計	30.2	76.2	59.8	35.5	20.7	16.6	16.6	391
	中2	安定的経営・管理層	17.2	72.4	72.4	19.0	5.2	13.8	15.5	58
		不安定経営・管理層	15.1	69.8	81.1	18.9	11.3	11.3	28.3	53
		自営業層	18.0	75.5	79.9	18.0	11.5	10.1	25.2	139
		安定的労働者層	12.5	80.9	77.2	11.0	9.6	11.0	20.6	136
		不安定労働者層	18.6	77.1	72.9	22.1	11.4	11.4	18.6	140
		計	16.3	76.4	76.6	17.5	10.3	11.2	21.5	526
女	小3	安定的経営・管理層	55.6	85.2	59.3	48.1	14.8	18.5	14.8	27
		不安定経営・管理層	51.4	71.4	48.6	51.4	14.3	31.4	28.6	35
		自営業層	64.4	65.8	42.5	43.8	16.4	16.4	13.7	73
		安定的労働者層	60.5	67.4	59.3	52.3	22.1	27.9	25.6	86
		不安定労働者層	62.5	72.1	46.2	35.6	15.4	21.2	9.6	104
		計	60.6	70.5	50.2	44.6	17.2	22.8	17.2	325
	小5	安定的経営・管理層	52.0	72.0	64.0	44.0	4.0	16.0	16.0	25
		不安定経営・管理層	45.8	79.2	50.0	41.7	8.3	20.8	8.3	24
		自営業層	36.7	81.0	54.4	39.2	13.9	17.7	10.1	79
		安定的労働者層	46.7	75.6	42.2	41.1	7.8	21.1	18.9	90
		不安定労働者層	30.5	68.4	48.4	46.3	21.1	18.9	25.3	95
		計	39.6	74.8	49.5	42.5	13.1	19.2	17.6	313
	中2	安定的経営・管理層	17.8	80.0	80.0	22.2	11.1	4.4	6.7	45
		不安定経営・管理層	7.3	68.3	78.0	17.1	7.3	12.2	4.9	41
		自営業層	15.7	74.8	74.8	10.2	5.5	5.5	8.7	127
		安定的労働者層	21.6	73.5	77.5	11.8	10.8	13.7	11.8	102
		不安定労働者層	16.8	68.7	76.3	10.7	8.4	6.9	15.3	131
		計	16.8	72.6	76.7	12.6	8.3	8.3	10.8	446

表35　性別学年別階層別内遊びの相手（構成比）　　単位：%

			父母	兄弟	同クラスの友	他クラスの友	近所の友	年上の友	年下の友	ひとりで遊ぶ	N
男	小3	安定的経営・管理層	36.7	70.0	60.0	40.0	36.7	6.7	10.0	33.3	30
		不安定経営・管理層	32.4	54.1	56.8	37.8	35.1	10.8	8.1	21.6	37
		自営業層	23.1	60.3	65.4	51.3	42.3	11.5	10.3	23.1	78
		安定的労働者層	28.1	68.4	62.3	41.2	35.1	17.5	14.9	45.6	114
		不安定労働者層	30.2	73.6	60.4	38.7	32.1	13.2	9.4	31.1	106
		計	28.8	66.8	61.6	42.2	35.9	13.4	11.2	33.2	365
	小5	安定的経営・管理層	13.2	57.9	50.0	34.2	18.4	5.3	2.6	31.6	38
		不安定経営・管理層	22.6	52.8	64.2	54.7	34.0	11.3	1.9	34.0	53
		自営業層	11.6	58.9	63.2	47.4	28.4	16.8	14.7	33.7	95
		安定的労働者層	22.3	45.5	56.3	50.0	36.6	9.8	15.2	36.6	112
		不安定労働者層	19.5	54.1	57.9	45.1	30.1	12.8	10.5	31.6	133
		計	18.3	53.1	58.7	47.1	30.9	12.1	10.9	33.6	431
	中2	安定的経営・管理層	2.9	37.7	42.0	44.9	8.7	2.9	5.8	55.1	69
		不安定経営・管理層	9.4	31.3	39.1	45.3	10.9	3.1	7.8	65.6	64
		自営業層	7.7	36.5	45.5	50.6	11.5	5.8	5.8	57.7	156
		安定的労働者層	7.4	35.8	50.0	42.6	8.6	4.9	5.6	59.3	162
		不安定労働者層	4.9	38.7	47.2	42.9	16.0	5.5	4.3	51.5	163
		計	6.5	36.5	46.1	45.3	11.6	4.9	5.5	57.0	614
女	小3	安定的経営・管理層	33.3	70.0	70.0	50.0	26.7	3.3	10.0	23.3	30
		不安定経営・管理層	23.7	63.2	60.5	36.8	47.4	13.2	31.6	42.1	38
		自営業層	22.8	73.4	62.0	31.6	39.2	11.4	7.6	20.3	79
		安定的労働者層	27.1	60.4	56.3	45.8	37.5	15.6	19.8	33.3	96
		不安定労働者層	28.7	66.7	53.7	33.3	27.8	10.2	11.1	25.9	108
		計	26.8	66.4	58.4	38.2	35.0	11.7	14.8	28.2	351
	小5	安定的経営・管理層	27.8	52.8	55.6	41.7	36.1	5.6	8.3	41.7	36
		不安定経営・管理層	21.4	64.3	67.9	39.3	42.9	3.6	17.9	25.0	28
		自営業層	15.0	44.0	65.0	41.0	27.0	7.0	10.0	38.0	100
		安定的労働者層	21.2	53.1	56.6	32.7	32.7	4.4	12.4	43.4	113
		不安定労働者層	13.0	48.7	43.5	28.7	29.6	7.0	8.7	48.7	115
		計	17.9	50.3	55.6	34.9	31.4	5.9	10.7	42.1	392
	中2	安定的経営・管理層	14.9	40.3	32.8	40.3	10.4	7.5	3.0	70.1	67
		不安定経営・管理層	7.7	32.7	32.7	46.2	17.3	0.0	7.7	61.5	52
		自営業層	9.0	36.1	32.9	41.3	7.1	4.5	1.3	61.3	155
		安定的労働者層	10.9	39.1	37.8	37.8	10.3	5.1	6.4	62.8	156
		不安定労働者層	6.5	36.7	33.7	42.0	8.9	3.6	3.6	59.8	169
		計	9.3	37.2	34.4	40.9	9.7	4.3	4.0	62.3	599

いが大きい領域、④一定の階層差が無視できない領域が存在することが明らかになった。その場合、4つの側面のそれぞれの中に学年・男女・階層の差という点で性格の異なる領域が存在した。

①学年・男女・階層の違いがとくに見られなかったのは、家庭教師についている者とボーイスカウト・ガールスカウトへの参加者の少なさであった。また、外遊び・内遊びをする者の割合、内遊びとしてテレビを見る者、マンガを読む者の割合、外遊びで「同じクラスの友」が遊び相手になる者の割合の高さも各学年・男女・各階層に共通していた。これらの共通した特徴はいいかえれば、現代の子どもたちの世代的な特徴と見なしてもよいものであろう。

②これに対し、主として学年の違いが大きかったのは、塾に通う者の割合、勉強時間と子ども会への参加者の割合であった。前者は学年の上昇に伴って増加し、後者は中2で激減するという形をとっていた。これらの変化は、明らかに受験勉強が近づくことによって生じているものである。しかし、それだけでなく、外遊び・内遊びについても、いくつかの点で学年によって男女ともに階層の違いなく変化するものがあった。外遊びの場所が学年の上昇に伴って男女とも「家の近く」、「公園」から「ゲームセンター」へ変化すること、同時に外遊びの内容も「ゲーム」、「ぶらぶらする」といったものが中心になること、さらに外遊びの相手が「兄弟」、「年上の友」、「近所の友」から「他クラスの友」へ変化し、内遊びでは「一人で遊ぶ」者が増加することなどが、典型的なものである。こうした変化は、発達段階の違いによってもたらされている面が強いと考えられる。その意味で、主として受験競争の圧力と発達段階の違いが、学年による放課後の生活の違いを生み出しているといえる。

③主として男女による違いが大きかったのは、内遊びの内容として学年や階層の違いにかかわらず、男子に「ゲーム」をする者が多く、「おしゃべりをする」者がもっぱら女子にのみ見られた点である。同時に、習い事に通う者の割合やその内容、スポーツ少年団・スポーツ教室へ通う者の割合やその内容、男子中心の「野球」、「サッカー」、女子に多く見られる「石けり」、「砂場遊び」、「鬼ごっこ」といった外遊びの内容のように、小学校段階でとくに強く男女差が見られるものも存在した。これらは、学年の上昇に伴って男女とも減少するため、次第に男女差が小さくなるが、年齢の低い段階で男女別に異なる活動を通して獲得されるジェンダー・ハビトゥスの存在を示すものとして、学年の違いにもかかわらず一貫して男女差のある活動とともに重要な意味をもっている。

④最後に、放課後の活動として階層差が見られたのは、塾に通う者の割合と習い事に通う者の割合やその内容に関してである。塾に関しては、主として不安定労働者層の子弟に塾に通う者が各学年、男女とも一貫して相対的に少ないという点、習い事に関しては、主として安定的経営・管理層に習い事に通う者が多く、不安定労働者層に少ない点が見られた。その背後には、これらの階層の経済資本や文化資本の差があると考えられる。

こうして、子どもたちの放課後の生活には、世代的に共通した特徴と同時に、学年、男女、階層による違いがあることが明らかになる。

第4節　家庭での生活

次に、家庭での生活を、小遣いと家での手伝い、家族内のコミュニケーション、家庭での楽しみや悩みといった側面から見ていこう。

(1)小遣いと家での手伝い

このうち、まず小遣いの状況について、検討してみよう。表36は、小遣いの有無と金額について見たものである。ここから、男女とも小3の段階で5割台の者が小遣いをもらっていること、学年が上がるに従って小遣いをもらう者が多くなり、中2では8割台になることがわかる。しかも、平均の小遣い額も、学年の上昇によって増えている。男子の場合、小3で1180円、小5で1493.5円、中2で2900.1円、女子の場合、それぞれ1031円、1272.8円、2835.9円となっており、額そのものはいずれの学年でも男子の方が若干高い。

表36　小遣いの有無と額　　単位：%

			小遣いある者	500円未満	500円～	1000円～	3000円～	5000円～	10000円以上	平均(円)	N
男	小3	安定的経営・管理層	59.4	17.6	47.1	23.5	5.9	5.9	0.0	1100.0	17
		不安定経営・管理層	56.4	4.8	28.6	61.9	0.0	4.8	0.0	1123.8	21
		自営業層	54.0	6.7	22.2	60.0	11.1	0.0	0.0	1350.0	45
		安定的労働者層	58.3	13.4	35.8	43.3	7.5	0.0	0.0	1053.7	67
		不安定労働者層	61.6	15.4	21.5	47.7	13.8	1.5	0.0	1231.5	65
		計	58.2	12.1	28.8	48.4	9.3	1.4	0.0	1180.0	215
	小5	安定的経営・管理層	74.4	3.4	20.7	69.0	3.4	3.4	0.0	1356.9	29
		不安定経営・管理層	75.0	0.0	14.3	61.9	16.7	7.1	0.0	1923.8	42
		自営業層	82.7	5.1	12.7	58.2	21.5	2.5	0.0	1724.8	79
		安定的労働者層	85.7	5.1	21.2	66.7	7.1	0.0	0.0	1257.1	99
		不安定労働者層	84.6	3.4	18.1	67.2	9.5	1.7	0.0	1416.0	116
		計	82.4	3.8	17.5	64.7	11.8	2.2	0.0	1493.5	365
	中2	安定的経営・管理層	85.7	0.0	0.0	60.0	35.4	4.6	0.0	2516.9	65
		不安定経営・管理層	87.7	0.0	0.0	53.7	31.5	7.4	7.4	3174.1	54
		自営業層	85.5	0.7	0.7	35.9	46.9	12.4	3.4	3269.5	145
		安定的労働者層	87.6	0.6	0.6	62.3	29.6	4.9	1.9	2543.2	162
		不安定労働者層	87.3	1.3	0.0	44.2	40.3	13.0	1.3	2993.5	154
		計	86.8	0.7	0.3	49.8	37.6	9.1	2.4	2900.1	580
女	小3	安定的経営・管理層	44.1	20.0	40.0	33.3	6.7	0.0	0.0	866.7	15
		不安定経営・管理層	53.7	9.1	18.2	68.2	4.5	0.0	0.0	1247.7	22
		自営業層	62.2	19.1	31.9	38.3	10.6	0.0	0.0	1055.3	47
		安定的労働者層	57.4	21.1	31.6	42.1	5.3	0.0	0.0	929.8	57
		不安定労働者層	50.0	23.2	23.2	42.9	8.9	1.8	0.0	1072.3	56
		計	54.6	19.8	28.4	43.7	7.6	0.5	0.0	1031.0	197
	小5	安定的経営・管理層	75.7	0.0	46.4	46.4	7.1	0.0	0.0	1075.0	28
		不安定経営・管理層	86.7	0.0	26.9	53.8	19.2	0.0	0.0	1534.6	26
		自営業層	75.2	2.6	17.9	69.2	10.3	0.0	0.0	1351.3	78
		安定的労働者層	74.6	4.7	34.9	55.8	2.3	2.3	0.0	1051.7	86
		不安定労働者層	76.9	3.4	20.7	64.4	10.3	1.1	0.0	1406.3	87
		計	76.4	3.0	26.9	60.7	8.5	1.0	0.0	1272.8	305
	中2	安定的経営・管理層	74.6	0.0	0.0	58.5	37.7	3.8	0.0	2494.3	53
		不安定経営・管理層	81.7	0.0	0.0	37.5	52.1	6.3	4.2	3400.0	48
		自営業層	82.6	0.7	0.0	40.8	46.5	11.3	0.7	2947.9	142
		安定的労働者層	84.6	0.0	0.7	53.8	39.2	5.6	0.7	2632.6	143
		不安定労働者層	80.0	0.7	0.0	50.7	36.4	10.7	1.4	2865.7	140
		計	81.5	0.4	0.2	48.5	41.4	8.4	1.1	2835.9	526

これを階層別に見ると、小遣いをもらっている者の割合には、一貫した大きな階層差は存在しない。しかし、平均小遣い額にはいくつかの点で階層的な違いが見いだせる。つまり、男女とも学年を問わず、不安定経営・管理層か自営業層のいずれかがもっとも多額の小遣いをもらっている。逆に、安定的経営・管理層か安定的労働者層のどちらかがもっとも少額の小遣いしかもらっておらず、この2つの階層は必ず小遣い額の少ない方から1、2位のいずれかの位置を占めている。そして、不安定労働者層がこれらの中間の位置にあたっている。したがって、小遣いの平均額は、各階層の平均世帯年収とは相即しておらず、むしろ階層移動パターン（第１章参照）から見て類似した性格をもった、①不安定経営・管理層と自営業層、②安定的経営・管理層と安定的労働者層、③不安定労働者層という各グループの共通性に対応した形を取っている。いいかえれば、これは、子どもの小遣い額が各階層の経済水準ではなく、階層移動パターンの点で類似した階層グループ間の子育て戦略の違いを示していると見なすことが可能である。しかも、表37からわかるように、小３女子の安定的経営・管理層に「本」の購入に小遣いを使う者（46.2%）が他の階層（10～20%）と比べ格段に高いという階層的な特徴が存在する。それは、彼女たちの独特の消費性向を示すと同時に、その背後に親の教育戦略の独自性を浮き彫りにするものである。ただし、この点を除けば、多きな階層差は見られない。

しかも、男女差も、「玩具・ゲーム」にお金を使う男子（小３・66.8%、小５・70.5%、中２・40.0%）が女子（小３・18.3%、小５・12.3%、中２・3.8%）と比べ圧倒的に多い点を除けば、基本的に存在しない。むしろ、男女とも、どの学年でも、「食べ物」、「漫画・雑誌」にお金を使う者が多く、中学生になると、男女とも「ＣＤ・テープ」が多くなるという共通点の方が目につく。

こうして、小遣いに関しては、小遣いの額と安定的経営・管理層（小３女子）の小遣いの使い道に関して、親の戦略によると思われる独特の階層差が見られた。しかし、それ以外には、大きな階層差は見られず男女差もあまり見られなかった。むしろ、学年の違いの方が、小遣いの額や使い道に大きな影響を与えていた。

小遣いと同様、家での手伝いの場合にも、大きな階層差は見いだせない（表38）。むしろ、学年や男女による違いや学年・男女をこえた共通性の方が目につく。たとえば、手伝いをする者は、男子より女子の方が多く、男女とも学年が上がるに従って低下している。その水準は、小３で72.6%（男）、85.8%（女）、小５で70.4%、81.0%、中２で56.8%、71.3%となっており、意外に手伝いをしている者の割合は高い。手伝いの内容では、男女ともいずれの学年においても「食事の支度」（男・40%前後、女・60%前後）、「食事の片づけ」（男・30～40%台、女・50～60%）、「掃除」（男・30%台、女・30～40%台）が主となる。このうち、「食事の支度」、「食事の片づけ」は、ほぼ各学年とも10～20%前後女子の方が多いが、「掃除」をする者の割合はほぼ同じある。また、これらに次いで目につくのが「買い物」と「洗濯」で、前者の場合、男女とも各学年で20～30%の者がやっており、後者の場合、男子より女子に多く、とくに中２の段階で女子が急増し33.5%になっている。つまり、男女差が見られるのは食事や洗濯の分野で、掃除や買い物の分野では男女差は見られない。

こうして、家での手伝いの場合、階層差は見られず、男女差や学年による違いの方が特徴的である。

(2)家庭内のコミュニケーション

家庭内のコミュニケーションは、小遣いや家での手伝い以上に、子どもたちの家庭生活の内実を明確に示すものである。そこで、家庭内で「勉強を見てくれる人」、「一緒に遊ぶ人」、「朝食を一緒に食べる人」、「夕食を一緒に食べる人」、「テストの結果を見せる人」、「学校の話を聞く人」、「将来の話をする人」について、それぞれ該当する者を「父」、「母」、「兄弟」、「姉妹」、「祖父」、「祖母」、「その他」、「なし」の中から選んでもらった。

その結果、表39から「勉強を見てくれる人」を見ると、小３では男女ともほぼ9割が母で、父は4割である。ほとんどの者が母に勉強を見てもらい、父がそれを補う形が基本になっている。しかし、学年が上がるに従って、男女とも父母の割合が低下し、とくに中２では母が2～3割台、父がほぼ2割台にまで低下す

表37　小遣いの使い道　　単位：%

			食べ物	漫画雑誌	本	学用品参考書	玩具ゲーム	CDテープ	収集物	ゲームやる,映画	貯金	その他	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	50.0	38.9	11.1	5.6	55.6	11.1	16.7	5.6	33.3	5.6	18	233.3
		不安定経営・管理層	45.0	45.0	15.0	10.0	75.0	5.0	5.0	15.0	40.0	0.0	20	255.0
		自営業層	51.2	39.5	16.3	0.0	76.7	4.7	7.0	14.0	25.6	0.0	43	234.9
		安定的労働者層	57.1	42.9	20.6	1.6	66.7	0.0	9.5	9.5	30.2	1.6	63	239.7
		不安定労働者層	62.7	40.3	6.0	3.0	61.2	4.5	11.9	9.0	22.4	1.5	67	222.4
		計	55.9	41.2	13.7	2.8	66.8	3.8	10.0	10.4	28.0	1.4	211	234.1
	小5	安定的経営・管理層	69.0	58.6	17.2	3.4	55.2	10.3	3.4	10.3	34.5	3.4	29	265.5
		不安定経営・管理層	53.7	61.0	22.0	9.8	78.0	14.6	12.2	19.5	26.8	2.4	41	300.0
		自営業層	42.1	56.6	13.2	5.3	69.7	9.2	3.9	13.2	30.3	1.3	76	244.7
		安定的労働者層	49.0	53.0	19.0	5.0	67.0	6.0	8.0	8.0	21.0	2.0	100	238.0
		不安定労働者層	50.4	51.3	19.5	6.2	75.2	8.0	14.2	16.8	23.0	2.7	113	267.3
		計	50.1	54.6	18.1	5.8	70.5	8.6	9.2	13.4	25.3	2.2	359	257.9
	中2	安定的経営・管理層	48.4	75.0	35.9	14.1	43.8	43.8	6.3	28.1	23.4	12.5	64	331.3
		不安定経営・管理層	64.3	78.6	53.6	14.3	44.6	50.0	5.4	35.7	19.6	10.7	56	376.8
		自営業層	56.5	65.9	38.4	14.5	41.3	51.4	5.1	38.4	12.3	13.0	138	337.0
		安定的労働者層	51.0	65.8	37.4	10.3	32.9	39.4	7.1	29.0	20.0	9.0	155	301.9
		不安定労働者層	55.0	70.5	41.6	16.8	43.0	47.0	10.7	34.2	18.1	11.4	149	348.3
		計	54.4	69.4	40.2	13.9	40.0	45.9	7.3	33.3	18.0	11.2	562	333.6
女	小3	安定的経営・管理層	38.5	53.8	46.2	15.4	23.1	15.4	7.7	15.4	15.4	0.0	13	230.8
		不安定経営・管理層	59.1	50.0	18.2	13.6	9.1	13.6	9.1	0.0	27.3	0.0	22	200.0
		自営業層	63.3	36.7	20.4	18.4	22.4	4.1	14.3	4.1	30.6	0.0	49	214.3
		安定的労働者層	69.6	44.6	12.5	14.3	17.9	3.6	17.9	3.6	30.4	1.8	56	216.1
		不安定労働者層	50.9	36.8	22.8	10.5	17.5	0.0	21.1	3.5	38.6	7.0	57	208.8
		計	59.4	41.6	20.3	14.2	18.3	4.6	16.2	4.1	31.5	2.5	197	212.7
	小5	安定的経営・管理層	46.4	67.9	25.0	14.3	17.9	14.3	25.0	17.9	46.4	10.7	28	285.7
		不安定経営・管理層	68.0	64.0	32.0	20.0	16.0	32.0	0.0	20.0	44.0	4.0	25	300.0
		自営業層	51.3	65.8	28.9	18.4	9.2	18.4	32.9	10.5	28.9	5.3	76	269.7
		安定的労働者層	50.0	77.9	18.6	27.9	15.1	17.4	24.4	3.5	26.7	3.5	86	265.1
		不安定労働者層	57.0	54.8	22.6	28.0	9.7	16.1	19.4	3.2	36.6	3.2	93	250.5
		計	53.6	65.9	24.0	23.7	12.3	18.2	23.1	7.8	33.4	4.5	308	266.6
	中2	安定的経営・管理層	49.0	86.3	35.3	31.4	7.8	62.7	17.6	31.4	31.4	13.7	51	366.7
		不安定経営・管理層	54.2	83.3	41.7	27.1	6.3	64.6	16.7	20.8	16.7	18.8	48	350.0
		自営業層	41.6	86.9	29.9	30.7	2.2	54.0	9.5	16.1	13.1	21.2	137	305.1
		安定的労働者層	45.8	83.3	34.7	30.6	6.9	65.3	13.9	22.9	18.8	20.1	144	342.4
		不安定労働者層	48.3	85.3	32.9	22.4	0.0	53.1	17.5	18.9	11.9	18.2	143	308.4
		計	46.5	85.1	33.7	28.1	3.8	58.7	14.3	20.7	16.4	19.1	523	326.4

表38　家での手伝いの有無と内容　　単位：%

			手伝いする者	農作業	食事の支度	食事の片づけ	掃除	洗濯	買い物	弟の世話	その他	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	84.4	7.4	44.4	51.9	40.7	3.7	25.9	18.5	25.9	27	218.5
		不安定経営・管理層	63.2	4.2	29.2	58.3	33.3	4.2	4.2	12.5	25.0	24	170.8
		自営業層	75.6	4.5	34.8	39.4	30.3	3.0	31.8	22.7	15.2	66	181.8
		安定的労働者層	64.4	2.6	44.7	52.6	39.5	7.9	28.9	22.4	13.2	76	211.8
		不安定労働者層	78.9	3.5	33.7	50.0	34.9	5.8	27.9	26.7	11.6	86	194.2
		計	72.6	3.9	37.6	49.1	35.5	5.4	26.9	22.6	15.4	279	196.4
	小5	安定的経営・管理層	59.0	0.0	43.5	43.5	39.1	0.0	43.5	8.7	8.7	23	187.0
		不安定経営・管理層	67.9	7.7	30.8	38.5	23.1	12.8	38.5	33.3	10.3	39	194.9
		自営業層	75.5	4.1	32.4	41.9	32.4	8.1	37.8	21.6	20.3	74	198.6
		安定的労働者層	75.6	7.8	46.7	42.2	32.2	4.4	24.4	18.9	18.9	90	195.6
		不安定労働者層	66.7	5.4	46.2	32.3	26.9	6.5	35.5	33.3	14.0	93	200.0
		計	70.4	5.6	41.1	38.9	30.1	6.6	33.9	24.8	16.0	319	196.9
	中2	安定的経営・管理層	48.1	13.5	37.8	40.5	45.9	21.6	24.3	8.1	18.9	37	210.8
		不安定経営・管理層	63.1	7.3	43.9	53.7	39.0	12.2	26.8	9.8	7.3	41	200.0
		自営業層	58.0	8.9	26.7	47.5	35.6	12.9	26.7	9.9	15.8	101	184.2
		安定的労働者層	51.4	5.2	39.6	46.9	38.5	13.5	28.1	10.4	11.5	96	193.8
		不安定労働者層	62.8	8.8	38.1	49.6	38.1	21.2	31.0	8.8	8.8	113	204.4
		計	56.8	8.2	36.1	47.9	38.4	16.2	28.1	9.5	12.1	388	196.6
女	小3	安定的経営・管理層	85.3	0.0	58.6	65.5	27.6	13.8	27.6	20.7	6.9	29	220.7
		不安定経営・管理層	85.4	0.0	74.3	62.9	28.6	8.6	54.3	22.9	2.9	35	254.3
		自営業層	86.6	7.0	60.6	52.1	35.2	18.3	43.7	33.8	5.6	71	256.3
		安定的労働者層	86.1	4.6	59.8	46.0	41.4	17.2	32.2	25.3	6.9	87	233.3
		不安定労働者層	85.1	4.1	53.6	57.7	32.0	13.4	20.6	27.8	9.3	97	218.6
		計	85.8	4.1	59.6	54.5	34.5	15.0	33.2	27.3	6.9	319	235.1
	小5	安定的経営・管理層	89.2	3.0	66.7	51.5	45.5	21.2	30.3	18.2	12.1	33	248.5
		不安定経営・管理層	86.7	0.0	69.2	53.8	42.3	42.3	46.2	30.8	3.8	26	288.5
		自営業層	80.2	3.5	67.1	57.6	23.5	22.4	45.9	22.4	7.1	85	249.4
		安定的労働者層	77.8	4.4	60.4	54.9	27.5	20.9	29.7	24.2	12.1	91	234.1
		不安定労働者層	81.0	5.1	65.3	62.2	38.8	21.4	30.6	25.5	13.3	98	262.2
		計	81.0	3.9	64.9	57.4	32.7	23.1	35.4	24.0	10.5	333	252.0
	中2	安定的経営・管理層	74.6	3.8	62.3	58.5	34.0	26.4	30.2	17.0	9.4	53	241.5
		不安定経営・管理層	70.5	0.0	60.5	60.5	48.8	25.6	30.2	11.6	11.6	43	248.8
		自営業層	73.7	3.1	55.8	62.0	44.2	38.8	24.8	16.3	13.2	129	258.1
		安定的労働者層	69.4	4.2	59.7	61.3	38.7	32.8	27.7	14.3	11.8	119	250.4
		不安定労働者層	69.8	4.0	58.9	62.9	41.9	34.7	25.8	15.3	11.3	124	254.8
		計	71.3	3.4	58.8	61.5	41.5	33.5	26.9	15.2	11.8	468	252.6

表39　勉強を見てくれる人　　単位：%

			父	母	兄弟	姉妹	祖父	祖母	その他	なし	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	46.9	96.9	18.8	9.4	6.3	3.1	0.0	0.0	32	181.3
		不安定経営・管理層	28.9	89.5	15.8	15.8	0.0	2.6	2.6	7.9	38	163.2
		自営業層	41.4	90.8	9.2	16.1	2.3	4.6	0.0	2.3	87	166.7
		安定的労働者層	46.2	93.2	11.1	13.7	2.6	12.8	0.0	1.7	117	181.2
		不安定労働者層	37.6	92.7	15.6	9.2	6.4	11.9	0.9	0.9	109	175.2
		計	41.0	92.4	13.1	12.8	3.7	8.9	0.5	2.1	383	174.4
	小5	安定的経営・管理層	36.8	81.6	5.3	7.9	2.6	5.3	0.0	10.5	38	150.0
		不安定経営・管理層	33.9	73.2	12.5	12.5	1.8	1.8	0.0	16.1	56	151.8
		自営業層	32.7	66.3	8.2	10.2	4.1	2.0	1.0	23.5	98	148.0
		安定的労働者層	51.3	75.6	12.6	9.2	0.0	5.9	0.0	10.9	119	165.5
		不安定労働者層	29.3	75.7	10.7	11.4	2.1	3.6	0.0	15.7	140	148.6
		計	37.0	73.8	10.4	10.4	2.0	3.8	0.2	15.7	451	153.4
	中2	安定的経営・管理層	33.8	31.2	10.4	14.3	0.0	0.0	1.3	41.6	77	132.5
		不安定経営・管理層	13.8	21.5	9.2	18.5	1.5	0.0	0.0	52.3	65	116.9
		自営業層	18.7	23.4	12.9	7.0	1.2	0.6	1.2	51.5	171	116.4
		安定的労働者層	16.9	19.7	8.2	9.8	1.1	0.0	1.1	54.6	183	111.5
		不安定労働者層	19.6	33.0	10.6	11.7	0.0	1.1	0.6	48.0	179	124.6
		計	19.7	25.6	10.4	11.0	0.7	0.4	0.9	50.4	675	119.1
女	小3	安定的経営・管理層	52.9	94.1	20.6	17.6	5.9	11.8	0.0	2.9	34	205.9
		不安定経営・管理層	32.5	85.0	7.5	17.5	2.5	10.0	2.5	5.0	40	162.5
		自営業層	37.8	90.2	7.3	18.3	2.4	11.0	0.0	3.7	82	170.7
		安定的労働者層	52.5	92.1	9.9	18.8	0.0	15.8	0.0	2.0	101	191.1
		不安定労働者層	36.8	86.0	9.6	13.2	5.3	8.8	0.0	5.3	114	164.9
		計	42.3	89.2	10.0	16.7	3.0	11.6	0.3	3.8	371	176.8
	小5	安定的経営・管理層	62.2	78.4	5.4	13.5	0.0	5.4	2.7	0.0	37	167.6
		不安定経営・管理層	35.7	75.0	25.0	17.9	3.6	3.6	0.0	10.7	28	171.4
		自営業層	46.2	68.9	11.3	21.7	1.9	3.8	2.8	16.0	106	172.6
		安定的労働者層	53.0	82.1	11.1	15.4	1.7	5.1	0.0	6.8	117	175.2
		不安定労働者層	36.7	80.8	11.7	20.0	5.8	5.8	0.0	7.5	120	168.3
		計	46.1	77.5	11.8	18.4	2.9	4.9	1.0	9.1	408	171.6
	中2	安定的経営・管理層	40.8	42.3	15.5	15.5	0.0	0.0	0.0	31.0	71	145.1
		不安定経営・管理層	29.5	34.4	24.6	14.8	0.0	0.0	0.0	29.5	61	132.8
		自営業層	22.5	31.8	16.2	20.8	0.6	0.0	0.0	40.5	173	132.4
		安定的労働者層	29.9	40.8	16.7	13.8	0.6	0.6	1.7	29.9	174	133.9
		不安定労働者層	22.2	35.8	11.4	19.3	0.6	0.6	0.0	38.6	176	128.4
		計	27.0	36.6	15.7	17.4	0.5	0.3	0.5	35.1	655	133.1

る。しかも、父母の割合の低下は、それ以外の家族の重要性の高まりを意味せず、むしろ「勉強を見てくれる人」がいない者の増加をもたらしている。ちなみに、中２の男子で50.4%、女子で35.1%の者が「勉強を見てくれる人」がいないと答えている。男子の場合、「勉強を見てくれる人」がいない者の割合が、母を抜いてもっとも多くなっている。

階層別に見ると、安定的経営・管理層の場合、男女ともいずれの学年でも、父母のいずれか、あるいは両方が各階層の中でもっとも高い割合を示している。とくに、中２の男女で、「勉強を見てくれる」父が他の階層と比べ際だって高い。中２男子では、他階層がすべて10%台であるのに対し、安定的経営・管理層は33.8%、女子では、他階層が20%台であるのに対し、40.8%に達している。これは、安定的経営・管理層の父母の学歴が他階層と比べ相対的に高かったことが、1つの背景になっていると考えられる。

しかし、不安定経営・管理層の場合、安定的経営・管理層に次いで父母の学歴が高かったにもかかわらず、男女、学年を問わず、「勉強を見てくれる」父母は必ずしも多くない。むしろ、この階層には「勉強を見てくれる」父母が全体的に少なく、小５・男の父と中２・女の父以外は、父母ともに各階層の中で下位1、２位の水準にとどまっている。したがって、ともに学歴の高い安定的経営・管理層と不安定経営・管理層の間に見られる差は、父母の学歴だけでなく、子育てに関する戦略の違いにも規定されていると考えられる。それは、安定的労働者層からの移動者が多い安定的経営・管理層と自営業層からの移動者の多い不安的経営・管理層の戦略の違いを示すものなのかもしれない。

これに対し、「一緒に遊ぶ人」を見ると、「勉強を見てくれる人」ほど明確な階層間の違いは見られなくなる（表40）。たしかに、小学校段階の女子の場合、安定的経営・管理層の父母が各階層の中で、もっとも多く選ばれている。しかし、中学生になると、そうした傾向は見られなくなる。しかも、それ以外に目立った階層差はなくなる。

むしろ、「一緒に遊ぶ人」に関しては、階層の違いよりも学年や男女による違いの方が著しい。事実、男子の場合、小学校段階で兄弟（ほぼ60%台）、父（40～50%台）、母（30～40%台）が中心で、中学生になると、いずれもその割合が低下する。とくに父母の低下は著しく、父が11.8%、母が5.3%に激減している。それにともなって、中２になると「一緒に遊ぶ」相手「なし」が急増する。「遊ぶ」相手「なし」は、小学校段階で1割にも満たなかったものが、中２では41.2%にまで増加している。一方、女子の場合、男子と共通の傾向を示すと同時に、「姉妹」をあげる者が多くなっている点で独自の特徴を示している。「姉妹」をあげる者の割合は30～40%台で、小５、中２で各家族成員の中でもっとも高い割合になっている。男子で「姉妹」をあげる者が10～20%台であるのと、対照的である。したがって、男子は「兄弟」とはよく遊んでいるが、「姉妹」とは遊んでいないのに対し、女子は「姉妹」だけでなく「兄弟」ともよく遊んでいると答える者が多くなっているのである。この結果から見ると、客観的には、異性のきょうだいが遊んでいても、その受けとめ方が、男女によって異なっていることも予想できる。

「朝食を一緒に食べる人」と「夕食を一緒に食べる人」の場合、表41、表42のように、「一緒に遊ぶ人」と同様、あまり大きな階層差は見られない。せいぜい、「朝食」に関して小３の男女で安定的経営・管理層の父母の割合が、各階層の中でもっとも高く（ほぼ70～80%台）、「夕食」で同階層の母が同じ傾向を示す点が目につくだけである。それ以外は、「一緒に遊ぶ人」と同様、男女と学年による違いが特徴的である。男子の場合、「朝食」、「夕食」とも、一貫して母、父、兄弟が中心である。ただし、中学生になるといずれの割合も低下している。小学生段階で母は「朝食」で70%台、「夕食」で90%台、父がそれぞれ50%台、60%台、「兄弟」が60%前後、60%台で、中２では母が57.6%（朝食）、83.2%（夕食）、父が43.9%、59.2%、兄弟が45.5%、55.6%である。女子の場合、これに「姉妹」が加わる形になっている。したがって、男女とも学年の上昇に従って少人数で食事をとることが多くなること、その傾向は夕食に比べ朝食により強く見られることが明らかになる。

だが、「テストを見せる人」になると、これまで見てきた「勉強」、「遊び」、「食事」とは異なり、学年の上昇に伴う変化が見られない点にもっとも大きな特徴がある（表43）。男女とも、いずれの学年においても母親がほぼ9割台、父親がほぼ5割台になっている。この点で、他の項目と著しく異なっている。

表40　一緒に遊ぶ人　　単位：%

			父	母	兄弟姉妹	祖父	祖母	その他	なし	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	62.5	43.8	71.9	25.0	3.1	6.3	0.0	0.0	32	212.5
		不安定経営・管理層	44.7	23.7	57.9	18.4	5.3	5.3	5.3	2.6	38	163.2
		自営業層	54.7	44.2	66.3	19.8	5.8	4.7	0.0	2.3	86	197.7
		安定的労働者層	55.2	44.8	62.1	30.2	5.2	11.2	0.9	1.7	116	211.2
		不安定労働者層	49.5	46.7	65.7	25.7	3.8	10.5	3.8	2.9	105	208.6
		計	53.1	43.0	64.5	24.9	4.8	8.5	1.9	2.1	377	202.7
	小5	安定的経営・管理層	37.8	21.6	67.6	10.8	2.7	5.4	5.4	2.7	37	154.1
		不安定経営・管理層	44.4	31.5	53.7	31.5	5.6	7.4	1.9	9.3	54	185.2
		自営業層	38.0	25.0	55.4	20.7	1.1	1.1	2.2	13.0	92	156.5
		安定的労働者層	42.6	30.4	59.1	21.7	0.0	3.5	5.2	10.4	115	173.0
		不安定労働者層	46.3	34.6	61.0	20.6	7.4	5.1	4.4	6.6	136	186.0
		計	42.6	30.0	59.0	21.4	3.5	4.1	3.9	9.0	434	173.5
	中2	安定的経営・管理層	10.8	4.1	45.9	12.2	0.0	0.0	0.0	43.2	74	116.2
		不安定経営・管理層	17.2	4.7	34.4	18.8	1.6	3.1	1.6	42.2	64	123.4
		自営業層	12.5	5.4	43.5	7.1	1.2	0.6	1.8	47.0	168	119.0
		安定的労働者層	11.2	5.6	38.8	11.2	0.6	0.6	3.4	43.3	178	114.6
		不安定労働者層	9.9	5.8	51.5	14.6	1.2	1.2	2.3	32.2	171	118.7
		計	11.8	5.3	43.7	11.9	0.9	0.9	2.1	41.2	655	117.9
女	小3	安定的経営・管理層	52.9	55.9	47.1	50.0	2.9	8.8	0.0	2.9	34	220.6
		不安定経営・管理層	40.0	45.0	40.0	42.5	5.0	17.5	10.0	0.0	40	200.0
		自営業層	41.8	43.0	54.4	41.8	11.4	13.9	6.3	2.5	79	215.2
		安定的労働者層	48.5	45.5	50.5	41.4	5.1	12.1	6.1	2.0	99	211.1
		不安定労働者層	36.8	46.5	49.1	43.9	10.5	15.8	3.5	3.5	114	209.6
		計	42.9	46.2	49.5	43.2	7.9	13.9	5.2	2.5	366	211.2
	小5	安定的経営・管理層	47.2	50.0	36.1	52.8	2.8	5.6	0.0	5.6	36	200.0
		不安定経営・管理層	28.6	42.9	53.6	42.9	0.0	10.7	7.1	3.6	28	189.3
		自営業層	31.6	30.5	38.9	43.2	5.3	9.5	7.4	6.3	95	172.6
		安定的労働者層	30.4	35.7	40.2	48.2	2.7	8.0	1.8	10.7	112	177.7
		不安定労働者層	27.4	34.2	39.3	44.4	6.8	8.5	0.9	11.1	117	172.7
		計	31.2	35.8	40.2	45.9	4.4	8.5	3.1	8.8	388	177.8
	中2	安定的経営・管理層	14.3	10.0	32.9	32.9	0.0	0.0	4.3	28.6	70	122.9
		不安定経営・管理層	11.7	25.0	28.3	30.0	0.0	1.7	3.3	31.7	60	131.7
		自営業層	11.3	14.3	28.0	39.3	0.6	3.6	3.6	32.1	168	132.7
		安定的労働者層	11.8	18.2	39.4	35.9	0.6	2.9	2.4	26.5	170	137.6
		不安定労働者層	8.3	13.7	36.9	38.7	0.6	1.2	0.6	25.0	168	125.0
		計	11.0	15.7	34.0	36.6	0.5	2.2	2.5	28.3	636	130.8

表41　一緒に朝食を食べる人　　単位：%

			父	母	兄弟	姉妹	祖父	祖母	その他	なし	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	71.9	87.5	65.6	28.1	9.4	12.5	0.0	0.0	32	275.0
		不安定経営・管理層	47.4	63.2	44.7	23.7	2.6	0.0	2.6	7.9	38	192.1
		自営業層	51.7	72.4	63.2	27.6	9.2	10.3	0.0	5.7	87	240.2
		安定的労働者層	54.2	82.2	54.2	36.4	13.6	19.5	0.0	1.7	118	261.9
		不安定労働者層	48.1	75.9	61.1	37.0	13.0	18.5	0.9	0.9	108	255.6
		計	52.7	76.8	58.2	32.6	11.0	14.6	0.5	2.9	383	249.3
	小5	安定的経営・管理層	53.8	69.2	64.1	28.2	17.9	30.8	2.6	2.6	39	269.2
		不安定経営・管理層	63.6	81.8	58.2	34.5	16.4	21.8	0.0	3.6	55	280.0
		自営業層	43.8	66.7	60.4	35.4	9.4	11.5	0.0	5.2	96	232.3
		安定的労働者層	56.4	80.3	59.8	32.5	12.8	23.9	1.7	6.0	117	273.5
		不安定労働者層	55.3	73.8	64.5	29.8	10.6	17.0	0.0	4.3	141	255.3
		計	54.0	74.6	61.6	32.1	12.3	19.4	0.7	4.7	448	259.4
	中2	安定的経営・管理層	50.0	61.8	50.0	30.3	6.6	9.2	0.0	15.8	76	223.7
		不安定経営・管理層	47.7	58.5	40.0	29.2	7.7	10.8	0.0	27.7	65	221.5
		自営業層	39.0	50.0	52.3	18.0	10.5	12.8	0.6	23.3	172	206.4
		安定的労働者層	47.5	60.7	43.7	26.8	8.2	12.6	1.6	24.0	183	225.1
		不安定労働者層	40.9	59.7	40.9	23.3	7.4	13.1	1.1	21.6	176	208.0
		計	43.9	57.6	45.5	24.3	8.3	12.2	0.9	22.6	672	215.3
女	小3	安定的経営・管理層	67.6	88.2	50.0	44.1	5.9	14.7	0.0	0.0	34	270.6
		不安定経営・管理層	53.7	65.9	41.5	31.7	14.6	12.2	0.0	12.2	41	231.7
		自営業層	38.8	70.0	52.5	46.3	6.3	8.8	1.3	5.0	80	228.8
		安定的労働者層	60.0	73.0	51.0	40.0	9.0	12.0	2.0	4.0	100	251.0
		不安定労働者層	46.5	69.3	46.5	43.0	10.5	13.2	0.0	6.1	114	235.1
		計	51.2	71.8	48.8	41.7	9.2	11.9	0.8	5.4	369	240.9
	小5	安定的経営・管理層	62.2	89.2	43.2	48.6	2.7	10.8	0.0	2.7	37	259.5
		不安定経営・管理層	63.3	60.0	56.7	43.3	10.0	23.3	0.0	0.0	30	256.7
		自営業層	44.2	70.2	41.3	49.0	10.6	15.4	1.9	6.7	104	239.4
		安定的労働者層	53.4	75.9	47.4	46.6	11.2	19.0	0.0	5.2	116	258.6
		不安定労働者層	49.2	61.7	41.7	44.2	10.0	13.3	0.8	5.8	120	226.7
		計	51.4	70.3	44.5	46.4	9.8	16.0	0.7	5.2	407	244.2
	中2	安定的経営・管理層	36.6	57.7	33.8	18.3	7.0	12.7	1.4	23.9	71	191.5
		不安定経営・管理層	59.0	67.2	47.5	26.2	8.2	9.8	0.0	11.5	61	229.5
		自営業層	39.1	50.6	43.1	36.2	8.6	10.9	1.1	17.2	174	206.9
		安定的労働者層	43.6	63.4	42.4	33.7	6.4	15.7	1.2	14.0	172	220.3
		不安定労働者層	48.6	55.4	38.4	37.3	8.5	11.9	0.6	19.2	177	219.8
		計	44.4	57.6	41.1	33.0	7.8	12.5	0.9	17.1	655	214.4

表42　一緒に夕食を食べる人　　単位：%

			父	母	兄弟	姉妹	祖父	祖母	その他	なし	ﾃﾞｰﾀ数	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	50.0	100.0	68.8	31.3	21.9	21.9	0.0	0.0	32	293.8
		不安定経営・管理層	39.5	92.1	60.5	31.6	5.3	10.5	2.6	0.0	38	242.1
		自営業層	65.1	90.7	64.0	32.6	11.6	17.4	1.2	0.0	86	282.6
		安定的労働者層	74.1	98.3	58.6	37.9	19.8	25.9	0.0	0.9	116	315.5
		不安定労働者層	63.6	94.5	67.3	38.2	20.9	28.2	1.8	0.9	110	315.5
		計	63.6	95.0	63.4	35.6	17.0	22.8	1.0	0.5	382	299.0
	小5	安定的経営・管理層	51.3	92.3	66.7	30.8	30.8	41.0	2.6	0.0	39	315.4
		不安定経営・管理層	60.7	94.6	66.1	37.5	17.9	30.4	0.0	0.0	56	307.1
		自営業層	68.0	86.6	61.9	39.2	17.5	26.8	2.1	1.0	97	303.1
		安定的労働者層	71.2	95.8	66.9	36.4	18.6	34.7	1.7	1.7	118	327.1
		不安定労働者層	58.2	90.8	69.5	31.2	16.3	27.7	1.4	2.1	141	297.2
		計	63.4	91.8	66.5	35.0	18.6	30.8	1.6	1.3	451	309.1
	中2	安定的経営・管理層	55.8	88.3	59.7	41.6	11.7	16.9	0.0	7.8	77	281.8
		不安定経営・管理層	57.8	81.3	48.4	35.9	10.9	18.8	1.6	9.4	64	264.1
		自営業層	55.8	76.7	60.5	29.1	18.0	23.8	0.0	9.3	172	273.3
		安定的労働者層	64.8	88.5	53.8	39.0	14.3	20.9	0.5	6.6	182	288.5
		不安定労働者層	58.7	82.7	53.6	30.2	14.0	20.1	1.1	7.3	179	267.6
		計	59.2	83.2	55.6	34.1	14.5	20.8	0.6	7.9	674	276.0
女	小3	安定的経営・管理層	54.5	100.0	51.5	48.5	12.1	27.3	0.0	0.0	33	293.9
		不安定経営・管理層	56.1	95.1	51.2	39.0	17.1	19.5	0.0	0.0	41	278.0
		自営業層	67.5	92.5	60.0	48.8	13.8	22.5	0.0	0.0	80	305.0
		安定的労働者層	65.3	95.9	57.1	42.9	16.3	24.5	2.0	0.0	98	304.1
		不安定労働者層	64.3	93.8	50.0	47.3	23.2	27.7	0.9	0.0	112	307.1
		計	63.5	94.8	54.4	45.6	17.6	24.7	0.8	0.0	364	301.4
	小5	安定的経営・管理層	55.6	97.2	47.2	47.2	8.3	16.7	0.0	0.0	36	272.2
		不安定経営・管理層	43.3	83.3	60.0	46.7	13.3	26.7	0.0	3.3	30	276.7
		自営業層	71.8	90.3	48.5	48.5	15.5	27.2	2.9	1.9	103	306.8
		安定的労働者層	68.1	94.0	53.4	51.7	18.1	32.8	1.7	1.7	116	321.6
		不安定労働者層	60.7	88.0	44.4	48.7	15.4	19.7	1.7	1.7	117	280.3
		計	63.9	90.8	49.5	49.3	15.4	25.6	1.7	1.7	402	298.0
	中2	安定的経営・管理層	46.5	88.7	47.9	32.4	7.0	18.3	1.4	5.6	71	247.9
		不安定経営・管理層	63.3	93.3	55.0	30.0	11.7	13.3	3.3	1.7	60	271.7
		自営業層	63.4	84.3	54.1	47.1	12.8	20.9	2.3	4.1	172	289.0
		安定的労働者層	64.2	90.2	52.6	43.4	15.6	26.0	0.0	2.9	173	294.8
		不安定労働者層	60.0	88.0	48.0	48.0	16.0	20.6	1.1	5.1	175	286.9
		計	60.8	88.2	51.5	43.2	13.7	21.2	1.4	4.0	651	283.9

表43　テストを見せる人　　単位：%

			父	母	兄弟	姉妹	祖父	祖母	その他	なし	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	65.6	100.0	18.8	9.4	12.5	6.3	0.0	0.0	32	212.5
		不安定経営・管理層	43.2	97.3	13.5	2.7	8.1	5.4	0.0	0.0	37	170.3
		自営業層	52.3	97.7	7.0	4.7	4.7	4.7	0.0	1.2	86	172.1
		安定的労働者層	60.5	97.4	11.4	4.4	6.1	14.9	0.0	2.6	114	197.4
		不安定労働者層	50.0	94.5	16.4	6.4	9.1	19.1	0.0	2.7	110	198.2
		計	54.4	96.8	12.7	5.3	7.4	12.1	0.0	1.8	379	190.5
	小5	安定的経営・管理層	47.4	92.1	5.3	2.6	7.9	13.2	0.0	5.3	38	173.7
		不安定経営・管理層	40.0	92.7	12.7	1.8	7.3	9.1	0.0	7.3	55	170.9
		自営業層	45.8	95.8	10.4	3.1	4.2	12.5	0.0	2.1	96	174.0
		安定的労働者層	55.5	90.8	5.0	5.9	3.4	12.6	0.0	7.6	119	180.7
		不安定労働者層	39.0	92.9	7.8	8.5	7.1	12.8	0.7	5.7	141	174.5
		計	45.7	92.9	8.0	5.3	5.6	12.2	0.2	5.6	449	175.5
	中2	安定的経営・管理層	64.9	94.8	11.7	9.1	3.9	2.6	0.0	2.6	77	189.6
		不安定経営・管理層	58.5	92.3	12.3	9.2	6.2	10.8	0.0	6.2	65	195.4
		自営業層	50.9	80.3	8.1	5.2	3.5	6.4	0.6	11.6	173	166.5
		安定的労働者層	57.9	89.1	8.2	4.9	3.8	2.7	0.0	7.7	183	174.3
		不安定労働者層	55.1	84.3	12.4	5.1	3.4	7.3	0.0	11.2	178	178.7
		計	56.2	86.5	10.1	5.9	3.8	5.6	0.1	8.9	676	177.2
女	小3	安定的経営・管理層	58.8	94.1	5.9	5.9	2.9	14.7	0.0	5.9	34	188.2
		不安定経営・管理層	42.5	100.0	0.0	5.0	7.5	15.0	2.5	0.0	40	172.5
		自営業層	55.7	97.5	10.1	6.3	1.3	7.6	0.0	0.0	79	178.5
		安定的労働者層	61.2	96.9	10.2	11.2	4.1	14.3	0.0	1.0	98	199.0
		不安定労働者層	50.9	93.8	4.5	8.0	9.8	16.1	0.0	0.0	112	183.0
		計	54.5	96.1	6.9	8.0	5.5	13.5	0.3	0.8	363	185.7
	小5	安定的経営・管理層	73.0	91.9	2.7	8.1	2.7	10.8	0.0	5.4	37	194.6
		不安定経営・管理層	53.3	93.3	13.3	3.3	0.0	6.7	0.0	6.7	30	176.7
		自営業層	53.3	94.3	5.7	12.4	4.8	6.7	1.0	4.8	105	182.9
		安定的労働者層	56.4	88.9	11.1	10.3	5.1	10.3	0.0	9.4	117	191.5
		不安定労働者層	45.8	94.2	3.3	8.3	5.0	10.0	0.0	2.5	120	169.2
		計	53.8	92.4	6.8	9.5	4.4	9.0	0.2	5.6	409	181.9
	中2	安定的経営・管理層	67.1	94.3	7.1	8.6	0.0	4.3	0.0	4.3	70	185.7
		不安定経営・管理層	52.5	93.4	6.6	6.6	1.6	1.6	0.0	6.6	61	168.9
		自営業層	49.7	90.2	6.9	13.9	4.0	6.4	0.0	8.1	173	179.2
		安定的労働者層	55.6	94.7	4.7	7.6	3.5	5.8	0.0	5.3	171	177.2
		不安定労働者層	48.3	89.9	10.1	9.0	1.7	3.4	0.0	5.1	178	167.4
		計	53.0	92.0	7.2	9.6	2.6	4.7	0.0	6.0	653	175.2

階層別に見ると、小５・中２の女子で安定的経営・管理層の父の割合が高く（小５女子・73.0%、中２女子・67.1%）、逆に不安定労働者層の父の割合が低い（45.8%、48.3%）点が目につく。

しかし、「学校の話をする人」の場合、「テスト」とは異なり、表44のように男女とも学年による変化が見られる。男女とも「学校の話をする」相手は母や父が多いが、母が90%台（小３男女）→80%台（小５男女）→60%台（中２男）・80%台（中２女）、父が50%台（小３男女）→40%台（小５男女）→20%台（中２男女）と、学年の上昇にともなって、その割合を低下させている。また、女子の場合、各学年とも4分の1前後の者が「姉妹」をあげている点も目につく。これらの点に一貫した階層差は存在しない。こうして、「テスト」も「学校の話」も学校に関連しているという点で共通しているにもかかわらず、両者の間には大きな違いが見いだせるのである。これは、父母の中で、「テスト」は同じ学校での出来事であるにもかかわらず、他の学校での出来事と異なる形で受け止められていることを物語っているといえる。

これと同様、「将来の話をする人」に関しても階層的な違いは見られず、男女とも学年による変化が目立つ（表45）。子どもたちが「将来の話をする」相手は、家族の中では父と母に限定されている。しかし、一般的に考えると、学年が上がるに従って将来を考える機会が増えるはずだが、それにもかかわらず、父母の割合はそれほど上がらず、むしろ小３と小５・中２の間で減少する傾向が見られる。父親の場合、小３で40%台だったものが小５・中２で30%前後、母親の場合、小３で70%前後であったものが、小５・中２で50%前後（男）ないし60%台（女）になっている。それにかわって、小３で20%台であった「なし」（＝「将来の話をする人」がいない）が、小５・中２で40%台（男）、30%前後（女）へと増加している。いいかえれば、「将来の話をする」必要性と現実の家庭内のコミュニケーションには少なからぬ齟齬があると考えられる。

以上のような個別の項目に関する分析をふまえると、子どもたちの家庭内コミュニケーションには次のような特徴があることが明らかになる。

①「一緒に遊ぶ人」、「食事を一緒に食べる人」として、「兄弟」（男女とも）、「姉妹」（女子のみ）が数多く選択され、「学校の話をする人」として「姉妹」が女子に比較的多く選択された以外は、すべての項目で学年、男女を問わず「父」、「母」が中心的に選ばれていた。しかも、いずれの項目でも、母の方が父よりも重要な位置を占めていた。したがって、子どもたちの家庭内のコミュニケーションは、父母とのコミュニケーション、とりわけ母とのコミュニケーションが基本になっていることが明らかになった。

②同時に、ほとんどの項目で、男女とも、学年の上昇にともなって父母とのコミュニケーションが希薄になっていた。しかも、それに代わる、コミュニケーションも家庭内では生まれていなかった。それゆえ、学年の上昇は家庭内のコミュニケーションの希薄化をもたらすことが浮き彫りになった。

③その中にあって、「テストを見せる人」に関してだけは、男女とも学年の変化と無関係に父母が重要な位置を占め続けていた。そこには、親子のコミュニケーションが希薄になっても、テストの結果だけは押さえておこうという父母の意識の強さが示されているといえる。逆にいえば、こうした意識の強さと他のコミュニケーションの希薄化のアンバランスが親子を中心にした家庭内コミュニケーションの質に少なからぬ問題を生み出す可能性が存在すると考える必要がある。

④これらの特徴は、ほぼいずれの階層にも共通していた。しかし、その中で、安定的経営・管理層に親子間のコミュニケーションが相対的に強く見られた。それは、勉強を見る（全学年男女）、一緒に遊ぶ（小学生女子）、食事を一緒にとる（小３男女）、テストを見る（小５・中２女子）といった点で安定的経営・管理層が積極的なコミュニケーションをとっている姿が垣間見られた。

⑤そのうち、とくに、勉強を見るという点で学年、男女問わず安定的経営・管理層の父母が積極的に関与していたことが目立っていた。それは、彼らの学歴水準に高さを背景にしていると同時に、彼らの子育て戦略の特徴にも由来していると思われる。なぜなら、彼らに次いで学歴水準の高かった不安定経営・管理層には、勉強を見てくれる父母は各階層の中でも少なかったからである。いいかえれば、勉強を介したコミュニケーションの強さに、安定的経営・管理層の階層的特質があるといえる。

表44　学校の話をする人　　単位：%

			父	母	兄弟	姉妹	祖父	祖母	その他	なし	N	M.T計
男	小3	安定的経営・管理層	43.8	100.0	18.8	6.3	3.1	9.4	0.0	0.0	32	181.3
		不安定経営・管理層	40.5	89.2	10.8	10.8	8.1	13.5	2.7	8.1	37	183.8
		自営業層	48.9	95.5	22.7	8.0	6.8	10.2	0.0	4.5	88	196.6
		安定的労働者層	60.2	92.4	22.9	15.3	7.6	19.5	0.0	4.2	118	222.0
		不安定労働者層	45.9	89.2	26.1	12.6	9.0	21.6	0.9	8.1	111	213.5
		計	50.3	92.5	22.3	11.7	7.5	16.6	0.5	5.4	386	206.7
	小5	安定的経営・管理層	23.1	92.3	15.4	10.3	5.1	10.3	0.0	5.1	39	161.5
		不安定経営・管理層	42.9	85.7	16.1	5.4	7.1	5.4	0.0	14.3	56	176.8
		自営業層	47.4	80.0	25.3	8.4	3.2	10.5	1.1	13.7	95	189.5
		安定的労働者層	43.2	80.5	15.3	9.3	3.4	13.6	0.0	16.9	118	182.2
		不安定労働者層	38.8	85.6	18.7	12.2	5.0	9.4	0.7	12.9	139	183.5
		計	40.9	83.7	18.6	9.6	4.5	10.3	0.4	13.6	447	181.7
	中2	安定的経営・管理層	18.4	59.2	11.8	11.8	1.3	1.3	0.0	36.8	76	140.8
		不安定経営・管理層	30.8	72.3	15.4	12.3	6.2	10.8	0.0	26.2	65	173.8
		自営業層	27.9	58.1	17.4	8.7	5.8	5.2	0.6	34.3	172	158.1
		安定的労働者層	29.9	60.9	11.4	8.2	2.2	2.2	0.0	36.4	184	151.1
		不安定労働者層	29.8	61.2	14.0	5.6	2.2	5.6	1.1	32.6	178	152.2
		計	28.1	61.2	14.1	8.4	3.4	4.6	0.4	33.9	675	154.2
女	小3	安定的経営・管理層	58.8	100.0	14.7	26.5	2.9	11.8	0.0	0.0	34	214.7
		不安定経営・管理層	46.3	97.6	9.8	17.1	9.8	24.4	0.0	2.4	41	207.3
		自営業層	48.1	94.9	21.5	25.3	10.1	17.7	1.3	3.8	79	222.8
		安定的労働者層	55.0	97.0	19.0	23.0	5.0	16.0	1.0	2.0	100	218.0
		不安定労働者層	53.6	91.1	19.6	29.5	5.4	16.1	0.0	2.7	112	217.9
		計	52.5	95.1	18.3	25.1	6.6	16.9	0.5	2.5	366	217.5
	小5	安定的経営・管理層	48.6	86.5	8.1	29.7	5.4	16.2	0.0	8.1	37	202.7
		不安定経営・管理層	31.0	82.8	24.1	24.1	10.3	20.7	0.0	10.3	29	203.4
		自営業層	42.9	89.5	13.3	27.6	4.8	11.4	1.0	6.7	105	197.1
		安定的労働者層	40.9	88.7	16.5	25.2	3.5	11.3	0.0	8.7	115	194.8
		不安定労働者層	40.0	89.2	13.3	26.7	3.3	10.0	0.8	5.8	120	189.2
		計	41.1	88.4	14.5	26.6	4.4	12.1	0.5	7.4	406	195.1
	中2	安定的経営・管理層	26.8	81.7	16.9	23.9	1.4	5.6	0.0	15.5	71	171.8
		不安定経営・管理層	25.0	91.7	15.0	18.3	0.0	3.3	3.3	6.7	60	163.3
		自営業層	26.3	80.0	14.9	30.9	3.4	5.7	0.0	13.1	175	174.3
		安定的労働者層	25.4	85.5	16.2	24.3	4.6	8.7	0.0	11.0	173	175.7
		不安定労働者層	24.6	84.4	13.4	26.3	1.7	6.1	0.6	9.5	179	166.5
		計	25.5	83.9	15.0	26.0	2.7	6.4	0.5	11.2	658	171.3

表45　将来の話をする人　　単位：%

			父	母	兄弟	姉妹	祖父	祖母	その他	なし	ﾃﾞｰﾀ数	M.T 計
男	小3	安定的経営・管理層	51.6	74.2	12.9	6.5	9.7	9.7	0.0	25.8	31	190.3
		不安定経営・管理層	52.6	65.8	13.2	2.6	2.6	2.6	0.0	26.3	38	165.8
		自営業層	48.2	74.1	8.2	5.9	8.2	7.1	0.0	18.8	85	170.6
		安定的労働者層	46.5	67.5	14.0	10.5	7.0	12.3	0.0	28.9	114	186.8
		不安定労働者層	51.4	64.9	18.9	6.3	9.9	17.1	0.0	27.0	111	195.5
		計	49.3	68.6	14.0	7.1	7.9	11.3	0.0	25.6	379	183.9
	小5	安定的経営・管理層	30.8	53.8	5.1	2.6	2.6	7.7	0.0	33.3	39	135.9
		不安定経営・管理層	33.9	51.8	8.9	3.6	5.4	7.1	0.0	41.1	56	151.8
		自営業層	36.7	53.1	13.3	7.1	4.1	6.1	2.0	40.8	98	163.3
		安定的労働者層	33.6	44.8	8.6	5.2	2.6	6.0	0.9	50.0	116	151.7
		不安定労働者層	35.0	53.6	12.1	7.1	5.0	7.1	0.0	42.1	140	162.1
		計	34.5	51.0	10.5	5.8	4.0	6.7	0.7	43.0	449	156.1
	中2	安定的経営・管理層	31.6	50.0	6.6	7.9	2.6	2.6	0.0	47.4	76	148.7
		不安定経営・管理層	41.5	55.4	7.7	9.2	6.2	7.7	0.0	36.9	65	164.6
		自営業層	32.6	46.5	10.5	4.7	1.7	2.3	0.6	47.1	172	145.9
		安定的労働者層	29.7	43.8	8.1	4.9	1.6	1.6	0.0	52.4	185	142.2
		不安定労働者層	37.2	51.1	10.0	3.3	2.8	6.7	1.7	41.1	180	153.9
		計	33.8	48.2	9.0	5.2	2.5	3.8	0.6	46.0	678	149.1
女	小3	安定的経営・管理層	52.9	79.4	20.6	17.6	2.9	11.8	0.0	23.5	34	208.8
		不安定経営・管理層	48.8	75.6	9.8	7.3	9.8	22.0	0.0	22.0	41	195.1
		自営業層	46.3	77.5	16.3	20.0	7.5	11.3	1.3	15.0	80	195.0
		安定的労働者層	37.4	75.8	11.1	21.2	5.1	12.1	2.0	19.2	99	183.8
		不安定労働者層	33.3	69.3	7.0	15.8	5.3	9.6	0.0	24.6	114	164.9
		計	40.8	74.5	11.7	17.4	6.0	12.2	0.8	20.7	368	184.0
	小5	安定的経営・管理層	32.4	59.5	8.1	10.8	0.0	5.4	0.0	37.8	37	154.1
		不安定経営・管理層	20.0	70.0	20.0	13.3	6.7	6.7	0.0	23.3	30	160.0
		自営業層	36.2	62.9	5.7	22.9	5.7	8.6	1.0	26.7	105	169.5
		安定的労働者層	32.7	67.3	9.7	19.5	3.5	13.3	0.0	30.1	113	176.1
		不安定労働者層	22.0	63.6	8.5	16.9	0.8	5.1	0.8	34.7	118	152.5
		計	29.5	64.5	8.9	18.4	3.2	8.4	0.5	30.8	403	164.3
	中2	安定的経営・管理層	30.0	67.1	8.6	10.0	1.4	2.9	0.0	28.6	70	148.6
		不安定経営・管理層	28.3	75.0	8.3	13.3	0.0	0.0	0.0	25.0	60	150.0
		自営業層	31.2	72.3	4.0	19.7	2.3	5.2	0.0	21.4	173	156.1
		安定的労働者層	30.1	65.3	9.2	13.3	1.7	5.8	1.7	31.8	173	159.0
		不安定労働者層	24.1	64.9	6.9	14.9	0.6	2.3	0.6	28.2	174	142.5
		計	28.6	68.2	7.1	15.1	1.4	3.8	0.6	27.1	650	151.8

(3)家庭での楽しみと悩み

しかし、以上のような家庭内コミュニケーションのあり方は、必ずしも直接的に家庭生活に対する子どもたちの評価を示すものではない。どのようなコミュニケーションの形であっても、家庭生活を肯定的に評価する者もいれば、そうでない者もいる。それを確かめるためには、少なくとも家庭生活に対する楽しみや悩みについて検討する必要がある。

そこで、表46から、家庭で誰といるとき楽しいと思うかについて尋ねた結果を見てみると、小学校段階では「家族全員でいる時」が男女問わず、60～70%台で圧倒的に高い割合になっている。しかし、中2になると、依然として重要な位置を占めている点に変わりはないが、その割合は大きく減少し、ほぼ40%に低下する。それにともなって、「一人でいる時」が急増し、男子で41.3%、女子で34.3%になる。しかも、男子は「家族全員でいる時」をわずかに上回り、「一人でいる時」がもっとも多くなる。こうした傾向に関しては、階層間に大きな違いは見られない。すでに見たように、家庭内のコミュニケーションが父母を中心にしたものに限定されているにもかかわらず、父母だけでなく、「家族全員でいる時」が楽しいと答えているのである。逆にいえば、「家族全員といる時」が楽しいと思っているにもかかわらず、現実には家庭内のコミュニケーションは父母に限定される傾向が存在しているということである。それゆえ、ここで見られた結果は、子どもたちの家族に対する考え方を示すと同時に、「期待」＝「理想」と「現実」の間にあるギャップを示すものでもあると考えられる。

しかし、だからといって、子どもたちの多くは家庭生活に対して悩みをもっているわけではない。表47からわかるように、家族について悩みがあると答えた者の割合は、学年、男女問わず、きわめて少ない。悩みを持つ者の割合がもっとも高い中2の女子であっても、21.8%にとどまり、それ以外はすべて1割台かそれ未満の水準にとどまっている。したがって、家庭生活の「理想」と「現実」のギャップがあっても、必ずしもそれが彼らの悩みをもたらすまでには至っていないということである。

ただし、悩みの内容を見ると、やや異なった様相が見られる。悩みの内容は、悩みを持つ者のうち、小3で男女とも、「家計のこと」（ほぼ40%）、「家族の健康」（男・36.2%、女・60.0%）、小5で男女とも「家族の健康」（男・60.0%、女・48.1%）、中2男女で「親子の関係」（30%台）、中2女子で「家族の健康」（36.0%）が主要なものになっている。ここでは、中2の段階で男女とも「親子の関係」が悩みの内容として急増している点が特徴的である。そこには、家族全員とのコミュニケーションを求めていながら、父母とのコミュニケーションに限定される現実の中で、中学生になると、父母との関係に悩みを感じるようになる姿が垣間見られる。それは、親子のコミュニケーションの質に何らかの問題が存在することを示唆しているといえる。

こうした中で、興味深いことは、安定的経営・管理層の中2の男女に、悩みを持つ者のうち、「親子の関係」をあげる者が、他の階層より著しく多いということである。男子では他の階層の子どもが20～30%台であるのに対し、安定的経営・管理層の子どもは、55.6%に達し、女子では、他階層がほぼ30%台であるのに対し、実に81.8%に達している。すでに見たように、安定的経営・管理層の場合、他の階層と比べ、全体的に親子のコミュニケーションは密であった。にもかかわらず、こうした結果が出ているのである。それは、たとえ、親子のコミュニケーションが密であっても、それだけでは十分でなく、親子のコミュニケーションの質も考慮しなければならないことを示唆しているといえる。この階層が他階層と比べ勉強を介したコミュニケーションが強かったことを考えると、こうしたコミュニケーションのあり方に親子の関係を悩みとする者が多くなる1つの原因があると予測できる。

それでは、こうした家族についての悩みを相談する相手は誰なのであろうか。表48は、現在悩みがあるなしにかかわらず、家族内の悩みが生じた場合を仮定した問いへの回答をまとめたものである。ここから、家族についての悩みを相談する相手は、少なくとも小3の段階では男女とも「母」が主であり、「父」がそれに次いでいることがわかる。ただし、学年が上がるに従って、「母」、「父」ともにその地位が低下している。「母」を相談相手とする者は、男女とも小3で80%台であったものが小5で60～70%台、中2で40%前後になり、「父」に関しては50%台（小3）→30～40%台（小5）→10～20%台（中2）と大き

表46　家庭で誰といる時楽しいと思うか　　単位：%

			家族全員といる時	父母と一緒にいる時	兄弟と一緒にいる時	一人でいる時	その他	N	M.T 計
男	小3	安定的経営・管理層	64.5	16.1	9.7	16.1	3.2	31	109.7
		不安定経営・管理層	67.6	13.5	10.8	21.6	0.0	37	113.5
		自営業層	70.6	22.4	8.2	8.2	3.5	85	112.9
		安定的労働者層	77.9	13.3	7.1	8.0	3.5	113	109.7
		不安定労働者層	76.0	17.3	11.5	10.6	3.8	104	119.2
		計	73.5	16.8	9.2	10.8	3.2	370	113.5
	小5	安定的経営・管理層	52.6	18.4	39.5	13.2	0.0	38	123.7
		不安定経営・管理層	66.7	13.0	24.1	7.4	0.0	54	111.1
		自営業層	65.2	13.0	21.7	10.9	3.3	92	114.1
		安定的労働者層	66.7	13.7	18.8	17.1	1.7	117	117.9
		不安定労働者層	68.4	10.5	15.8	15.0	1.5	133	111.3
		計	65.7	12.9	21.0	13.6	1.6	434	114.7
	中2	安定的経営・管理層	31.5	5.5	17.8	43.8	8.2	73	106.8
		不安定経営・管理層	41.5	6.2	20.0	41.5	4.6	65	113.8
		自営業層	35.9	7.8	13.2	43.7	4.8	167	105.4
		安定的労働者層	41.6	5.1	12.9	43.8	2.8	178	106.2
		不安定労働者層	45.7	2.9	15.6	35.3	5.2	173	104.6
		計	40.1	5.3	14.9	41.3	4.7	656	106.4
女	小3	安定的経営・管理層	75.0	18.8	18.8	3.1	0.0	32	115.6
		不安定経営・管理層	75.0	30.0	7.5	10.0	2.5	40	125.0
		自営業層	70.5	29.5	7.7	5.1	3.8	78	116.7
		安定的労働者層	80.0	17.0	8.0	2.0	4.0	100	111.0
		不安定労働者層	71.6	27.5	5.5	2.8	3.7	109	111.0
		計	74.4	24.5	8.1	3.9	3.3	359	114.2
	小5	安定的経営・管理層	73.0	18.9	18.9	10.8	2.7	37	124.3
		不安定経営・管理層	56.7	30.0	43.3	6.7	0.0	30	136.7
		自営業層	69.2	16.3	21.2	15.4	1.0	104	123.1
		安定的労働者層	62.3	15.8	21.9	17.5	0.9	114	118.4
		不安定労働者層	67.2	16.0	17.6	12.6	1.7	119	115.1
		計	66.1	17.3	21.8	14.1	1.2	404	120.5
	中2	安定的経営・管理層	50.7	4.2	16.9	35.2	1.4	71	108.5
		不安定経営・管理層	50.0	11.7	13.3	33.3	1.7	60	110.0
		自営業層	37.4	13.8	18.4	34.5	2.9	174	106.9
		安定的労働者層	41.5	12.3	18.7	32.2	1.8	171	106.4
		不安定労働者層	37.3	9.0	18.1	36.2	7.3	177	107.9
		計	41.0	10.9	17.8	34.3	3.5	653	107.5

表47　家族について悩んでいること　　単位：%

			悩みがある者	家計のこと	家族の健康	親子の関係	夫婦の関係	家族の将来	その他	N	M.T 計
男	小3	安定的経営・管理層	13.3	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	4	200.0
		不安定経営・管理層	5.3	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	150.0
		自営業層	21.2	22.2	38.9	5.6	16.7	11.1	33.3	18	127.8
		安定的労働者層	17.5	55.0	25.0	15.0	10.0	5.0	5.0	20	115.0
		不安定労働者層	12.6	35.7	42.9	21.4	21.4	14.3	14.3	14	150.0
		計	15.3	41.4	36.2	13.8	15.5	12.1	15.5	58	134.5
	小5	安定的経営・管理層	5.1	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2	150.0
		不安定経営・管理層	3.6	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	2	150.0
		自営業層	9.2	0.0	62.5	0.0	25.0	25.0	12.5	8	125.0
		安定的労働者層	6.0	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3	0.0	7	100.0
		不安定労働者層	8.2	18.2	63.6	9.1	9.1	9.1	18.2	11	127.3
		計	7.0	10.0	60.0	10.0	20.0	13.3	10.0	30	123.3
	中2	安定的経営・管理層	12.2	22.2	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0	9	122.2
		不安定経営・管理層	12.5	12.5	37.5	37.5	12.5	25.0	37.5	8	162.5
		自営業層	16.4	11.1	14.8	33.3	25.9	22.2	14.8	27	122.2
		安定的労働者層	13.0	33.3	25.0	29.2	20.8	41.7	8.3	24	158.3
		不安定労働者層	14.0	29.2	29.2	25.0	4.2	20.8	8.3	24	116.7
		計	14.0	22.8	22.8	32.6	17.4	26.1	12.0	92	133.7
女	小3	安定的経営・管理層	15.2	40.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5	120.0
		不安定経営・管理層	15.0	50.0	66.7	16.7	33.3	16.7	0.0	6	183.3
		自営業層	10.0	25.0	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5	8	125.0
		安定的労働者層	13.1	38.5	53.8	15.4	30.8	7.7	0.0	13	146.2
		不安定労働者層	11.6	46.2	61.5	15.4	15.4	23.1	7.7	13	169.2
		計	12.4	40.0	60.0	15.6	20.0	11.1	4.4	45	151.1
	小5	安定的経営・管理層	16.2	16.7	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7	6	150.0
		不安定経営・管理層	13.3	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	4	100.0
		自営業層	11.3	10.0	50.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10	130.0
		安定的労働者層	12.3	23.1	61.5	15.4	7.7	23.1	30.8	13	161.5
		不安定労働者層	18.2	9.5	47.6	9.5	14.3	19.0	23.8	21	123.8
		計	14.2	13.0	48.1	18.5	14.8	18.5	22.2	54	135.2
	中2	安定的経営・管理層	16.9	0.0	0.0	81.8	27.3	36.4	0.0	11	145.5
		不安定経営・管理層	23.3	14.3	57.1	14.3	35.7	28.6	0.0	14	150.0
		自営業層	29.5	21.6	41.2	33.3	11.8	17.6	11.8	51	137.3
		安定的労働者層	17.2	17.2	34.5	37.9	17.2	13.8	6.9	29	127.6
		不安定労働者層	20.2	32.4	32.4	38.2	23.5	26.5	5.9	34	158.8
		計	21.8	20.9	36.0	37.4	19.4	21.6	7.2	139	142.4

表48　家庭の悩みを相談する人（複数回答・主なもの）　　単位：%

			父	母	兄弟	祖父	祖母	同クラスの友	いない	N
男	小3	安定的経営・管理層	56.7	93.3	20.0	3.3	3.3	16.7	3.3	30
		不安定経営・管理層	61.1	80.6	16.7	11.1	16.7	5.6	8.3	36
		自営業層	53.1	85.2	18.5	8.6	11.1	11.1	4.9	81
		安定的労働者層	59.1	80.0	18.2	14.5	22.7	22.7	2.7	110
		不安定労働者層	57.5	85.8	20.8	8.5	21.7	11.3	2.8	106
		計	57.3	84.0	19.0	10.2	17.6	14.6	3.9	363
	小5	安定的経営・管理層	38.5	82.1	17.9	10.3	15.4	25.6	10.3	39
		不安定経営・管理層	32.7	67.3	10.9	5.5	12.7	20.0	5.5	55
		自営業層	44.7	69.1	19.1	9.6	16.0	21.3	11.7	94
		安定的労働者層	40.9	68.2	17.3	3.6	9.1	22.7	15.5	110
		不安定労働者層	46.6	77.9	18.3	7.6	13.7	24.4	5.3	131
		計	42.2	72.5	17.2	7.0	13.1	22.8	9.8	429
	中2	安定的経営・管理層	29.3	44.0	20.0	1.3	2.7	26.7	18.7	75
		不安定経営・管理層	26.2	38.5	15.4	9.2	12.3	29.2	23.1	65
		自営業層	27.9	38.2	17.6	5.5	7.3	26.7	18.8	165
		安定的労働者層	27.5	37.6	13.5	2.2	1.7	29.8	25.8	178
		不安定労働者層	21.9	36.7	16.6	5.3	5.9	29.0	29.0	169
		計	26.2	38.3	16.3	4.4	5.4	28.4	23.8	652
女	小3	安定的経営・管理層	64.7	91.2	41.2	2.9	14.7	35.3	0.0	34
		不安定経営・管理層	55.0	85.0	15.0	7.5	15.0	35.0	7.5	40
		自営業層	55.7	88.6	24.1	6.3	15.2	25.3	0.0	79
		安定的労働者層	51.6	82.1	23.2	6.3	16.8	29.5	3.2	95
		不安定労働者層	46.8	86.5	23.4	4.5	12.6	33.3	1.8	111
		計	52.6	86.1	24.2	5.6	14.8	30.9	2.2	359
	小5	安定的経営・管理層	38.2	79.4	29.4	2.9	5.9	32.4	2.9	34
		不安定経営・管理層	35.7	71.4	25.0	3.6	14.3	53.6	7.1	28
		自営業層	28.4	62.7	26.5	3.9	9.8	40.2	3.9	102
		安定的労働者層	40.0	67.0	27.0	2.6	12.2	49.6	7.0	115
		不安定労働者層	22.5	65.0	16.7	5.8	10.8	39.2	6.7	120
		計	31.3	66.7	23.8	4.0	10.8	42.9	5.8	399
	中2	安定的経営・管理層	14.5	43.5	21.7	0.0	0.0	53.6	8.7	69
		不安定経営・管理層	15.0	50.0	21.7	0.0	0.0	35.0	11.7	60
		自営業層	8.8	41.2	22.4	0.0	1.8	42.9	15.3	170
		安定的労働者層	13.0	46.7	16.6	2.4	4.7	45.0	10.7	169
		不安定労働者層	10.9	37.9	15.5	2.3	6.9	44.3	9.2	174
		計	11.7	42.8	18.8	1.2	3.6	44.2	11.4	642

く減少している。たとえ家族の悩みの相談であっても、中学校段階になると、親に相談しない者が増加する傾向が見られるのである。それは、中２の段階で「親子の関係」が家族の悩みとして急増することと対応している。

しかし、その場合、注意する必要があるのは、「母」や「父」の地位低下が他の家族成員によってカバーされるのではないということである。事実、男子では、「母」や「父」の地位低下にともなって、「同じクラスの友人」が徐々に増大し（小３・14.6%→小５・22.8%→中２・28.4%）、相談する相手が「いない」とする者が中２になって23.8%と急増している。「母」や「父」のかわりに他の家族成員が悩みの相談相手とされることはない。その結果、「同じクラスの友人」が「父」を上回り、相談する相手が「いない」とする者が「父」に匹敵するまでになっている。女子の場合、男子と異なり、「同じクラスの友人」がもともと小３の時点から30.9%と比較的多く選択されていた。それが、学年の上昇にともなって、「母」、「父」の地位の低下と対照的により一層増加している。「同じクラスの友人」を家族の悩みの相談相手とする者は、中２で44.2%に達し、「母」を上回り、もっとも重要な位置を占めるようになっている。そのため、男子と異なり、相談相手が「いない」者は中２の段階でも少ない（11.4%）。

こうして、男女とも学年の上昇にともなって家族の悩みの相談相手として親の地位が低下し、中学生になると、男女とも親よりも「同じクラスの友人」の方が重要な位置を占めるようになる。また、男子では相談相手が「いない」者が増加する傾向が見られるのである。

以上の家庭生活の特徴をいくつかの側面から見てきた。その結果、家庭生活の男女差として、家の手伝いのうち掃除や洗濯が女子に偏る傾向が見られ、女子の場合、家庭内のコミュニケーションに「姉妹」が比較的重要な位置を占めている点が明らかになった。同時に、家庭生活の階層差として、小遣い額が階層ごとに異なり、安定的経営・管理層の小３女子に「本」のために小遣いを使う者が多く、安定的経営・管理層の男女に勉強を介した家庭内のコミュニケーションをとる者が多い点が目に付いた。

しかし、こうした男女差、階層差以上に、学年の違い、とりわけ小学校段階から中学校段階への移行が子どもたちの家庭生活に大きな影響を与えていることが明らかになった。それは、小遣い、手伝い、家庭内のコミュニケーション、家庭内の楽しみや悩みなど、いずれの側面でも共通して見いだされた。このことは、子どもたちが進学競争に巻き込まれていく過程と発達段階的に見て自立していく過程が重なりながら、家族の意味も異なってくることを物語っている。男女差や階層差以上に学年の違いが子どもたちの家庭生活に大きな影響を与えていたのは、それだけ、進学競争に巻き込まれていく過程と自立の過程が子どもたちにとって重要な意味を持っていることを物語っているといえる。

第５節　子どもたちの将来志向

これまで、子どもたちの日常生活の特徴をいくつかの側面から明らかにしてきた。しかし、彼らの日常生活は、同時に、将来に対する自らの考え方を意識的無意識的に形成する過程でもある。また、逆に、自らの将来像自体が彼らの日常生活のあり方を規定する意味をもつこともある。したがって、いずれにしても、子どもたちの生活や意識の特徴を明らかにする上で、彼ら自身が思い描く将来像、いいかえれば将来志向のあり方を明らかにすることは、きわめて重要な意味をもつ。その場合、本稿の目的からいえば、そうした子どもたちの将来志向に学年、男女、階層の違いが存在するのかどうかが検討される必要がある。

本節では、この点をふまえて、学歴志向、職業志向、居住志向の3つの側面から、子どもたちの将来志向の特徴について見ていく。

表49は、子どもたちの将来志向のうち、もっとも近い将来に関する進路希望、すなわち学歴志向について見たものである。男女別に概観すると、学年にかかわらず、男子は高校までよいとする者（約3割）と大学進学を希望する者（5割弱）とに二分され、女子においてはこのような明確な二分化傾向は見受けられない。ここに、男女間の大きな差が見られる。一般に、学年の上昇が一方でのウォーミングアップ（教育アスピレーションの上昇）と他方でのクーリングダウン（教育アスピレーションの低下）の過程を

表49　学歴志向　　単位：%

			中学	高校	専門学校	短大高専	大学	大学院	その他	N	(再掲) 中+高	(再掲) 短~院
男	小3	安定的経営・管理層	0.0	23.3	6.7	3.3	50.0	13.3	3.3	30	23.3	66.6
		不安定経営・管理層	0.0	39.5	5.3	0.0	42.1	7.9	5.3	38	39.5	50.0
		自営業層	3.6	26.2	9.5	0.0	53.6	3.6	3.6	84	29.8	57.2
		安定的労働者層	2.6	37.7	5.3	1.8	38.6	10.5	3.5	114	40.3	50.9
		不安定労働者層	5.6	25.9	5.6	0.0	50.9	10.2	1.9	108	31.5	61.1
		計	3.2	30.7	6.4	0.8	46.8	8.8	3.2	374	33.9	56.4
	小5	安定的経営・管理層	0.0	28.2	7.7	0.0	51.3	12.8	0.0	39	28.2	64.1
		不安定経営・管理層	3.6	27.3	7.3	1.8	54.5	5.5	0.0	55	30.9	61.8
		自営業層	2.0	35.7	6.1	0.0	55.1	0.0	1.0	98	37.7	55.1
		安定的労働者層	3.4	27.4	7.7	1.7	54.7	4.3	0.9	117	30.8	60.7
		不安定労働者層	2.9	39.9	10.1	2.2	37.0	6.5	1.4	138	42.8	45.7
		計	2.7	33.1	8.1	1.3	49.0	4.9	0.9	447	35.8	55.2
	中2	安定的経営・管理層	0.0	18.2	6.5	2.6	61.0	9.1	2.6	77	18.2	72.7
		不安定経営・管理層	0.0	23.1	3.1	6.2	60.0	4.6	3.1	65	23.1	70.8
		自営業層	2.3	33.7	14.5	1.7	43.6	2.3	1.7	172	36.0	47.6
		安定的労働者層	0.0	26.6	17.4	4.9	45.1	3.8	2.2	184	26.6	53.8
		不安定労働者層	1.1	39.5	15.8	0.6	38.4	1.7	2.8	177	40.6	40.7
		計	0.9	30.5	13.6	2.8	46.2	3.6	2.4	675	31.4	52.6
女	小3	安定的経営・管理層	0.0	18.2	9.1	12.1	57.6	3.0	0.0	33	18.2	72.7
		不安定経営・管理層	0.0	26.8	19.5	7.3	39.0	2.4	4.9	41	26.8	48.7
		自営業層	2.4	19.5	15.9	8.5	45.1	6.1	2.4	82	21.9	59.7
		安定的労働者層	5.1	23.2	20.2	10.1	34.3	8.1	4.0	99	28.3	52.5
		不安定労働者層	0.9	28.8	18.9	16.2	31.5	1.8	1.8	111	29.7	49.5
		計	2.2	24.0	17.8	11.5	38.5	4.6	2.7	366	26.2	54.6
	小5	安定的経営・管理層	0.0	24.3	16.2	10.8	43.2	5.4	0.0	37	24.3	59.4
		不安定経営・管理層	0.0	23.3	23.3	3.3	43.3	6.7	0.0	30	23.3	53.3
		自営業層	1.0	26.9	26.0	16.3	25.0	2.9	1.9	104	27.9	44.2
		安定的労働者層	0.9	33.9	10.4	5.2	43.5	2.6	3.5	115	34.8	51.3
		不安定労働者層	2.5	34.7	20.3	12.7	26.3	2.5	0.8	118	37.2	41.5
		計	1.2	30.7	18.8	10.6	33.7	3.2	1.7	404	31.9	47.5
	中2	安定的経営・管理層	0.0	7.0	14.1	15.5	53.5	8.5	1.4	71	7.0	77.5
		不安定経営・管理層	1.6	13.1	24.6	16.4	39.3	3.3	1.6	61	14.7	59.0
		自営業層	0.6	14.9	31.6	17.8	31.6	1.7	1.7	174	15.5	51.1
		安定的労働者層	0.6	14.4	21.8	21.3	39.1	1.1	1.7	174	15.0	61.5
		不安定労働者層	1.7	23.0	32.6	14.6	27.0	0.6	0.6	178	24.7	42.2
		計	0.9	16.0	26.7	17.5	35.4	2.1	1.4	658	16.9	55.0

伴うことを考えると、学年による違いの見られない男子の学歴志向のあり方は意外な結果として受けとめられる。ここでのデータは個々人の経年変化を示すものではないので、慎重な解釈が必要であるが、従来の学年の上昇に伴う教育アスピレーションの変化とは異なる事態が現実に進展している可能性も考えられる。その意味で、男子の傾向は1つの重要な特徴を示すものと理解しておく必要がある。一方、女子の場合、男子と異なり明確な二分化傾向が見られないのは、いずれの学年においても、男子と比べ、専門学校や短大を希望する者が多いことにもとづいている。とくに、中2の段階で、専門学校や短大を希望する者が増加している。そのため、女子の場合、小5で30.7%であった高校までででよいとする者の割合は、中2で16.0%にまで激減する。そこには、たしかに学年の上昇に伴う教育アスピレーションの一定の変化が見られる。

ところが、学歴志向の場合、特徴的なのは、学年や性別以上に階層による差異が大きい点にある。

まず、男子の学歴志向の階層差について見てみよう。各学年のうち、もっとも学歴志向が明確になる中学2年段階で、高校まで（中学までを含む）の学歴志向しか持たない者の割合を見ると、不安定労働者層が40.6%、自営業層が36.0%と高水準を示している。しかも、不安定労働者層は、小学3年生には31.5%、小学5年生には42.8%、と高位安定を示し、自営業層も小学3年生で29.8%、小学5年生には37.7%と不安定労働者よりは若干低率ながら、他階層と比較すると高位水準で推移している。これとは対照的に、小学3年生から中学2年生まで、一貫して高校までの教育しか希望していない割合の低い階層は、安定的経営・管理層である。23.3%（小3）、28.2%（小5）、18.2%（中2）は、つねに同学年の他階層男子に比してもっとも低い数値である。

逆に短大以上の高等教育（短大・高専＋大学＋大学院）を希望する者の割合をみてみると、中学2年生においては、自営業層（47.6%）と不安定労働者層（40.7%）が低い水準となっており、高水準の安定的経営・管理層（72.7%）と比較したとき約30ポイントもの格差が生じている。だがここで注目すべきことは、自営業層と不安定労働者層の男子は、小学3年生から短大以上の教育を希望している割合が低いというわけではなく、小学3年生においては自営業層で57.2%、不安定労働者層で61.1%の児童が短大以上の教育を希望しているのが、小学5年生になると、各55.1%、45.7%に、さらに中学2年生で47.6%、40.7%へと一貫して減少するのである。その結果、短大以上の高等教育への進学希望率で見た場合、小5・中2の段階で不安定労働者層と自営業層が全階層中、最下位とそれに次ぐ位置になっている。これとは対照的に、小学3年生から中学2年生まで、短大以上への進学希望率が一貫して高くなる層は、安定的経営・管理層と不安定経営・管理層である。このうち、安定的経営・管理層の男子は、小学3年生66.6%、小学5年生64.1%、中学2年生72.7%とつねに全階層中最高の比率を維持しながら、中2でより一層高い水準に上昇している。一方、不安定経営・管理層においては小学3年生で50.0%と他階層と比して低位水準から、一貫して増加した結果、小5・中2では61.8%、70.8%と安定的経営・管理層に次ぐ高位水準へ変化している。

ここから、小学3年生から中学2年生までの男子の子どもの人生の中で、学歴志向について上向きに軌道修正しがちな階層（安定的経営・管理層、不安定経営・管理層）と、下向きに軌道修正しがちな階層（自営業層、不安定経営層）の分化が存在すること、しかも小5・中2の段階で学歴志向の高い安定的経営・管理層、不安定経営・管理層と学歴志向のそれほど高くない不安定労働者層と自営業層の位置が確実になることが明らかになる。

これに対し、女子の場合、男性とほぼ同様な傾向が見られるが、とくに安定的経営・管理層の一貫した高学歴志向と不安定労働者層の一貫した低学歴志向が特徴的である。たとえば、高校まで（中学までを含む）の学歴志向しか持たない者の割合を見ると、不安定労働者層は全階層の中でつねにもっとも高い水準（小3で29.7%、小5で37.2%、中2で24.7%）を維持しているのに対し、安定的経営・管理層では、小学3年生から中学2年生まで、一貫して高校までででよいとする者の割合が低く（小3で18.2%、小5で24.3%、中2で7.0%）、小3、中2で全階層中最低の水準になっている。逆に、短大以上の高等教育を希望する者の割合は、不安定労働者層で低く、安定的経営・管理層で高い水準を示している。不安定労働者層

は小５と中２で41.5%、42.2%と全階層中最低の水準、小３では最低水準ではないものの50%に達しておらず（49.5%）、下位から2番目の値になっており、安定的経営・管理層は各学年ともつねに最高水準を維持している（72.7%→59.4%→77.5%）。その結果、中２段階における両階層の格差は35.3ポイントに達している。

しかし、ここで注意する必要があることは、中２段階で短大以上の高等教育を希望する割合を男女で比較すると、不安定経営・管理層を除く各層で、女子の方が高等教育を希望する率が高いが、これを大学以上の高等教育で比較すると、すべての階層で、男子の方が高等教育を希望する率が高くなることである。もちろん、こうした特徴は、男子と女子の一般的傾向として、よく知られた事実と一致している。したがって、この結果は、男子と女子の一般的傾向がほぼどの階層にも共通して見いだされるということを意味している。

ところで、男子の方が女子よりも高学歴志向が強いという事実は、一般には男子の方が強い職業志向を持っていることによるものだと予測できる。しかし、実際には、表50からわかるように、いずれの学年においても、女子の方が男子より就きたい仕事があると答える者の割合が高くなっている。女子の場合、どの学年でも50%台であるのに対し、男子では小３・中２で30%台、小５で3割を切っている。その差はほぼ20%前後にのぼる。しかも、階層別に見ても、多少ばらつきは見られるものの、こうした傾向は基本的に変わらない。したがって、女子と比べた男子の高学歴志向は、必ずしも具体的な職業志向に強く裏打ちされたものではないことが浮き彫りになる。こうした事実は、学歴志向と職業志向は、一般に考えられているほど密接な関係はなく、別個の論理で形成されているという可能性、あるいは男性にとって高い学歴志向は具体的な職業志向ではなく、職業選択の幅を拡大するための1つの戦略として用いられている可能性があることを意味している。

同様に、男子の高学歴志向は都会志向ないし地域移動志向の高さとも結びつかない。現実には、たしかに学年が上がるにともなって男子の定住志向は弱まるが、それ以上に女子の定住志向の方が弱くなっている。

その意味で、いずれにしても、子どもたちの学歴志向は職業志向や定住志向とは必ずしも直接的に結びついていないといえる。

表50　職業志向・定住志向　　単位：%

		就きたい仕事がある			将来太田市に住みたい		
		小 3	小 5	中 2	小 3	小 5	中 2
男	安定的経営・管理層	33.3	23.1	35.5	40.6	46.2	18.2
	不安定経営・管理層	34.2	36.4	44.6	55.3	37.5	36.9
	自営業層	43.4	26.3	37.4	49.4	40.6	25.6
	安定的労働者層	31.3	29.4	36.5	54.3	39.8	25.9
	不安定労働者層	33.9	29.0	41.4	58.6	49.6	26.0
	計	35.2	28.9	38.7	53.4	43.3	26.0
女	安定的経営・管理層	47.1	37.8	54.3	44.1	29.7	18.3
	不安定経営・管理層	51.2	43.3	59.3	43.9	30.0	13.1
	自営業層	58.8	56.2	58.3	54.9	34.3	16.6
	安定的労働者層	59.6	48.3	56.1	53.5	30.2	12.6
	不安定労働者層	45.5	53.4	53.4	43.9	27.7	19.2
	計	53.0	50.5	56.1	48.9	30.5	16.1

以上のように、児童・生徒の将来志向のうち、学歴志向に関しては、明確な男女差と階層差が見られた。男子では学年をこえて高学歴志向をもつ者とそうでない者に二分される傾向が見られたが、女子にはそうした傾向は見いだせなかった。しかも、男子と女子が想定する高等教育の内実が大きく異なり、とくに中2の段階でその傾向がより明確になっていた。同時に、学歴志向の階層差も明確に見いだされた。一方の極に高学歴志向の安定的経営・管理層と不安定経営・管理層、他方の極に高学歴志向の弱い不安定労働者層と自営業層が存在した。これらの階層的特徴は男女、学年を問わずほぼ共通しているが、学年の上昇とともにその傾向はより強くなっていた。その意味で、学歴志向に関しては小学校低学年の時点ですでに存在した階層差や男女差が、学年の上昇にともなってより明確になることが明らかになる。

しかし、こうした学歴志向は、学年、男女、階層を問わず職業志向や定住志向とは必ずしも結びついていなかった。それは、いいかえれば、明確な職業志向や定住志向による将来の具体的な人生設計をふまえた上で、学歴志向が形成されているわけではないことを物語っている。その意味で、将来志向が現実の生活や意識に与える影響は、基本的に、とりあえずの将来像として描かれた学歴志向によるものであり、より大きな人生の将来像によるものではないことが明らかになる。このことは、それだけ受験競争の圧力の強さを浮き彫りにするものであろう。この点で、現在の児童・生徒たちのおかれた現実のもつ社会的意味を問い返す必要があるといえよう。